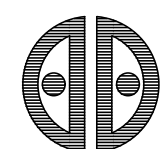


明石市役所新庁舎建設工事

2024年3月

 明石市政策局 企画・調整室

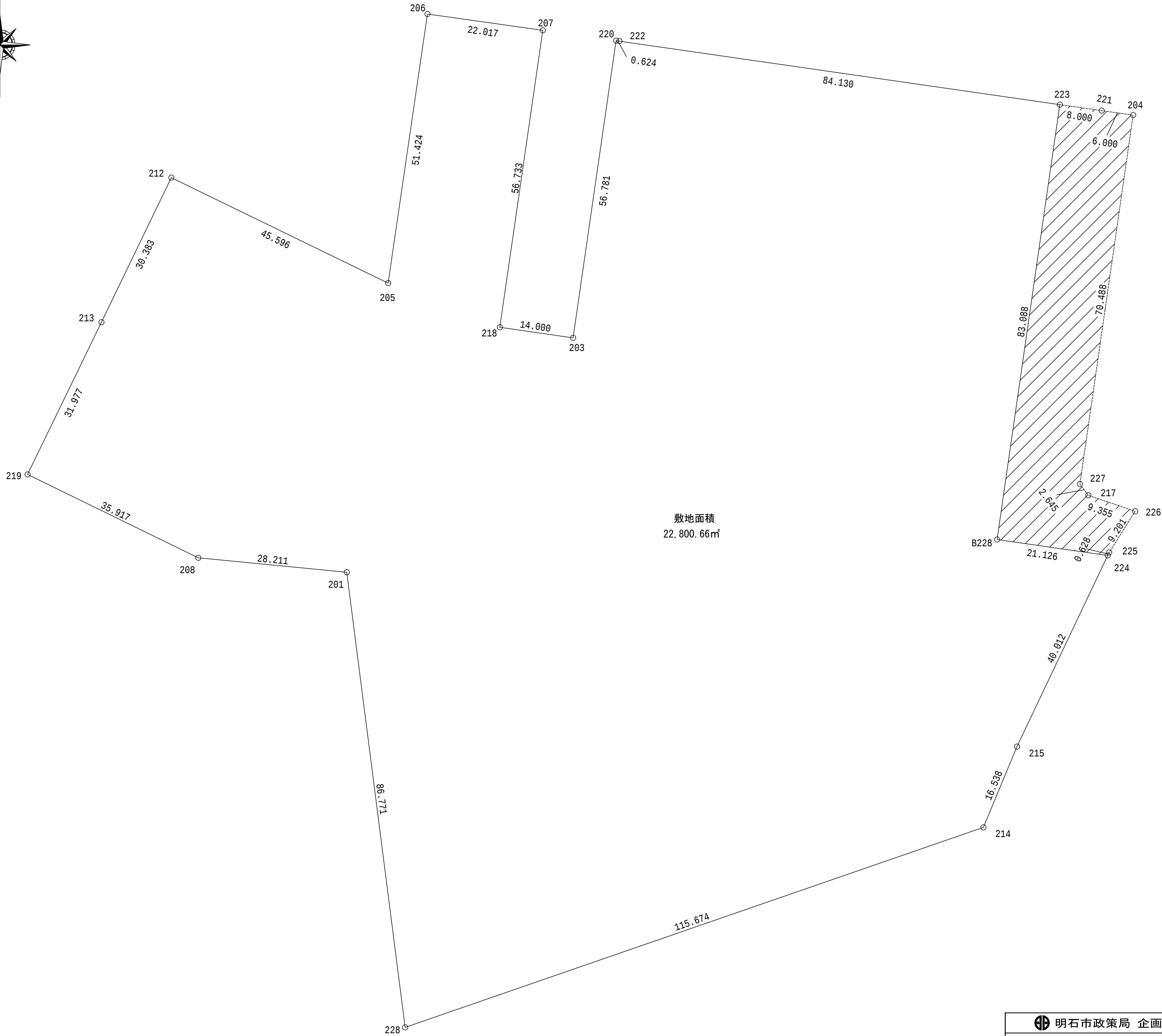
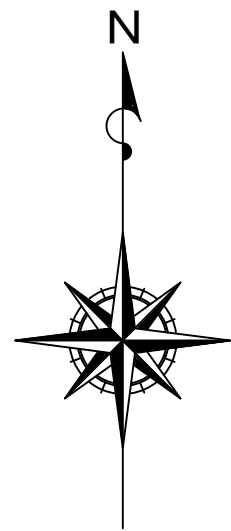
 安井建築設計事務所

GEN 総合											
01	図面表（1）	05	敷地求積図・求積表	09	求積図・求積表（4）	13	建築工事特記仕様書（2）	17	建築工事特記仕様書（6）	21	建築工事特記仕様書（10）
02	図面表（2）	06	求積図・求積表（1）	10	求積図・求積表（5）	14	建築工事特記仕様書（3）	18	建築工事特記仕様書（7）	22	機械設備特記仕様書
03	図面表（3）	07	求積図・求積表（2）	11	工事区分表（共通）	15	建築工事特記仕様書（4）	19	建築工事特記仕様書（8）	23	メーカーリスト（機械設備）
04	設計概要（共通）	08	求積図・求積表（3）	12	建築工事特記仕様書（1）	16	建築工事特記仕様書（5）	20	建築工事特記仕様書（9）	24	電気設備工事特記仕様書
A 建築工事（意匠）											
00	現況図	45	建具表（12）	90	便所詳細図（3）	135	昇降機詳細図（2）	180	屋外灌水設備詳細図	225	工事ステップ詳細図（21）
01	配置図	46	建具表（13）	91	便所詳細図（4）	136	昇降機詳細図（3）	181	外構ビジュアルサイン配置図	226	工事ステップ詳細図（22）
02	1階平面図	47	建具姿図（1）	92	展開図（1）	137	昇降機詳細図（4）	182	外構ビジュアルサイン詳細図（1）	227	工事ステップ詳細図（23）
03	2階平面図	48	建具姿図（2）	93	展開図（2）	138	昇降機詳細図（5）	183	外構ビジュアルサイン詳細図（2）	228	工事ステップ詳細図（24）
04	3階平面図	49	建具姿図（3）	94	展開図（3）	139	昇降機詳細図（6）	184	道路計画図（1）	229	工事ステップ詳細図（25）
05	4階平面図	50	建具姿図（4）	95	展開図（4）	140	昇降機詳細図（7）	185	道路計画図（2）	230	工事ステップ詳細図（26）
06	5階平面図	51	建具姿図（5）	96	展開図（5）	141	昇降機詳細図（8）	186	道路計画図（3）	231	仮設計画図（1）
07	6階平面図	52	建具姿図（6）	97	展開図（6）	142	昇降機詳細図（9）	187	道路計画図（4）	232	仮設計画図（2）
08	7階平面図・屋根伏図	53	建具姿図（7）	98	展開図（7）	143	昇降機詳細図（10）	188	道路計画図（5）	233	仮設計画図（3）
09	免震層伏図	54	建具詳細図（1）	99	展開図（8）	144	昇降機詳細図（11）	189	道路計画図（6）		以降、開発三工区（別途工事）
10	ビット伏図	55	建具詳細図（2）	100	展開図（9）	145	昇降機詳細図（12）	190	道路計画図（7）	GEN04	設計概要（共通）
11	立面図（1）	56	建具詳細図（3）	101	展開図（10）	146	耐火リスト	191	道路計画図（8）	GEN10	求積図・求積表（5）
12	立面図（2）	57	建具詳細図（4）	102	展開図（11）	147	法チェック図（1）	192	道路計画図（9）	GEN12	建築工事特記仕様書（1）
13	立面図（3）	58	建具詳細図（5）	103	展開図（12）	148	法チェック図（2）	193	道路計画図（10）	GEN13	建築工事特記仕様書（2）
14	立面図（4）	59	建具詳細図（6）	104	展開図（13）	149	法チェック図（3）	194	道路計画図（11）	GEN14	建築工事特記仕様書（3）
15	断面図（1）	60	建具詳細図（7）	105	展開図（14）	150	法チェック図（4）	195	道路計画図（12）	GEN15	建築工事特記仕様書（4）
16	断面図（2）	61	建具詳細図（8）	106	展開図（15）	151	欠番	196	道路計画図（13）	GEN16	建築工事特記仕様書（5）
17	断面図（3）	62	建具詳細図（9）	107	展開図（16）	152	外構計画図（1）（開発1-2工区）	197	道路計画図（14）	GEN17	建築工事特記仕様書（6）
18	天井伏図（1）	63	建具詳細図（10）	108	展開図（17）	153	外構計画図（2）（開発1-2工区）	198	道路計画図（15）	GEN18	建築工事特記仕様書（7）
19	天井伏図（2）	64	矩計図（1）	109	PCパネル割付図（1）	154	外構計画図（3）（開発3工区）	199	道路計画図（16）	GEN19	建築工事特記仕様書（8）
20	天井伏図（3）	65	矩計図（2）	110	PCパネル割付図（2）	155	外構計画図（4）（雨水排水本管計画図）	200	工事ステップ図（1）	GEN20	建築工事特記仕様書（9）
21	天井伏図（4）	66	矩計図（3）	111	PCパネル詳細図	156	外構計画図（5）（雨水排水開発1-2工区）	201	工事ステップ図（2）	GEN21	建築工事特記仕様書（10）
22	仕上表（共通事項）	67	矩計図（4）	112	免震エキスパンション詳細図	157	外構計画図（6）（雨水排水開発3工区）	202	工事ステップ図（3）	01	配置図
23	外部仕上表	68	矩計図（5）	113	欠番	158	外構計画図（7）（雨水排水開発3工区）	203	工事ステップ図（4）	23	外部仕上表
24	仕上表（1）	69	矩計図（6）	114	ブラインド詳細図（1）	159	外構計画図（8）（植栽計画図）	204	工事ステップ図（5）	154	外構計画図（3）（開発3工区）
25	仕上表（2）	70	矩計図（7）	115	ブラインド詳細図（2）	160	外構詳細図（1）	205	工事ステップ詳細図（1）	155	外構計画図（4）（雨水排水本管計画図）
26	仕上表（3）	71	階段詳細図（1）	116	ブラインド詳細図（3）	161	外構詳細図（2）	206	工事ステップ詳細図（2）	157	外構計画図（6）（雨水排水開発3工区）
27	仕上表（4）	72	階段詳細図（2）	117	ブラインド詳細図（4）	162	外構詳細図（3）	207	工事ステップ詳細図（3）	158	外構計画図（7）（雨水排水開発3工区）
28	仕上表（5）	73	階段詳細図（3）	118	屋上灌水プロット図	163	外構詳細図（4）	208	工事ステップ詳細図（4）	159	外構計画図（8）（植栽計画図）
29	建具キープラン（1）	74	1階平面詳細図（1）	119	屋上灌水設備詳細図	164	外構詳細図（5）	209	工事ステップ詳細図（5）	168	外構詳細図（9）
30	建具キープラン（2）	75	1階平面詳細図（2）	120	部分詳細図（1）	165	外構詳細図（6）	210	工事ステップ詳細図（6）	169	外構詳細図（10）
31	建具キープラン（3）	76	2階平面詳細図（1）	121	部分詳細図（2）	166	外構詳細図（7）	211	工事ステップ詳細図（7）	170	外構詳細図（11）
32	建具キープラン（4）	77	2階平面詳細図（2）	122	部分詳細図（3）	167	外構詳細図（8）	212	工事ステップ詳細図（8）	171	外構詳細図（12）
33	建具表（共通事項）	78	3階平面詳細図（1）	123	部分詳細図（4）	168	外構詳細図（9）	213	工事ステップ詳細図（9）	172	車庫棟詳細図
34	建具表（1）	79	3階平面詳細図（2）	124	部分詳細図（5）	169	外構詳細図（10）	214	工事ステップ詳細図（10）	176	屋外上屋2詳細図
35	建具表（2）	80	4階平面詳細図（1）	125	部分詳細図（6）	170	外構詳細図（11）	215	工事ステップ詳細図（11）	177	ゴミ庫詳細図
36	建具表（3）	81	4階平面詳細図（2）	126	部分詳細図（7）	171	外構詳細図（12）	216	工事ステップ詳細図（12）	178	屋外建屋建具表
37	建具表（4）	82	5階平面詳細図（1）	127	部分詳細図（8）	172	車庫棟詳細図	217	工事ステップ詳細図（13）	181	外構ビジュアルサイン配置図
38	建具表（5）	83	5階平面詳細図（2）	128	部分詳細図（9）	173	屋外上屋1詳細図（1）	218	工事ステップ詳細図（14）		
39	建具表（6）	84	6階平面詳細図（1）	129	部分詳細図（10）	174	屋外上屋1詳細図（2）	219	工事ステップ詳細図（15）		
40	建具表（7）	85	6階平面詳細図（2）	130	議場詳細図（1）	175	屋外上屋1詳細図（3）	220	工事ステップ詳細図（16）		
41	建具表（8）	86	7階平面詳細図（1）	131	議場詳細図（2）	176	屋外上屋2詳細図	221	工事ステップ詳細図（17）		
42	建具表（9）	87	7階平面詳細図（2）	132	議場詳細図（3）	177	ゴミ庫詳細図	222	工事ステップ詳細図（18）		
43	建具表（10）	88	便所詳細図（1）	133	議場部分詳細図	178	屋外建屋建具表	223	工事ステップ詳細図（19）		
44	建具表（11）	89	便所詳細図（2）	134	昇降機詳細図（1）	179	屋外灌水プロット図	224	工事ステップ詳細図（20）		
								明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事	
								＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南 浦 琢 磨	GEN	総合	最終版 2024.03.25
									01	図面表（1）1: NS	見積版 2024.03.25
										安井建築設計事務所	最終契約版

25	電気設備メーカーリスト	29	解体工事図面表（1）												
26	解体工事特記仕様書（1）	30	解体工事図面表（2）												
27	解体工事特記仕様書（2）	31	解体工事図面表（3）												
28	既存建物配置図														
B 建築工事（構造）				C 給排水衛生設備工事			D 空調和設備工事				E 電気設備工事				
01	構造関係共通事項	46	鉄骨階段詳細図（1）	01	機器表	01	機器表（1）	46	自動制御設備 計装図	01	配置図（強電）				
02	配筋標準図（1）	47	鉄骨階段詳細図（2）	02	器具表（1）	02	機器表（2）	47	自動制御設備 系統図、中央管理点入出力一覧表	02	受変電設備 単線結線図				
03	配筋標準図（2）	48	各部配筋詳細図	03	器具表（2）	03	機器表（3）	48	自動制御設備 ビット平面図	03	受変電設備 電気室詳細図(1)				
04	配筋標準図（3）	49	7階上部アルミパネル受け材伏図	04	系統図	04	機器表（4）	49	自動制御設備 1 階平面図	04	受変電設備 電気室詳細図(2)				
05	配筋標準図（4）	50	外装受け鉄骨軸組図（1）	05	全体配置図	05	機器表（5）	50	自動制御設備 4 階平面図	05	配電盤リスト(1)				
06	鉄骨規準図（1）	51	外装受け鉄骨軸組図（2）	06	配置図兼 1 階平面図	06	機器表（6）	51	自動制御設備 5 階平面図	06	配電盤リスト(2)				
07	鉄骨規準図（2）	52	外装受け鉄骨軸組図（3）	07	ビット平面図	07	機器表（7）	52	自動制御設備 6 階平面図	07	非常用発電機設備 仕様・単線結線図・配管系統図・姿図				
08	鉄骨規準図（3）	53	外装受け鉄骨軸組図（4）	08	2 階平面図	08	機器表（8）	53	自動制御設備 7 階平面図	08	非常用発電機設備 姿図・ビット階平面図				
09	調査位置図・地層断面図（1）	54	外装受け鉄骨軸組図（5）	09	3 階平面図	09	機器表（9）	54	地中熱利用設備 機器表・系統図	09	非常用発電機設備 燃料配管平面図				
10	地層断面図（2）	55	梁貫通図（1）	10	4 階平面図	10	機器表（10）	55	地中熱利用設備 平面図・要領図	10	非常用発電機設備 燃料配管詳細図				
11	土質柱状図（1）	56	梁貫通図（2）	11	5 階平面図	11	機器表（11）	56	地中熱利用設備 空調機械室詳細図	11	太陽光発電設備 仕様・システム図・姿図				
12	土質柱状図（2）	57	梁貫通図（3）	12	6 階平面図	12	機器表（12）	57	地中熱利用設備 制御システム図	12	太陽光発電設備 R階平面図				
13	地盤改良伏図	58	梁貫通図（4）	13	7 階平面図	13	機器表（13）	58	欠番	13	太陽光発電設備 優先駐車場平面図				
14	基礎・ビット伏図	59	梁貫通図（5）	14	平面詳細図（1）	14	機器表（14）	59	欠番	14	直流電源装置設備 仕様				
15	免震層伏図	60	梁貫通図（6）	15	平面詳細図（2）	15	系統図（配管）（1）	60	欠番	15	幹線設備 系統図				
16	免震材料配置図	61	梁貫通図（7）	16	平面詳細図（3）	16	系統図（配管）（2）	61	市民会館熱源改修 配置図、機器表	16	接地設備 系統図				
17	1階床梁伏図	62	梁貫通図（8）	17	平面詳細図（4）	17	ビット平面図（配管）	62	市民会館熱源改修 屋外配管詳細図	17	照明制御設備 系統図				
18	2階床梁伏図	63	屋外階段詳細図	18	平面詳細図（5）	18	1 階平面図（配管）	63	市民会館熱源改修 系統図、4 階平面図、立面図、断面図	18	ゾーニングエリア図（防火区画）				
19	3階床梁伏図	64	雑要領図・雑配筋図	19	平面詳細図（6）	19	2 階平面図（配管）	64	市民会館熱源改修 リモコン配線	19	分電盤エリア図				
20	4階床梁伏図	65	受水槽 構造図（1）	20	平面詳細図（7）	20	3 階平面図（配管）	65	市民会館熱源改修 自動制御設備計装図	20	EPS詳細図				
21	5階床梁伏図	66	受水槽 構造図（2）	21	平面詳細図（8）	21	4 階平面図（配管）	66	市民会館熱源改修 自動制御設備平面図	21	警備員室・中央監視室 詳細図				
22	6階床梁伏図	67	市民会館 設備置場目隠し構造図	22	消火設備 系統図	22	5 階平面図（配管）			22	中央監視設備 系統図				
23	7階・R階床梁伏図	68	受水槽・設備置場目隠し部材リスト	23	消火設備 ビット平面図	23	6 階平面図（配管）			23	中央監視設備 システム概要・機能仕様				
24	7階・R階設備架台配置図	69	欠番	24	消火設備 1 階平面図	24	7 階平面図（配管）			24	中央監視設備 システムブロック図・姿図・信号受信図				
25	軸組図（1）	70	基礎伏図（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	25	消火設備 2 階平面図	25	系統図（ダクト）			25	中央監視設備 機器仕様・ポイントリスト（1）				
26	軸組図（2）	71	屋根伏図（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	26	消火設備 3 階平面図	26	1 階平面図（ダクト）			26	中央監視設備 ポイントリスト（2）				
27	軸組図（3）	72	軸組図(1)（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	27	消火設備 4 階平面図	27	2 階平面図（ダクト）			27	中央監視設備 ポイントリスト（3）				
28	軸組図（4）	73	軸組図(2)（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	28	消火設備 5 階平面図	28	3 階平面図（ダクト）			28	中央監視設備 ポイントリスト（4）				
29	軸組図（5）	74	部材リスト（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	29	消火設備 6 階平面図	29	4 階平面図（ダクト）			29	動力盤標準結線図				
30	基礎リスト・基礎梁配筋要領図	75	鉄骨詳細図(1)（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	30	消火設備 7 階平面図	30	5 階平面図（ダクト）			30	動力盤リスト(1)				
31	基礎梁リスト	76	鉄骨詳細図(2)（車寄せ、バス停、優先駐車場1～2、来庁者駐車場1～3）	31	工事ローテーション図（1）	31	6 階平面図（ダクト）			31	動力盤リスト(2)				
32	免震材料特記仕様書（1）		以降、開発三区工（別途工事）	32	工事ローテーション図（2）	32	7 階平面図（ダクト）			32	動力盤リスト(3)				
33	免震材料特記仕様書（2）	77	車庫棟_伏図・軸組図・部材リスト	33	工事ローテーション図（3）	33	厨房詳細図			33	動力盤リスト(4)				
34	免震材料リスト（1）	78	車庫棟_鉄骨詳細図	34	工事ローテーション図（4）	34	議場詳細図			34	動力盤リスト(5)				
35	免震材料リスト（2）	79	伏図・軸組図（公用・職員駐輪場、ゴミ庫）			35	排煙設備 系統図・5 階平面図			35	幹線・動力設備 免震層平面図				
36	大梁・小梁リスト	80	部材リスト（公用・職員駐輪場、ゴミ庫）			36	排煙設備 6・7 階平面図			36	幹線・動力設備 1階平面図				
37	柱芯線図	81	鉄骨詳細図（公用・職員駐輪場、ゴミ庫）			37	リモコン配線 計装図（1）			37	幹線・動力設備 2階平面図				
38	柱・間柱リスト・各部詳細図					38	リモコン配線 計装図（2）			38	幹線・動力設備 3階平面図				
39	鉄骨大梁・継手リスト					39	リモコン配線 1 階平面図			39	幹線・動力設備 4階平面図				
40	鉄骨二次部材リスト					40	リモコン配線 2 階平面図			40	幹線・動力設備 5階平面図				
41	床版リスト・各部取合図					41	リモコン配線 3 階平面図			41	幹線・動力設備 6階平面図				
42	鉄骨架構詳細図（1）					42	リモコン配線 4 階平面図			42	幹線・動力設備 R階平面図				
43	鉄骨架構詳細図（2）					43	リモコン配線 5 階平面図			43	分電盤リスト(1)				
44	各部鉄骨詳細図（1）					44	リモコン配線 6 階平面図			44	分電盤リスト(2)				
45	各部鉄骨詳細図（2）					45	リモコン配線 7 階平面図			45	分電盤リスト(3)				
									明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事				
									＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨		GEN	総合	最終版	2024.03.25	
											02	図面表（2）	1：NS	見積版	2024.03.25
											安井建築設計事務所		最終契約版		

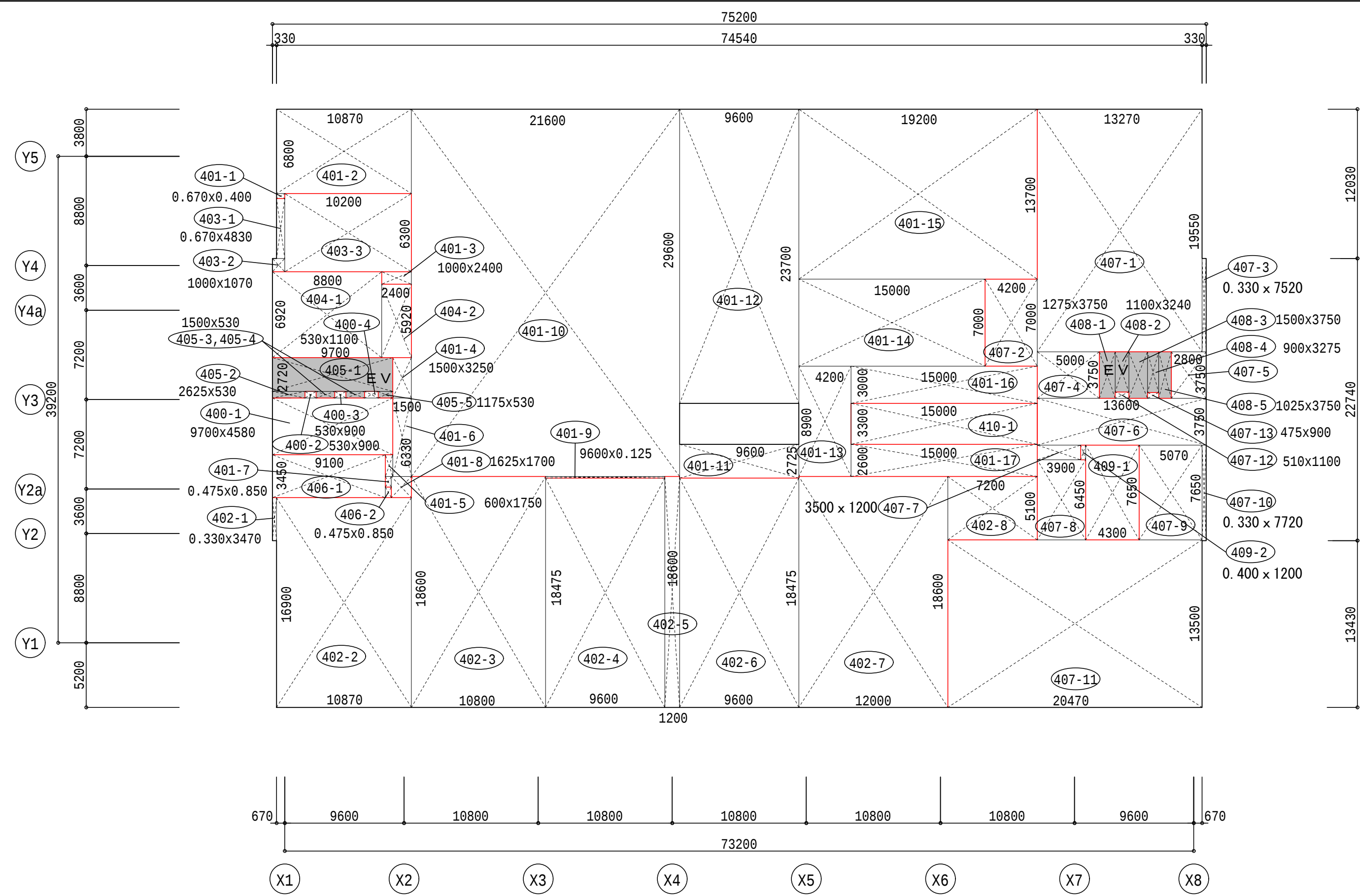
E電気設備工事											
46	分電盤リスト(4)	91	配置図(弱電)	136	監視カメラ設備 姿図(2)	181	配置図(STEP3)(電話・通信)				
47	分電盤リスト(5)	92	端子盤エリア図	137	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 免震層平面図	182	市民会館 受変電設備単線結線図				
48	分電盤リスト(6)	93	弱電設備(電話・情報通信網)系統図	138	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 1階平面図	183	市民会館 B1～2階平面図				
49	分電盤リスト(7)	94	弱電設備(電話・情報通信網) 免震層平面図	139	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 2階平面図	184	仮設駐車場 配置図				
50	分電盤リスト(8)	95	弱電設備(電話・情報通信網) 1階平面図	140	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 3階平面図	185	仮設駐車場 駐車管制 機器姿図				
51	分電盤リスト(9)	96	弱電設備(電話・情報通信網) 2階平面図	141	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 4階平面図						
52	分電盤リスト(10)	97	弱電設備(電話・情報通信網) 3階平面図	142	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 5階平面図						
53	コンセント設備 免震層平面図	98	弱電設備(電話・情報通信網) 4階平面図	143	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) 6階平面図						
54	コンセント設備 1階平面図(1)	99	弱電設備(電話・情報通信網) 5階平面図	144	弱電設備(監視カメラ、機械警備、入退管理) R階平面図						
55	コンセント設備 1階平面図(2)	100	弱電設備(電話・情報通信網) 6、R階平面図	145	駐車管制設備 仕様・システム系統図						
56	コンセント設備 2階平面図(1)	101	弱電設備(防災行政無線)系統図	146	駐車管制設備 姿図						
57	コンセント設備 2階平面図(2)	102	弱電設備(防災行政無線) 3階平面図	147	駐車管制設備 免震層、1階平面図						
58	コンセント設備 3階平面図(1)	103	弱電設備(防災行政無線) 5階平面図	148	自動火災報知設備 仕様、凡例						
59	コンセント設備 3階平面図(2)	104	弱電設備(防災行政無線) R階平面図	149	自動火災報知設備 点数リスト、系統図						
60	コンセント設備 4階平面図(1)	105	弱電設備(テレビ・時計・誘導支援)系統図	150	自動火災報知設備 1階平面図						
61	コンセント設備 4階平面図(2)	106	弱電設備(時刻表示設備)概要、システム図、姿図	151	自動火災報知設備 2階平面図						
62	コンセント設備 5階平面図(1)	107	弱電設備(テレビ・時計) 免震層平面図	152	自動火災報知設備 3階平面図						
63	コンセント設備 5階平面図(2)	108	弱電設備(テレビ・時計) 1階平面図	153	自動火災報知設備 4階平面図						
64	コンセント設備 6階平面図(1)	109	弱電設備(テレビ・時計) 2階平面図	154	自動火災報知設備 5階平面図						
65	コンセント設備 6階平面図(2)	110	弱電設備(テレビ・時計) 3階平面図	155	自動火災報知設備 6階平面図						
66	コンセント設備 R階平面図	111	弱電設備(テレビ・時計) 4階平面図	156	自動火災報知設備 R階平面図						
67	電灯・コンセント設備 6階厨房詳細図	112	弱電設備(テレビ・時計) 5階平面図	157	雷保護設備 立面図						
68	照明器具姿図(1)	113	弱電設備(テレビ・時計) 6、R階平面図	158	雷保護設備 機器詳細図						
69	照明器具姿図(2)	114	誘導支援設備(1) システム図、姿図	159	雷保護設備 免震層・1階平面図						
70	電灯設備 免震層平面図	115	誘導支援設備(2) システム図、姿図	160	雷保護設備 R階・塔屋階平面図						
71	電灯設備 1階平面図(1)	116	誘導支援設備(3) システム図、姿図、平面図	161	議場運営設備 システム図						
72	電灯設備 1階平面図(2)	117	弱電設備(誘導支援設備) 1階平面図	162	議場運営設備 システム概要、平面図						
73	電灯設備 2階平面図(1)	118	弱電設備(誘導支援設備) 2階平面図	163	議場運営設備 姿図(1)						
74	電灯設備 2階平面図(2)	119	弱電設備(誘導支援設備) 3階平面図	164	議場運営設備 姿図(2)						
75	電灯設備 3階平面図(1)	120	弱電設備(誘導支援設備) 4階平面図	165	委員会運営設備 システム図、姿図、平面図						
76	電灯設備 3階平面図(2)	121	弱電設備(誘導支援設備) 5階平面図	166	映像音響設備(3階会議室LL兼会見場) システム図、姿図、平面図						
77	電灯設備 4階平面図(1)	122	弱電設備(誘導支援設備) 6階平面図	167	映像音響設備(3階会議室LLL兼災害対策本部) システム図、姿図、平面図						
78	電灯設備 4階平面図(2)	123	弱電設備(非常放送・監視カメラ)系統図	168	映像音響設備(5階会議室LLL兼大会議室) システム図、姿図						
79	電灯設備 5階平面図(1)	124	非常放送設備 システム図、姿図	169	映像音響設備(5階会議室LLL兼大会議室) 姿図、平面図						
80	電灯設備 5階平面図(2)	125	非常放送設備 1階平面図	170	映像音響設備(5階会議室LL兼委員室) システム図、姿図、平面図						
81	電灯設備 6階平面図(1)	126	非常放送設備 2階平面図	171	映像音響設備(6階会議室LLL) システム図						
82	電灯設備 6階平面図(2)	127	非常放送設備 3階平面図	172	映像音響設備(6階会議室LLL) システム概要、平面図						
83	電灯設備 R階平面図	128	非常放送設備 4階平面図	173	会議室映像設備 システム図、姿図、平面図						
84	誘導灯信号装置 系統図	129	非常放送設備 5階平面図	174	出退表示設備 システム図、姿図、平面図						
85	非常照明・誘導灯設備 1階平面図	130	非常放送設備 6、R階平面図	175	会議室予約管理設備 平面図						
86	非常照明・誘導灯設備 2階平面図	131	入退出管理設備 系統図	176	付属棟 太陽光発電設備 仕様、単線結線図、姿図						
87	非常照明・誘導灯設備 3階平面図	132	入退出管理設備 概要	177	付属棟平面図						
88	非常照明・誘導灯設備 4階平面図	133	入退出管理設備 システム構成図、工事区分、姿図	178	配置図(STEP1,2)(電力)						
89	非常照明・誘導灯設備 5階平面図	134	監視カメラ設備 システム図	179	配置図(STEP3)(電力)						
90	非常照明・誘導灯設備 6、R階平面図	135	監視カメラ設備 姿図(1)	180	配置図(STEP1,2)(電話・通信)						
								明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事	
								＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版2024.03.25
									03	図面表(3)	1: NS 見積版2024.03.25
										安井建築設計事務所	

設計概要（共通）																																										
1. 一般事項																																										
工事名称		明石市役所新庁舎建設工事				発注者		明石市長 丸谷 聡子																																		
敷地	敷地位置	兵庫県明石市中崎1丁目5番1号				工事概要	工事種別	○新築 ・増築 ・別棟増築 ・増改築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替え																																		
		北緯（ 34° 64' ）、 東経（ 134° 99' ）						事務所																																		
	用途地域	・第一種低層住専 ・第二種低層住専 ・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専 ・第一種住居 ・第二種住居 ・準住居 ○近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ・指定なし					駐車場等	申請部分 申請以外の部分 199 台																																		
		防火地域	・防火 ○準防火 ・法22条の地域 ・指定なし ・2つの地域にわたる場合（防火 m 準防火 m'）					建築物	1) 1棟 鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造 2) 11棟 鉄骨造 1) 懸垂幕 一カ所 2) 塀、門扉等 一式																																	
	法定建ぺい率		80 %（ ）				工作物		1) 外構 一式 2) 屋外排水設備 一式																																	
	法定容積率	300 %（ ）						造園	1) 樹木 一式 2) 移設樹木 一式																																	
	その他の指定 （都市計画）	・美観地区 ・風致地区（国立公園）・駐車場整備地区 ・土地区画整理事業地区 ・宅地造成工事規制区域・砂防区域 ・地区計画区域 ・特定街区 ・総合設計 ・その他					解体		1) 既存施設 解体一式 2) 樹木・伐採伐根 一式																																	
道路巾員	前面 14.0 m	法42条（1）項 （1）号道路			工期予定	着工 2025 年 1 月		竣工 2029 年 7 月 ※開発3工区（別途工事）の 整備完了予定は2029年12月																																		
壁面線後退																																										
面積	敷地面積	22800.66 m ² （ 6897.19 坪）				形態規制	高度地区	内容・高さ規制																																		
		2つの地域にわたる場合（ m ² m' ）					高度利用地区	内容・容積率規制 % 以上																																		
	申請部分		申請以外の部分		合計		斜線制限	道路斜線、隣地境界斜線																																		
	建築面積		4585.02 m ²		. m ²		4585.02 m ²		建ぺい率	4585.02 / 22800.66 ×100 = 20.11 % ≦許容 80 %																																
	延べ面積	イ.建物全体		22033.91 m ²			. m ²		22033.91 m ²		容積率	20983.02 / 22800.66 ×100 = 92.03 % ≦許容 300 %																														
ロ.地階の住宅部分		0.00 m ²		. m ²		0.00 m ²		諸制度の活用による緩和	・あり ・総合設計制度 ・（ ）																																	
ハ.自動車庫等の部分		726.94 m ²		. m ²		726.94 m ²			緩和の概要 （ ）																																	
ニ.EVの部分		323.95 m ²		. m ²		323.95 m ²																																				
2. 建築物概要（棟別）																																										
棟 名		①新庁舎棟・優先駐車場 1				棟 名		②車庫棟		③ゴミ庫		④⑤公用・職員駐輪場 1・2		⑥車寄せ		⑦バス停		⑧優先駐車場 2（職員用）		⑨⑩⑪来庁者駐輪場 1・2・3		⑫受水槽ポンプ室																				
建物 用途		事務所				建物 用途		駐車場		ゴミ庫		駐輪場		歩廊		歩廊		駐車場		駐輪場																						
工 事 種 別		新築				工 事 種 別		新築		新築		新築		新築		新築		新築		新築																						
構造・規模		鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造				構造・規模		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造		鉄骨造																						
基 礎・杭		布基礎・免震構造				基 礎・杭		独立基礎		ベタ基礎		ベタ基礎		独立基礎		独立基礎		独立基礎		独立基礎																						
耐火建築物		○耐火建築物 ・準耐火建築物（イ-1）・準耐火建築物（イ-2） ・準耐火建築物（ロ-1）・準耐火建築物（ロ-2）・その他				耐火建築物		○準耐火建築物（ロ-2）		その他		その他		その他		その他		その他		その他																						
防火対象物		消防法施行令別表第1の区分 16 項 イ				防火対象物		13項 イ		15項		15項		15項		15項		13項イ		15項																						
屋 根		アスファルト外断熱防水の上押えコンクリート				屋 根		嵌合式折版葺		重ね式折版葺		重ね式折版葺		アルミ押出パネル		アルミ押出パネル		嵌合式折版葺		アルミ押出パネル																						
外 壁		PCパネル磁器質タイル打込				外 壁		押出成形セメント板		コンクリート打放し補修の上複層防水塗材		-		-		-		アルミスバンドレル		-																						
軒 裏		アルミスバンドレル				軒 裏		素地		素地		素地		-		-		-		-																						
建 築 面 積		3925.82 m ²				建 築 面 積		295.78 m ²		37.95 m ²		42.84 m ²		104.55 m ²		61.76 m ²		42.00 m ²		67.32 m ²		7.00 m ²																				
延 べ 面 積		21360.82 m ²				延 べ 面 積		295.78 m ²		37.95 m ²		79.92 m ²		45.20 m ²		0.00 m ²		69.00 m ²		138.24 m ²		7.00 m ²																				
各階床面積	階	m ² （ 坪）		階高 mm	階 別 用 途	各階床面積	階	m ²		階 別 用 途																																
	7階	173.58（ 52.51 ）		4,300	事務所		1階	295.78		駐車場	37.95	ゴミ庫	1:54.54	駐輪場																												
	6階	3329.44（1007.15）																																								
	5階	3576.16（1081.79）		4,300	事務所																																					
	4階	3576.16（1081.79）																																								
	3階	3576.16（1081.79）		4,300	事務所																																					
	2階	3323.66（1005.41）			事務所																																					
積	1階	3743.72（1132.47）		5,000	事務所・駐車場																																					
	免震層	61.94（18.74）																																								
合 計		21360.82 m ² （6461.64坪）				合 計		295.78 m ²		37.95 m ²		79.92 m ²		104.55 m ²		61.76 m ²		42.00 m ²		67.32 m ²		7.00 m ²																				
高さ	最高の高さ	33040.00				高さ	最高の高さ	5250.00				2660.00				2425.00				4800.00				4780.00				3885.00				1:2570.00 2:2585.00 3:2585.00										
	最高の軒の高さ	32185.00					最高の軒の高さ	4750.00				2660.00				2350.00				3777.00				4050.00				3240.00				1:2205.00 2:2220.00 3:2220.00										
前面道路の中心高と基準GLとの関係							前面道路の中心高と基準GLとの関係																																			
建築設備の種類		○給水 ○空調 ○機械排煙		○排水 ・避雷針 ・浄化槽		○電気 ○昇降機 ・		○ガス ○非常用照明		○換気 ・非常用エレベーター		○給水 ○排水 ○電気				開発3工区（別途工事）範囲																										
消防設備の種類		○火災報知設備 ・スプリンクラー ・化学消火		○非常警報 ○連絡送水管 ・		○誘導灯 ・消防用水利 ・		○漏電警報 ○屋外消火栓		○屋内消火栓 ○非常コンセント		・火災報知設備 ○誘導灯																														
3. その他（増・改築経歴等）																																										

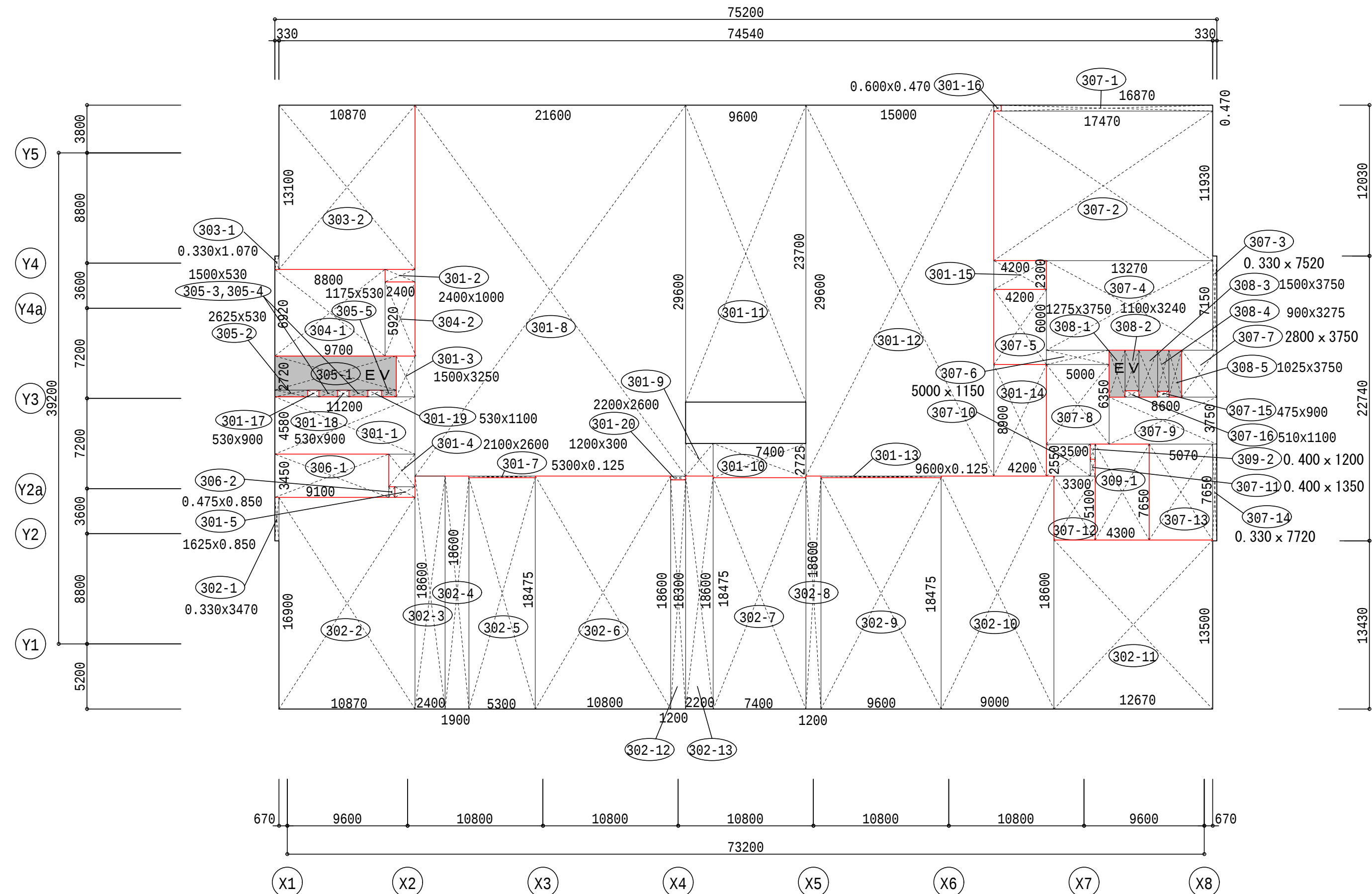


地番	敷地面積		
点名	Xn	Yn	辺長
223	-150228.297	60961.178	84.130
222	-150216.295	60877.909	0.624
220	-150216.208	60877.291	56.781
203	-150272.404	60869.163	14.000
218	-150270.400	60855.307	56.733
207	-150214.251	60863.428	22.017
206	-150211.173	60841.627	51.424
205	-150262.056	60834.190	45.596
212	-150242.099	60793.193	30.383
213	-150269.456	60779.974	31.977
219	-150298.227	60766.019	35.917
208	-150313.988	60798.293	28.211
201	-150316.717	60826.372	86.771
228	-150402.783	60837.413	115.674
214	-150364.965	60946.730	16.538
215	-150349.692	60953.074	40.012
224	-150313.548	60970.237	21.126
B228	-150310.535	60949.327	83.088
合計	45601.339918		
面積	22800.6699590		
地積	22800.66 m ²		

明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事	
＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版 2024.03.25
	05	敷地求積図・求積表 A1 1:400 A3 1:800	見積版 2024.03.25
		安井建築設計事務所	最終契約版

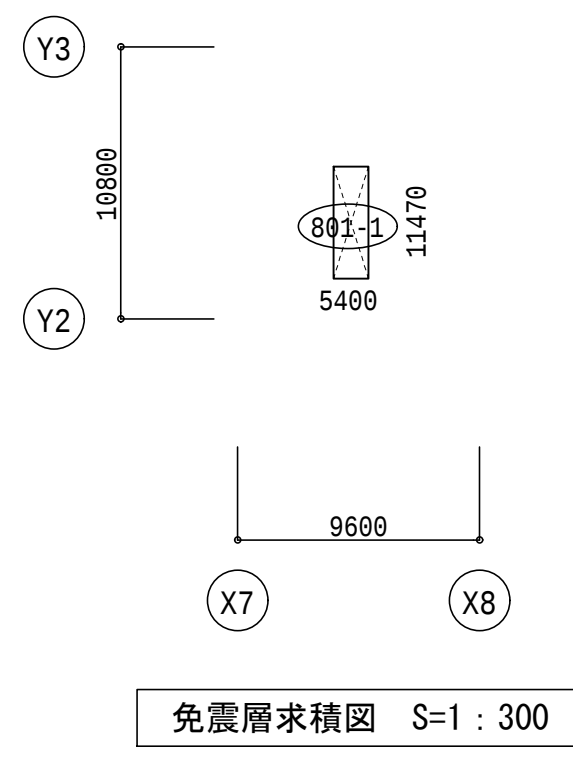
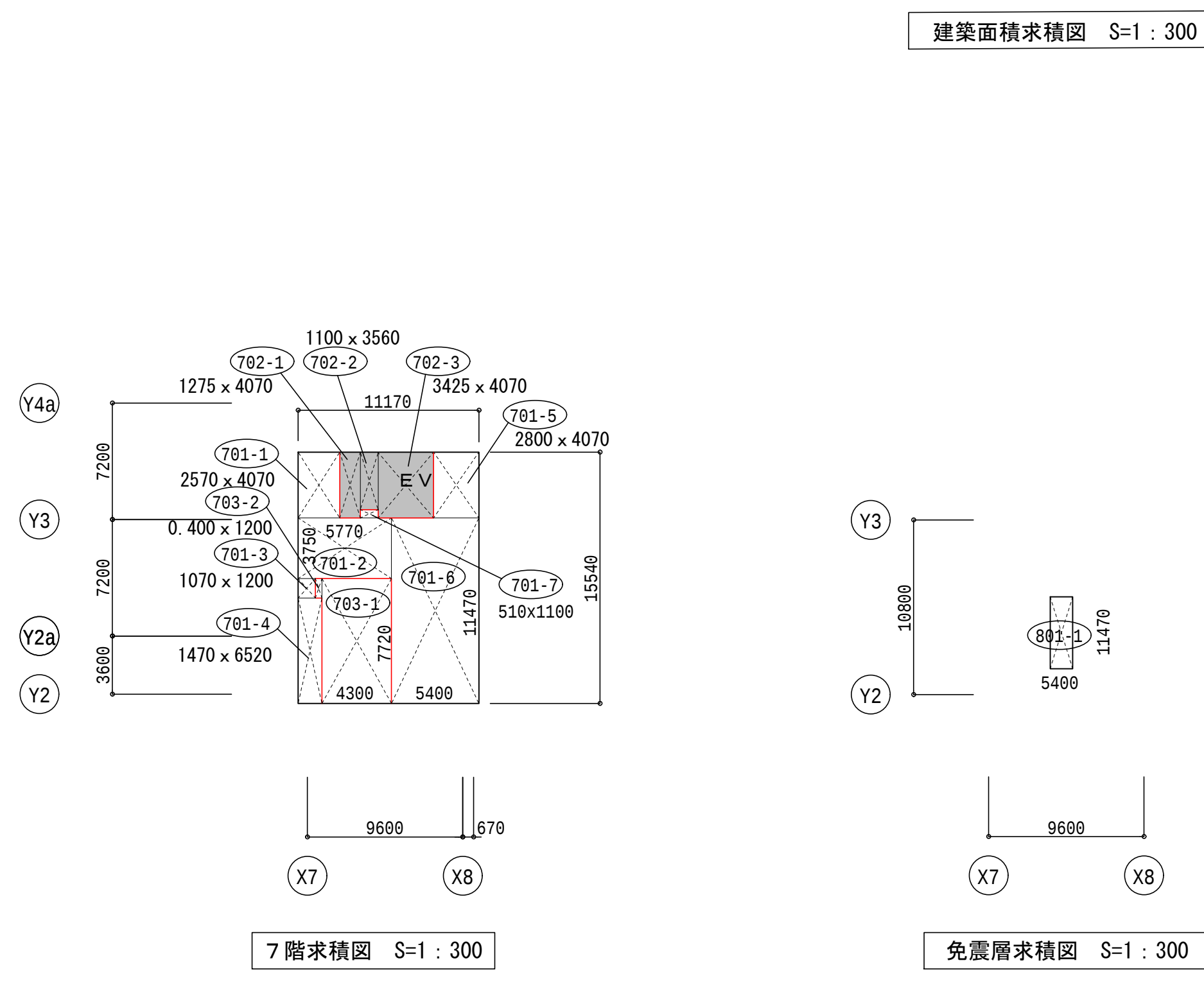
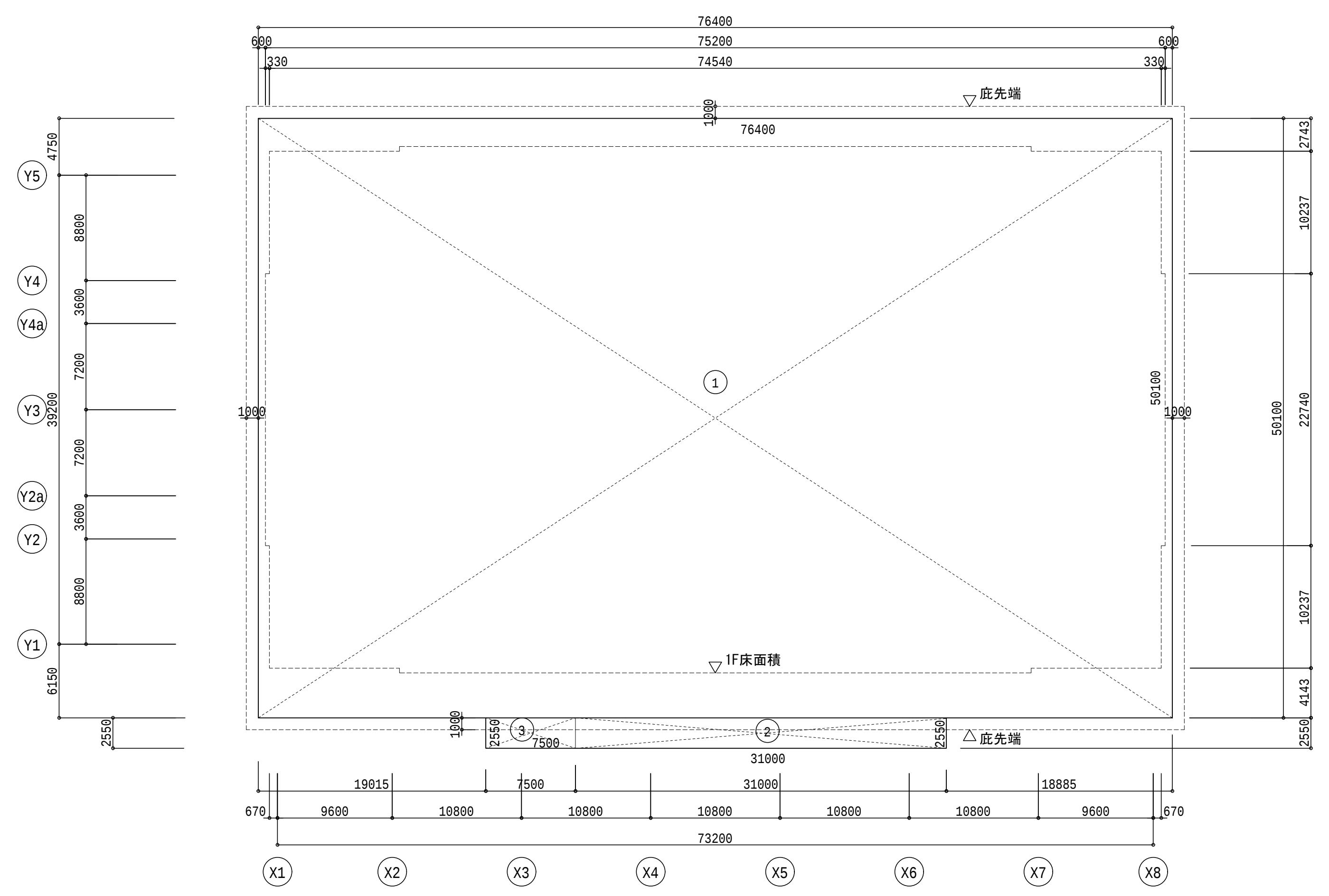
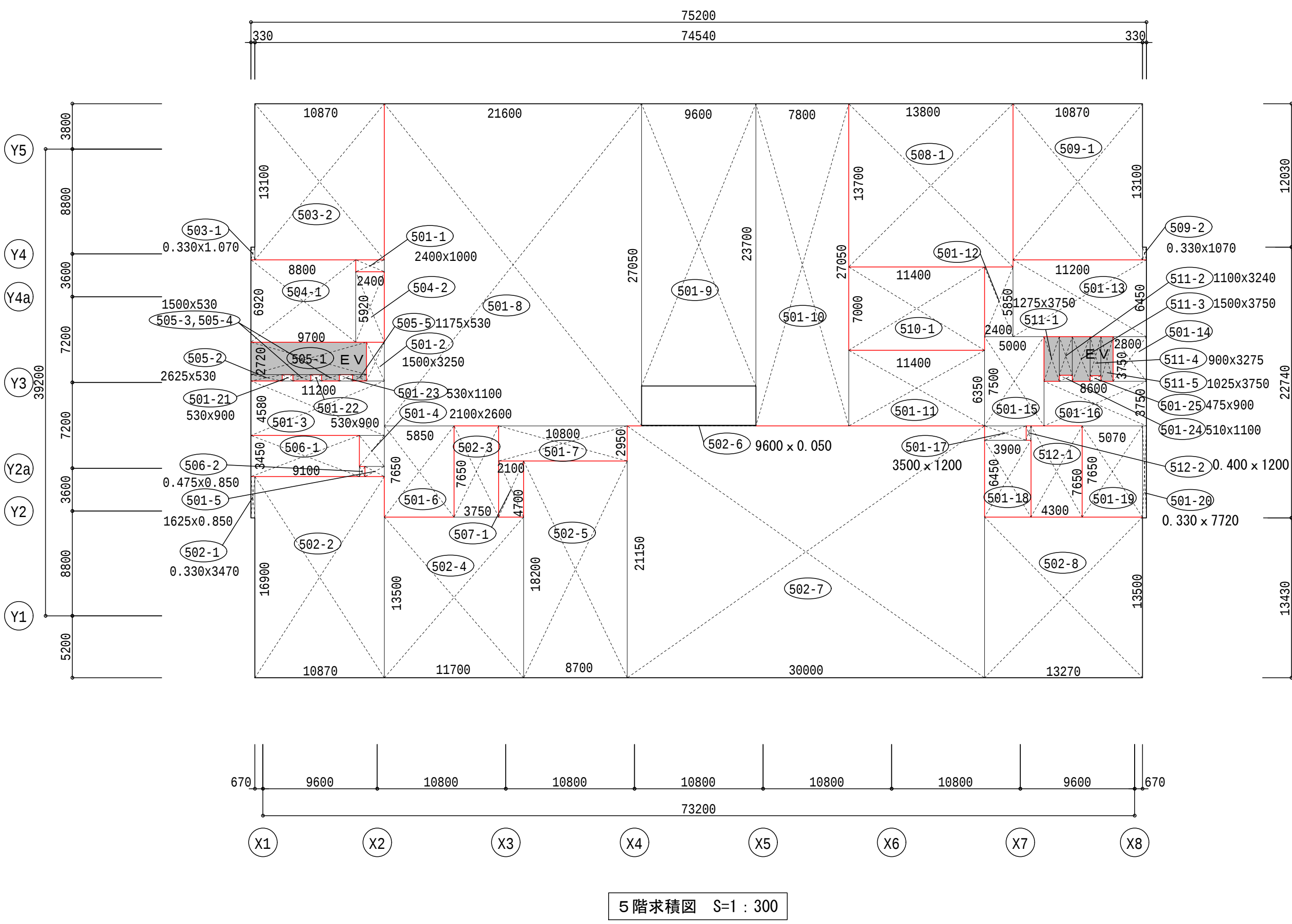
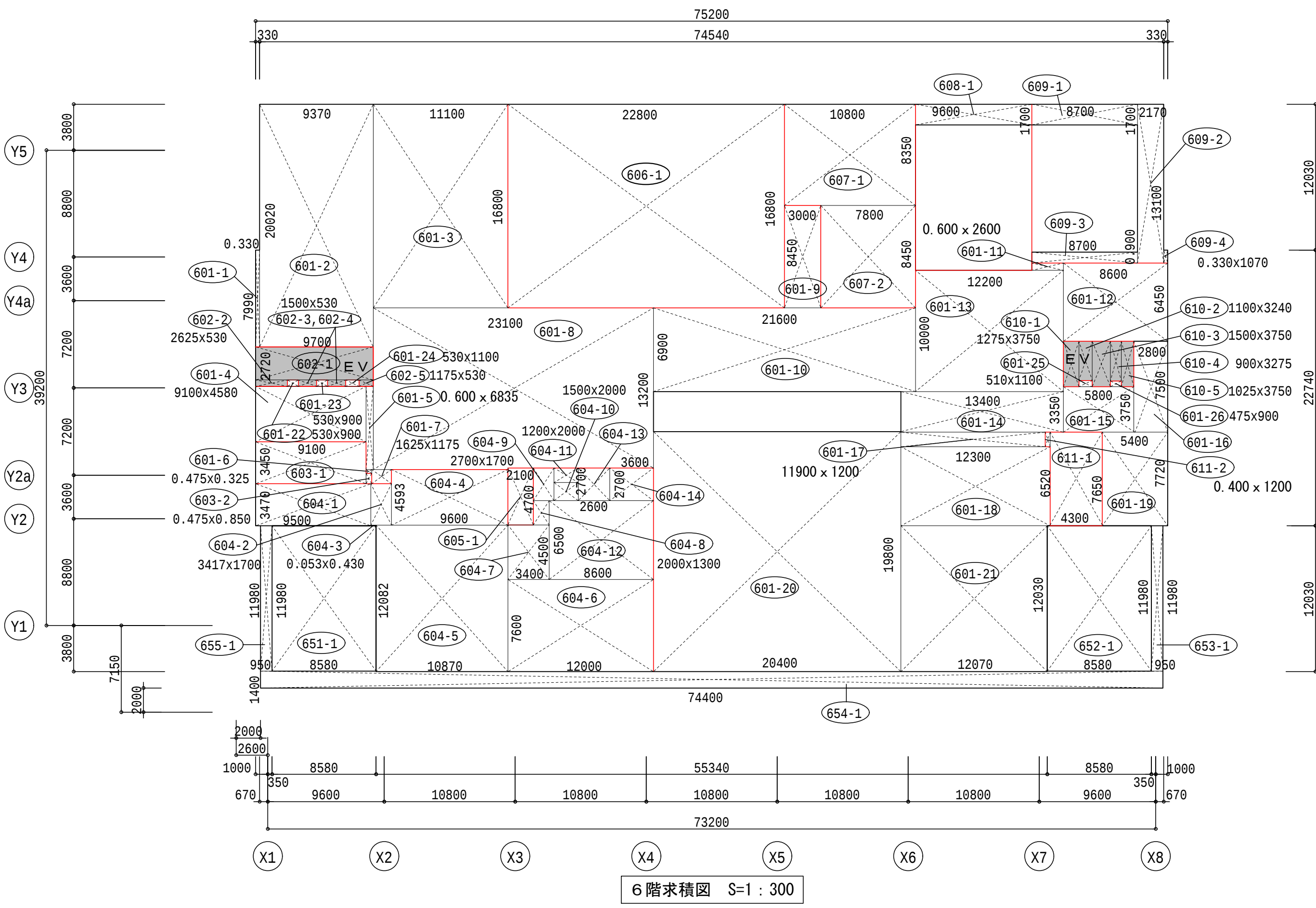


4 階求積図 S=1 : 300



3階求積図 S=1 : 300

—— 防火区画



容積対象外
※防火区画ごとに算定
防火区画

明石市政策局 企画・調整室 〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	明石市役所新庁舎建設工事			
	GEN	総合	最終版	2024.03.25
	07	建物求積図 (2)	A1 1:300 A3 1:600	見積版 2024.03.25
		安井建築設計事務所	最終契約版	

免震層						(㎡)
	防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計
	801	1	5.400	11.470	61.938	61.938
	総 合 計					61.938
	免震層					61.94

1 階床面積							(㎡)	
屋内	防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計		
	101	1	10.800	x	2.400	25.920		
		2	10.500	x	3.650	38.325		
		3	10.800	x	9.700	104.760		
		4	9.840	x	2.870	28.241		
		5	10.870	x	18.227	198.128		
		6	0.330	x	7.990	2.637		
		7	11.340	x	3.250	36.855		
		8	21.045	x	4.580	96.386		
		9	11.465	x	3.450	39.554		
		10	0.475	x	2.600	1.235		
		11	20.710	x	6.200	128.402		
		12	0.330	x	3.470	1.145		
		13	10.870	x	7.507	81.601		
		14	9.600	x	7.900	75.840		
		15	3.110	x	3.300	10.263		
		16	0.530	x	0.900	0.477		
		17	0.530	x	0.900	0.477		
		18	0.530	x	1.100	0.583		870.829
	102	1	0.300	x	3.650	1.095		
		2	0.960	x	3.125	3.000		
		3	31.200	x	18.875	588.900		
		4	7.800	x	14.000	109.200		
		5	3.000	x	0.393	1.179		
		6	13.870	x	11.307	156.828		
		7	0.330	x	1.070	0.353		860.555
	103	1	3.110	x	10.575	32.888		
		2	3.350	x	5.500	18.425		
		3	3.350	x	2.400	8.040		
		4	11.035	x	21.775	240.287		
		5	18.015	x	25.125	452.627		
		6	10.800	x	10.700	115.560		
		8	12.300	x	7.650	94.095		
		9	13.400	x	11.650	156.110		
		10	14.200	x	2.300	32.660		
		11	8.600	x	4.150	35.690		
		12	5.800	x	3.750	21.750		
		13	2.800	x	3.150	8.820		
		14	5.070	x	7.650	38.786		
		15	0.330	x	7.720	2.548		
		16	0.510	x	1.100	0.561		
		17	0.475	x	0.900	0.428		1259.275
		104	1	14.145	x	3.350		47.386
	105 (EV)	1	1.500	x	0.380	0.570		
		2	1.500	x	0.470	0.705		
		3	8.200	x	2.720	22.304		
4		1.125	x	0.530	0.596			
5		1.500	x	0.530	0.795			
6		1.500	x	0.530	0.795			
7		1.175	x	0.530	0.623	26.388		
106	1	9.100	x	3.450	31.395			
	2	0.475	x	0.850	0.404		31.799	
107	1	1.500	x	2.400	3.600	3.600		
	1	1.275	x	3.750	4.781			
108 (EV)	2	1.100	x	3.240	3.564			
	3	1.500	x	3.750	5.625			
	4	0.900	x	3.275	2.948			
	5	1.025	x	3.750	3.844		20.762	
	109	1	4.300	x	7.650		32.895	32.895
110	1	2.800	x	4.350	12.180	12.180		
111	1	10.870	x	8.300	90.221			
	2	10.870	x	2.007	21.816		112.037	

建築面積				(㎡)
1	76.400	x	50.100	3827.640
2	31.000	x	2.550	79.050
3	7.500	x	2.550	19.125
建築面積				3925.815
				3925.82

屋外	151	1	10.800	x	3.143	33.944	213.088
		2	52.800	x	2.750	145.200	
		3	10.800	x	3.143	33.944	
	152	1	10.800	x	1.743	18.824	108.928
		2	52.800	x	1.350	71.280	
		3	10.800	x	1.743	18.824	
車庫			32.000	x	4.500	144.000	144.000
屋 内 合 計							3277.706
屋 外 合 計							466.016
総 合 計							3743.722
1 階床面積							3743.72
容積対象外面積		EV部+車庫部					191.150
							191.15

2 階床面積						(㎡)
防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計	1408.178
201	1	0.330	x	7.990	2.637	
	2	10.870	x	10.813	204.497	
	3	1.500	x	3.250	4.875	
	4	0.630	x	0.600	0.378	
	5	46.200	x	22.543	1041.487	
	6	6.600	x	6.393	42.194	
	7	2.250	x	2.600	5.850	
	8	9.450	x	5.500	51.975	
	9	1.100	x	2.550	2.805	
	10	6.600	x	7.800	51.480	
202	1	10.600	x	4.580	48.548	1462.759
	2	0.630	x	3.950	2.489	
	3	2.100	x	2.600	5.460	
	4	1.625	x	0.850	1.381	
	5	0.330	x	3.470	1.145	
	6	10.870	x	14.293	155.365	
	7	52.800	x	21.843	1153.310	
	8	1.500	x	7.650	11.475	
	9	2.600	x	3.300	8.580	
	10	9.200	x	2.850	26.220	
	11	2.600	x	1.350	3.510	
	12	5.800	x	3.750	21.750	
	13	2.800	x	7.500	21.000	
	14	0.530	x	0.900	0.477	
	15	0.530	x	0.900	0.477	
	16	0.530	x	1.100	0.583	
	17	0.510	x	1.100	0.561	
203 (EV)	18	0.475	x	0.900	0.428	
	1	9.700	x	2.720	26.384	29.988
	2	2.625	x	0.530	1.391	
	3	1.500	x	0.530	0.795	
	4	1.500	x	0.530	0.795	
204	5	1.175	x	0.530	0.623	31.799
	1	9.100	x	3.450	31.395	
	2	0.475	x	0.850	0.404	
205	1	10.870	x	6.393	69.492	108.105
	2	8.020	x	2.900	23.258	
	3	5.770	x	2.600	15.002	
	4	0.330	x	1.070	0.353	
206	1	10.100	x	6.450	65.145	69.435
	2	1.100	x	3.900	4.290	
207 (EV)	1	1.275	x	3.750	4.781	20.762
	2	1.100	x	3.240	3.564	
	3	1.500	x	3.750	5.625	
	4	0.900	x	3.275	2.948	
	5	1.025	x	3.750	3.844	
208	1	4.300	x	7.650	32.895	32.895
						41.334
209	1	5.070	x	7.650	38.786	
	2	0.330	x	7.720	2.548	118.407
210	1	10.870	x	10.893	118.407	
総 合 計						3323.662
2 階床面積						3323.66
容積対象外		EV部				50.750
						50.75

階床面積						(㎡)
防火区画番号		計 算 式			面 積	面 積 計
301	1	11.200	x	4.580	51.296	1453.259
	2	2.400	x	1.000	2.400	
	3	1.500	x	3.250	4.875	
	4	2.100	x	2.600	5.460	
	5	1.625	x	0.850	1.381	
	6	2.400	x	0.500	1.200	
	7	5.300	x	0.125	0.663	
	8	21.600	x	29.600	639.360	
	9	2.200	x	2.600	5.720	
	10	7.400	x	2.725	20.165	
	11	9.600	x	23.700	227.520	
	12	15.000	x	29.600	444.000	
	13	9.600	x	0.125	1.200	
	14	4.200	x	8.900	37.380	
	15	4.200	x	2.300	9.660	
	16	0.600	x	0.470	0.282	
	17	0.530	x	0.900	0.477	
	18	0.530	x	0.900	0.477	
	19	0.530	x	1.100	0.583	
	20	1.200	x	0.300	0.360	
302	1	0.330	x	3.470	1.145	1301.346
	2	10.870	x	16.900	183.703	
	3	2.400	x	18.600	44.640	
	4	1.900	x	18.600	35.340	
	5	5.300	x	18.475	97.918	
	6	10.800	x	18.600	200.880	
	7	7.400	x	18.475	136.715	
	8	1.200	x	18.600	22.320	
	9	9.600	x	18.475	177.360	
	10	9.000	x	18.600	167.400	
	11	12.670	x	13.500	171.045	
	12	1.200	x	18.300	21.960	
	13	2.200	x	18.600	40.920	
303	1	0.330	x	1.070	0.353	142.750
	2	10.870	x	13.100	142.397	
304	1	8.800	x	6.920	60.896	75.104
	2	2.400	x	5.920	14.208	
305 (EV)	1	9.700	x	2.720	31.525	29.988
	2	2.625	x	0.530	1.391	
	3	1.500	x	0.530	0.795	
	4	1.500	x	0.530	0.795	
306	1	1.175	x	0.530	0.623	31.799
	1	9.100	x	3.450	31.395	
	2	0.475	x	0.850	0.404	
307	1	16.870	x	0.470	7.929	487.777
	2	17.470	x	11.930	208.417	
	3	0.330	x	7.520	2.482	
	4	13.270	x	7.150	94.881	
	5	4.200	x	6.000	25.200	
	6	5.000	x	1.150	5.750	
	7	2.800	x	3.750	10.500	
	8	5.000	x	6.350	31.750	
	9	8.600	x	3.750	32.250	
	10	3.500	x	2.550	8.925	
	11	0.400	x	1.350	0.540	
	12	3.300	x	5.100	16.830	
	13	5.070	x	7.650	38.786	
	14	0.330	x	7.720	2.548	
	15	0.510	x	1.100	0.561	
	16	0.475	x	0.900	0.428	
308 (EV)	1	1.275	x	3.750	4.781	20.762
	2	1.100	x	3.240	3.564	
	3	1.500	x	3.750	5.625	
	4	0.900	x	3.275	2.948	
	5	1.025	x	3.750	3.844	
309	1	4.300	x	7.650	32.895	33.375
	2	0.400	x	1.200	0.480	
総 合 計						3576.160
3階床面積						3576.16
容積対象外		EV部				50.750
						50.75

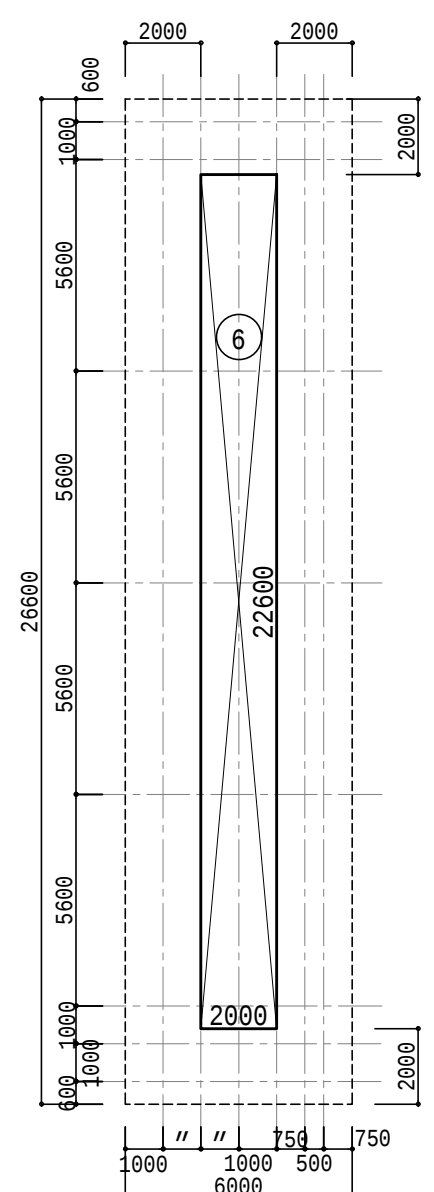
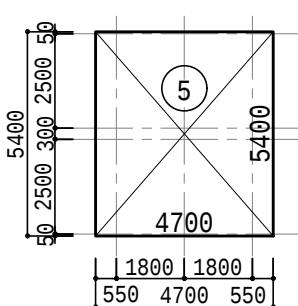
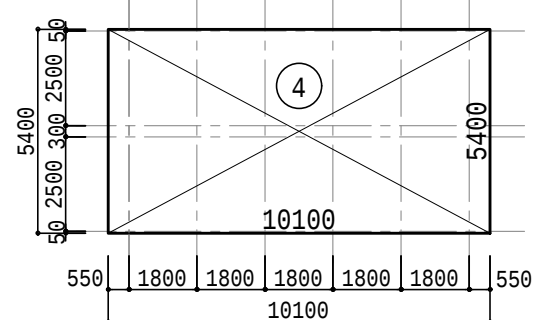
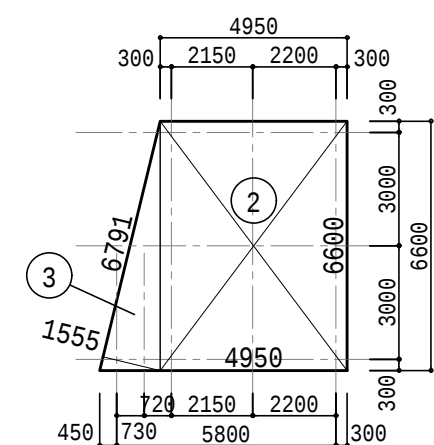
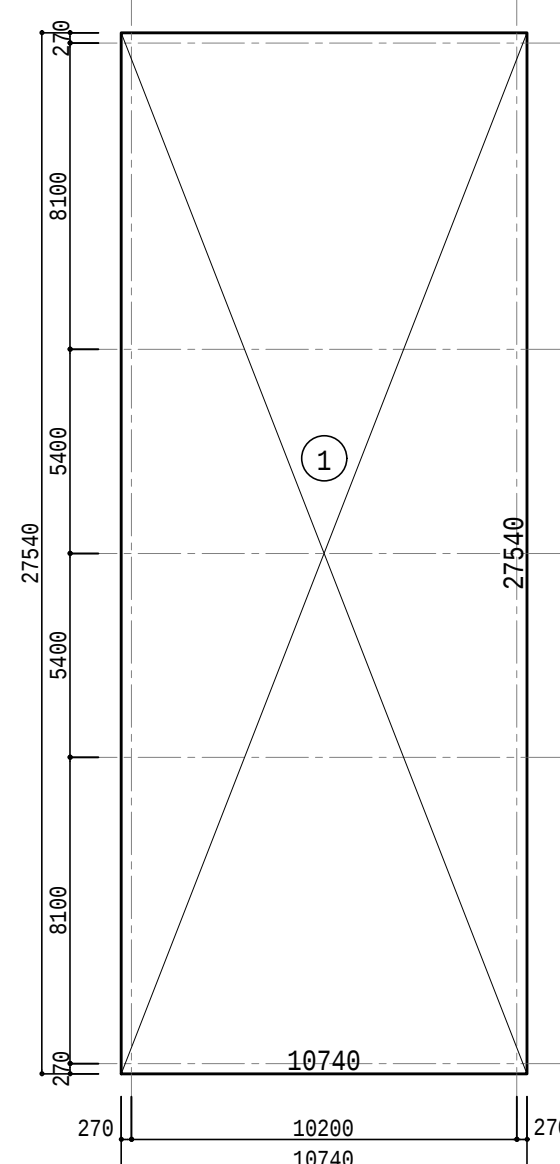
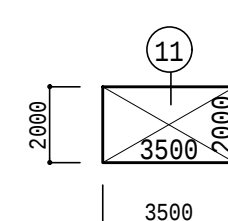
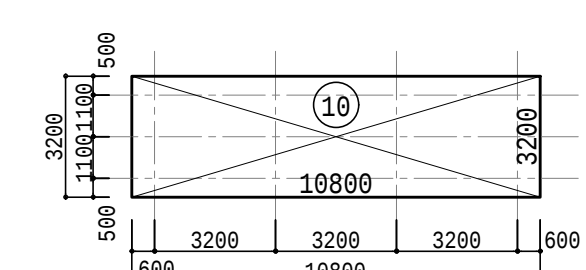
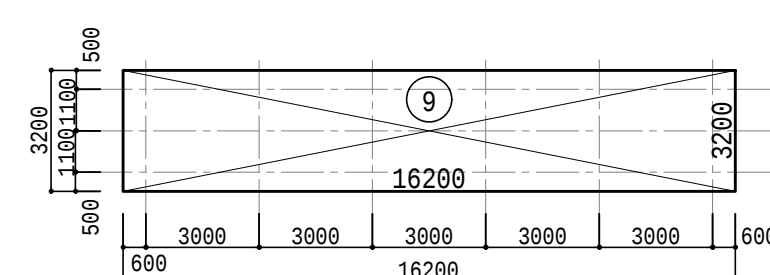
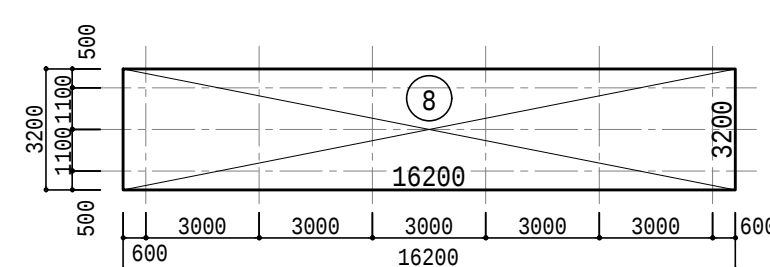
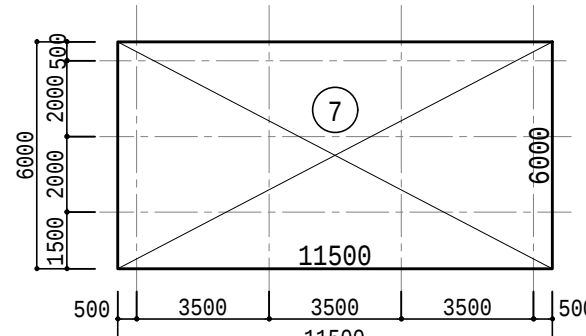
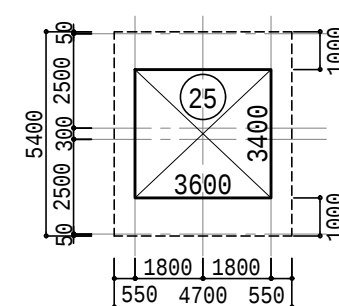
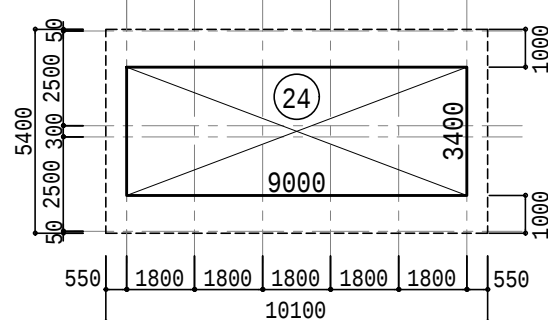
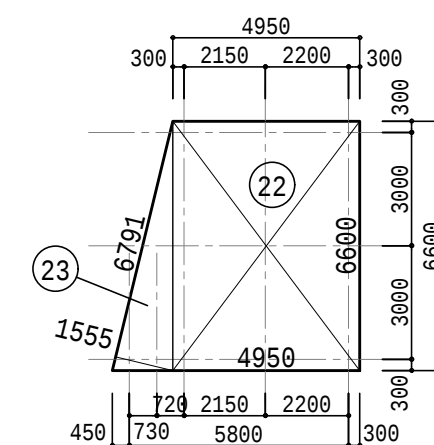
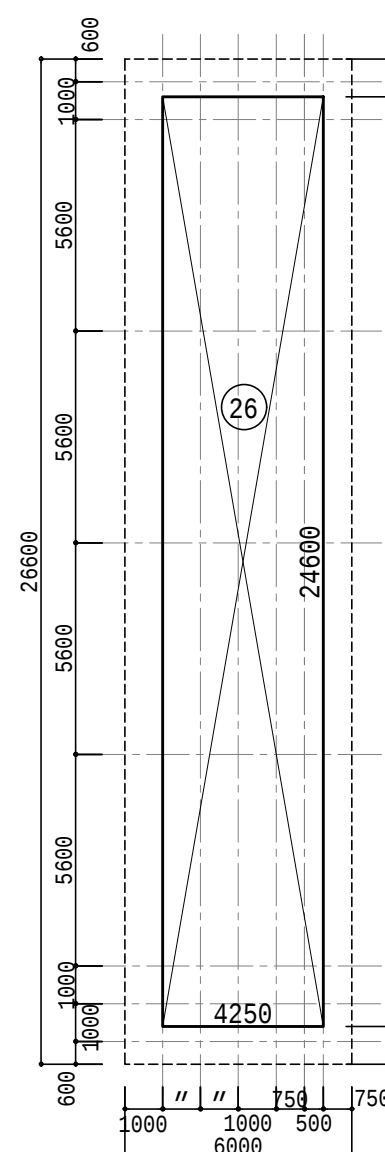
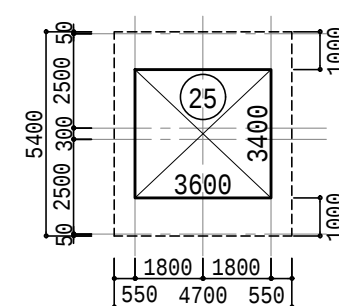
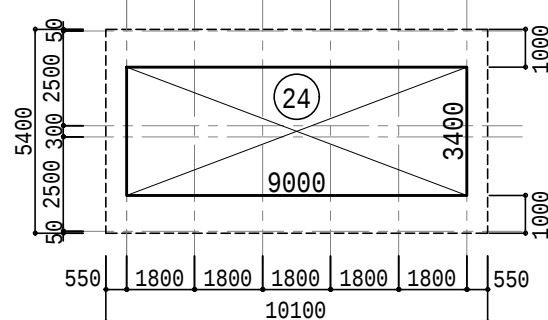
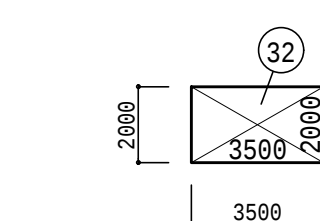
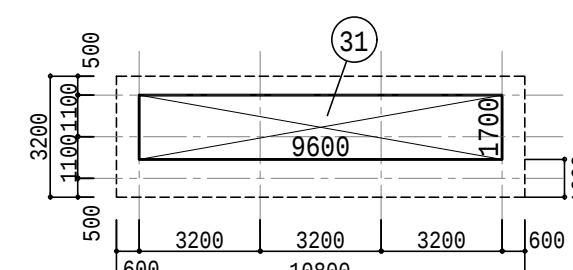
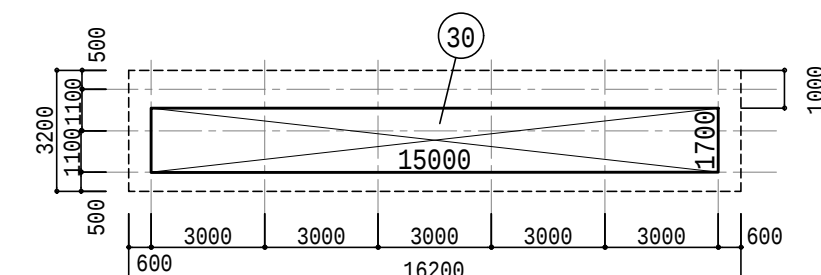
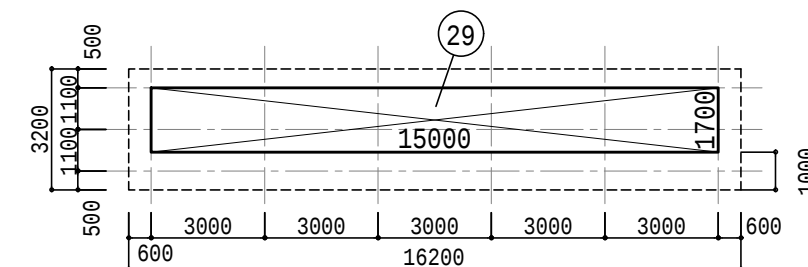
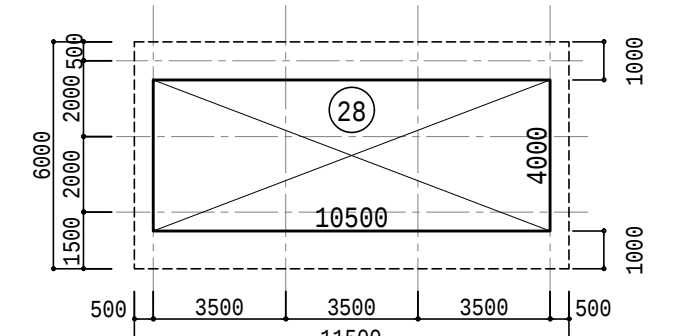
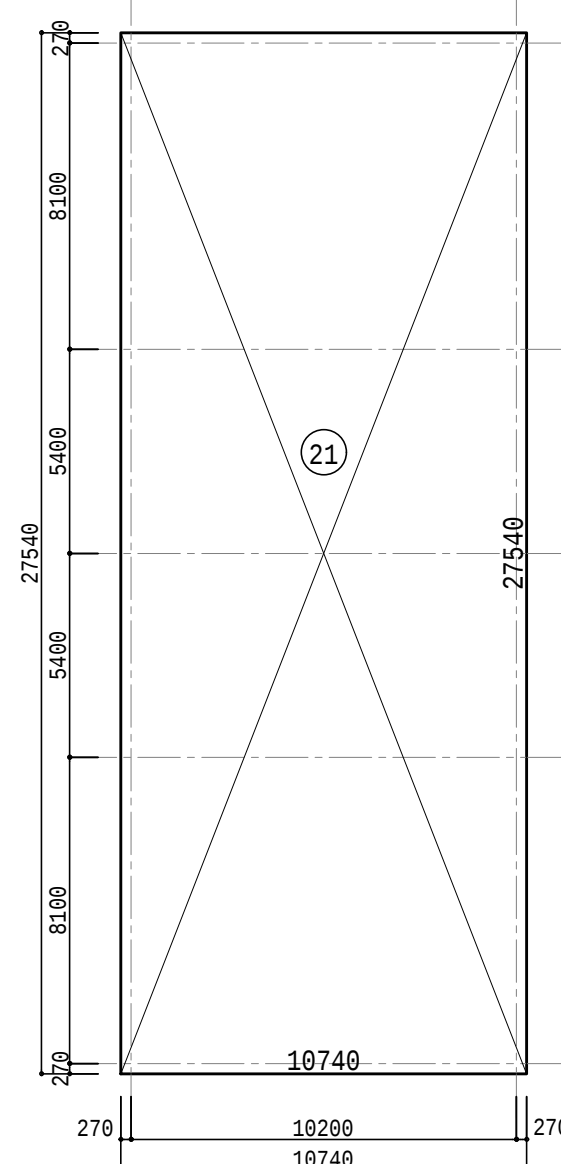
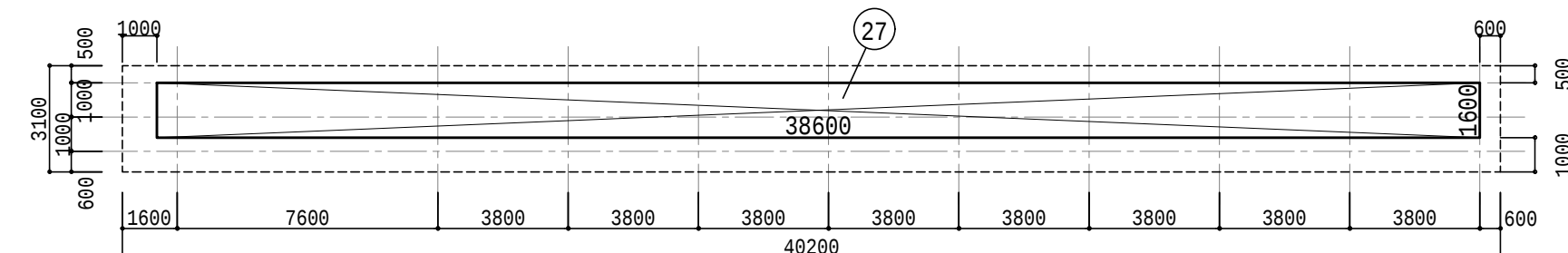
4 階床面積 (㎡)					
防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計
400	1	9.700 x	4.580	44.426	45.963
	2	0.530 x	0.900	0.477	
	3	0.530 x	0.900	0.477	
	4	0.530 x	1.100	0.583	
401	1	0.670 x	0.400	0.268	1478.831
	2	10.870 x	6.800	73.916	
	3	2.400 x	1.000	2.400	
	4	1.500 x	3.250	4.875	
	5	0.600 x	1.750	1.050	
	6	1.500 x	6.330	9.495	
	7	0.475 x	0.850	0.404	
	8	1.625 x	1.700	2.763	
	9	9.600 x	0.125	1.200	
	10	21.600 x	29.600	639.360	
	11	9.600 x	2.725	26.160	
	12	9.600 x	23.700	227.520	
	13	4.200 x	8.900	37.380	
	14	15.000 x	7.000	105.000	
	15	19.200 x	13.700	263.040	
	16	3.000 x	15.000	45.000	
402	17	2.600 x	15.000	39.000	1022.688
	1	0.330 x	3.470	1.145	
	2	10.870 x	16.900	183.703	
	3	10.800 x	18.600	200.880	
	4	9.600 x	18.475	177.360	
	5	1.200 x	18.600	22.320	
	6	9.600 x	18.475	177.360	
	7	12.000 x	18.600	223.200	
403	8	7.200 x	5.100	36.720	68.566
	1	0.670 x	4.830	3.236	
	2	1.000 x	1.070	1.070	
404	3	10.200 x	6.300	64.260	75.104
	1	8.800 x	6.920	60.896	
405 (EV)	2	2.400 x	5.920	14.208	29.988
	1	9.700 x	2.720	26.384	
	2	2.625 x	0.530	1.391	
	3	1.500 x	0.530	0.795	
	4	1.500 x	0.530	0.795	
406	5	1.175 x	0.530	0.623	31.799
	1	9.100 x	3.450	31.395	
407	2	0.475 x	0.850	0.404	719.584
	1	13.270 x	19.550	259.429	
	2	4.200 x	7.000	29.400	
	3	0.330 x	7.520	2.482	
	4	5.000 x	3.750	18.750	
	5	2.800 x	3.750	10.500	
	6	13.600 x	3.750	51.000	
	7	3.500 x	1.200	4.200	
	8	3.900 x	6.450	25.155	
	9	5.070 x	7.650	38.786	
	10	0.330 x	7.720	2.548	
	11	20.470 x	13.500	276.345	
	12	0.510 x	1.100	0.561	
408 (EV)	13	0.475 x	0.900	0.428	20.762
	1	1.275 x	3.750	4.781	
	2	1.100 x	3.240	3.564	
	3	1.500 x	3.750	5.625	
	4	0.900 x	3.275	2.948	
409	5	1.025 x	3.750	3.844	33.375
	1	4.300 x	7.650	32.895	
410	2	0.400 x	1.200	0.480	49.500
	1	3.300 x	15.000	49.500	
総 合 計					3576.160
4 階床面積					3576.16
容積対象外		EV部			50.750
					50.75

延床面積 (㎡)			
各階床面積		各EV部+車庫部	容積対象面積
免震層	61.94	-	-
1 階床面積	3743.72	191.15	3614.51
2 階床面積	3323.66	50.75	3272.91
3 階床面積	3576.16	50.75	3525.41
4 階床面積	3576.16	50.75	3525.41
5 階床面積	3576.16	50.75	3525.41
6 階床面積	3329.44	50.75	3278.69
7 階床面積	173.58	23.05	150.53

5 階床面積 (㎡)					
防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計
501	1	2.400 x	1.000	2.400	1476.950
	2	1.500 x	3.250	4.875	
	3	11.200 x	4.500	51.296	
	4	2.100 x	2.600	5.460	
	5	1.625 x	0.850	1.381	
	6	5.850 x	7.650	44.753	
	7	10.800 x	2.950	31.860	
	8	21.600 x	27.050	584.280	
	9	9.600 x	23.700	227.520	
	10	7.800 x	27.050	210.990	
	11	11.400 x	6.350	72.390	
	12	2.400 x	5.850	14.040	
	13	11.200 x	6.450	72.240	
	14	2.800 x	3.750	10.500	
	15	5.000 x	7.500	37.500	
	16	8.600 x	3.750	32.250	
	17	3.500 x	1.200	4.200	
	18	3.900 x	6.450	25.155	
	19	5.070 x	7.650	38.786	
	20	0.330 x	7.720	2.548	
	21	0.530 x	0.900	0.477	
	22	0.530 x	0.900	0.477	
	23	0.530 x	1.100	0.583	
	24	0.510 x	1.100	0.561	
	25	0.475 x	0.900	0.428	
502	1	0.330 x	3.470	1.145	1343.951
	2	10.870 x	16.900	183.703	
	3	3.750 x	7.650	28.688	
	4	11.700 x	13.500	157.950	
	5	8.700 x	18.200	158.340	
	6	9.600 x	0.050	0.480	
	7	30.000 x	21.150	634.500	
503	8	13.270 x	13.500	179.145	142.750
	1	0.330 x	1.070	0.353	
504	2	10.870 x	13.100	142.397	75.104
	1	8.800 x	6.920	60.896	
505 (EV)	2	2.400 x	5.920	14.208	29.988
	1	9.700 x	2.720	26.384	
	2	2.625 x	0.530	1.391	
	3	1.500 x	0.530	0.795	
	4	1.500 x	0.530	0.795	
506	5	1.175 x	0.530	0.623	31.799
	1	9.100 x	3.450	31.395	
507	2	0.475 x	0.850	0.404	9.870
	1	2.100 x	4.700	9.870	
508	1	13.800 x	13.700	189.060	142.750
	1	10.870 x	13.100	142.397	
509	2	0.330 x	1.070	0.353	79.800
	1	11.400 x	7.000	79.800	
511 (EV)	1	1.275 x	3.750	4.781	20.762
	2	1.100 x	3.240	3.564	
	3	1.500 x	3.750	5.625	
	4	0.900 x	3.275	2.948	
	5	1.025 x	3.750	3.844	
512	1	4.300 x	7.650	32.895	33.375
	2	0.400 x	1.200	0.480	
総 合 計					3576.159
5 階床面積					3576.16
容積対象外		EV部			50.750
					50.75

7 階床面積 (㎡)					
防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計
701	1	2.570 x	4.070	10.460	116.861
	2	5.770 x	3.750	21.638	
	3	1.070 x	1.200	1.284	
	4	1.470 x	6.520	9.584	
	5	2.800 x	4.070	11.396	
	6	5.400 x	11.470	61.938	
	7	0.510 x	1.100	0.561	
702(EV)	1	1.275 x	4.070	5.189	23.045
	2	1.100 x	3.560	3.916	
	3	3.425 x	4.070	13.940	
703	1	4.300 x	7.720	33.196	33.676
	2	0.400 x	1.200	0.480	
総 合 計					173.582
7 階床面積					173.58
容積対象外		EV部			23.05

6 階床面積 (㎡)					
防火区画番号		計 算 式		面 積	面 積 計
屋内	601	1	0.330 x	7.990	2.637
		2	9.370 x	20.020	187.587
		3	11.100 x	16.800	186.480
		4	9.100 x	4.580	41.678
		5	0.600 x	6.855	4.113
		6	0.475 x	0.325	0.154
		7	1.625 x	1.175	1.909
		8	23.100 x	13.200	304.920
		9	3.000 x	8.450	25.350
		10	21.600 x	6.900	149.040
		11	0.600 x	2.600	1.560
		12	8.600 x	6.450	55.470
		13	12.200 x	10.000	122.000
		14	13.400 x	3.350	44.890
		15	5.800 x	3.750	21.750
		16	2.800 x	7.500	21.000
		17	11.900 x	1.200	14.280
		18	12.300 x	6.520	80.196
		19	5.400 x	7.720	41.688
		20	20.400 x	19.800	403.920
		21	12.070 x	12.030	145.202
		22	0.530 x	0.900	0.477
		23	0.530 x	0.900	0.477
		24	0.530 x	1.100	0.583
		25	0.510 x	1.100	0.561
		26	0.475 x	0.900	0.428
	602 (EV)	1	9.700 x	2.720	26.384
		2	2.625 x	0.530	1.391
		3	1.500 x	0.530	0.795
		4	1.500 x	0.530	0.795
		5	1.175 x	0.530	0.623
	603	1	9.100 x	3.450	31.395
		2	0.475 x	0.850	0.404
	604	1	9.500 x	3.470	32.965
		2	3.417 x	1.700	5.809
		3	0.053 x	0.430	0.023
		4	9.600 x	4.593	44.093
		5	10.870 x	12.082	131.331
		6	12.000 x	7.600	91.200



延床面積求積表		
②車庫棟 床面積	計算式	面積
1	10.740×27.540	295.789
		295.789
③ミミ庫 床面積		
2	4.950×6.600	32.679
3	$6.791 \times 1.555 \quad 2$	5.289
		37.959
④公用・職員駐輪場1 床面積		
4	10.100×5.400	54.540
		54.540
⑤公用・職員駐輪場2 床面積		
5	4.700×5.400	25.389
		25.389
⑥車寄せ 床面積		
6	2.000×22.600	45.200
		45.200
⑦優先駐車場2 床面積		
7	11.500×6.000	69.000
		69.000
⑧来庁者駐輪場1 床面積		
8	16.200×3.200	51.840
		51.840
⑨来庁者駐輪場2 床面積		
9	16.200×3.200	51.840
		51.840
⑩来庁者駐輪場3 床面積		
10	10.800×3.200	34.560
		34.560
⑪受水槽 床面積		
11	3.500×2.000	7.000
		7.000
延床面積 合計		673.099
		673.09

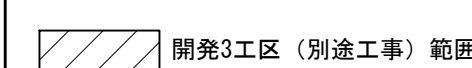
建築面積求積表		
②車庫棟		
記号	計算式	面積
21	10.740×27.540	295.780
		295.780
③ゴミ庫		
22	4.950×6.600	32.670
23	$6.791 \times 1.555 \quad 2$	5.289
		37.950
④公用 職員駐輪場1		
24	9.000×3.400	30.600
		30.600
⑤公用 職員駐輪場2		
25	3.600×3.400	12.240
		12.240
⑥車寄せ		
26	4.250×24.600	104.550
		104.550
⑪バス停		
27	38.600×1.600	61.760
		61.760
⑦優先駐車場2		
28	10.500×4.000	42.000
		42.000
⑧来庁者駐輪場1		
29	15.000×1.700	25.500
		25.500
⑨来庁者駐輪場2		
30	15.000×1.700	25.500
		25.500
⑩来庁者駐輪場3		
31	9.600×1.700	16.320
		16.320
⑫受水槽		
32	3.500×2.000	7.000
		7.000
建築面積 合計		659.200
		659.20

 開発3工区（別途工事）範囲

工事区分表（共通）																											
工事区分表										項 目		細 目		建 築		衛 生		空 調		電 気		昇降機		別途			
1） 項目は番号に○印がついたものを適用する。 2） 区分表は○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。 3） ○と※印がついた場合は、共に適用する。 4） 特記事項は ○印がついたものを適用する。																											
項 目		細 目								建 築		衛 生		空 調		電 気		昇降機		別途							
① 仮 設	電力引込み工事（負担金を含む）	※	・	・	・	・	・	・	⑦ コンクリート製 消防ポンプ水源 消防用水 （防火水槽）	槽本体防水仕上	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	給水引込み工事（負担金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		釜場、隔壁用連通管、通気管、人通路	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	下水接続工事（負担金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		防水防臭型マンホール、タラップ	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	ガス引込み工事（負担金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		ポンプビット用通気管、ベントキャップ	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	引込み以降の電力、給水、ガス工事	※	・	・	・	・	・	・		満減水警報（消防ポンプ水源）	・	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	着工より引渡までの電力使用料金（基本料金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		満減水警報（消防用水）	・	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	着工より引渡までの給水使用料金（基本料金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		補給水供給（消防ポンプ水源）	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	着工より引渡までの下水使用料金（基本料金を含む）	※	・	・	・	・	・	・																			
	着工より引渡までのガス使用料金（基本料金を含む）	※	・	・	・	・	・	・																			
	電話引込み工事、使用料金（基本料金を含む）	※	・	・	・	・	・	・		⑧ 排水経路及び 外構工事	雨水調整池（仕上共）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
工事中各種申請届出費用	※	・	・	・	・	・	・	雨水調整樹より雨水貯留槽への配管	※		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
仮囲い	※	・	・	・	・	・	・	雨水貯留槽よりのポンプアップ配管	・		※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
進入道路整備	※	・	・	・	・	・	・	汚水、雑排水経路（マンホール、化粧マンホール共）	・		※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
ガードマン詰所、仮設便所	※	・	・	・	・	・	・	同上化粧マンホールの仕上材貼り	※		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
ガードマン	※	・	・	・	・	・	・	沈下防止用排水樹	※		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
近隣に対する窓口（電波障害含む）	※	・	・	・	・	・	・	同上マンホール、点検蓋	※		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
								同上インバート施工（防水モルタル仕上共）	・		※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
								沈下対策用コンクリート樹（仕上共、給水、消火用）	・		※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
								同上用マンホール、点検蓋	・		※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
② 本設・引込み 及び接続 ※注 1）	給水引込み工事	・	※	・	・	・	・	・	⑨ 自動扉	下水道本管への接続（雨水）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	排水本管接続工事	・	※	・	・	・	・	・		下水道本管への接続（汚水）	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	ガス引込み工事	・	※	・	・	・	・	・		集水樹への接続	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	電話引込み工事（配管）	・	・	・	※	・	・	・		電力・電話引込み柱又はボックス（マンホール、化粧マンホール共）	・	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	本受電以降の工事中の基本料金	※	・	・	・	・	・	・		同上化粧マンホールの仕上材貼り	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	試運転調整用使用料金（電力、給水、排水、ガス等）	※	・	・	・	・	・	・		地下二重壁内の排水配管	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	各種引込負担金	・	・	・	・	・	・	○		コンクリート製給排気シャフトの排水配管	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
										玄関マットの排水管	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
③ 電気室・機械室等	配管・配線ビット及び蓋取付	※	・	・	・	・	・	・	⑩ 厨 房	屋内排水のマンホール（コンクリート製以外）	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	コンクリート基礎及び仕上（床上）	※	・	・	・	・	・	・		屋内排水のマンホール（コンクリート製）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	同上基礎の補強	※	・	・	・	・	・	・		グリーストラップ	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	同上のアンカーボルト施工	・	※	※	※	※	※	・		排水側溝及び蓋	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	機器搬出入用据付フック（補強共）	※	・	・	・	・	・	・		厨房機器、給排水器具類及び設置、取付	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	搬出入用マシンハッチ	※	・	・	・	・	・	・		厨房機器、給排水器具への接続配管	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	機械室排水側溝及び蓋	※	・	・	・	・	・	・		厨房機器、給排水器具接続一次側電源供給	・	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	室内金属屋根	※	・	・	・	・	・	・		厨房機器の二次側電気配管配線	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
④ 発電機室他	配管・配線ビット及び蓋取付	※	・	・	・	・	・	・	⑪ 壁、床スリーブ 箱入れ	フード及び幕板	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	コンクリート基礎及び仕上（床上）	※	・	・	・	・	・	・		フード消火設備、及び二次側配管配線	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	同上基礎の補強	※	・	・	・	・	・	・		室内床防水押えコンクリート	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
	同上のアンカーボルト施工	・	・	・	※	・	・	・		冷蔵庫、冷凍庫用蓋板	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	機器搬出入用据付フック（補強共）	※	・	・	・	・	・	・		フード消火設備の一次側電源供給	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	搬出入用マシンハッチ	※	・	・	・	・	・	・		フード消火設備の作動警報	・	・	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	発電機煙道、排気管	・	・	・	※	・	・	・		フード消火設備とガス遮断弁との連動	・	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・			
	発電機煙突	※	・	・	・	・	・	・																			
	発電機用オイルタンク	・	・	・	※	・	・	・																			
	地中オイルタンク用外郭・乾燥砂又は基礎防油堤（漏油防止蓋養生）	※	・	・	・	・	・	・		⑫ 天 井	RC造（開口及び開口補強）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
	同上マンホール類	・	・	・	※	・	・	・			ALC板、ブロック等（開口及び開口補強）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
	オイル供給配管、通気管、検知管	・	・	・	※	・	・	・			工場製作間仕切壁（開口及び開口補強）	※	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・		
通常換気設備	・	・	※	・	・	・	・	軽量鉄骨、木造等（開口及び開口補強）	※		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・				
発電機運転用換気設備	・	・	※	○	・	・	・	⑬ 点検口																			
発電装置排気設備	・	・	※	○	・	・	・																				

[illegible]

④ 地業工事 （続き）	3 鋼杭地業	杭の種類（材料）、寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5)	⑤ 砂利地業	材料 (4.6.2) ○再生クラッシャーラン ・切込砂利 ・切込砕石 (4.6.3) 砂利の厚さ ※60mm ・ 範囲 ○基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下、土間コンクリート下（地盤改良範囲は除く） ・図示による ・	7 機械式継手 (5.5.3) 適用箇所 ・図示による ・ (5.5.3) 平成12建設第1463号に適合する性能 ・A級 ・ (5.5.3) 機械式継手の種類 ・図示による ・ (5.5.3) 鉄筋相互のあき ・評定等の内容による ・図示による (5.5.5) 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験（全ての圧接部） 試験項目、試験方法 ・図示による ・ ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による ・ (5.5.5) 不合格となった継手部への措置 ・図示による ・ (5.5.3) 適用箇所 ・図示による ・ (5.6.3) 平成12年建設省告示第1463号に適合する性能 ・A級 ・ (5.6.3) 溶接継手の工法 ・図示による ・ (5.6.3) 鉄筋相互のあき ・図示による ・ (5.6.5) 施工完了後の継手部の試験 ・外観試験（全ての圧接部） 試験項目、試験方法 ・図示による ・ ・超音波測定試験 試験対象 ・図示による ・ (5.6.5) 不合格となった場合の措置 ・図示による ・	⑤ 打継ぎの位置、 ひび割れ誘発目地、 打継目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スパンの中央又は端から1/4の付近 ・図示による ・ 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による ・ 打継ぎ部の止水版 ※土に接する地下外壁、基礎板、地中梁のコンクリート打継ぎは、 非加硫ブチルゴム製止水板幅200mmを打ち込む (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3) 目地の寸法（ひび割れ誘発目地を含む） ※標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による ・ (6.8.1) ひび割れ誘発目地の位置、形状 ・図示による ・ (6.2.5)(表6.2.4) 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(表6.2.5)																																																							
	4 場所打ち コンクリート杭地業	・特定埋込杭工法 (4.3.5)(4.4.4) ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式でα=250を採用できる工法 ・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力方式のうちα、β、γが以下の値を 採用できる工法 α=（ ）、β=（ ）、γ=（ ） 工法 ・中掘り拡大根固め工法 ・ 杭の継手の工法 (4.4.3)(4.4.5)(7.2.5) ・アーク溶接継手 溶接材料 ・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による ・ ・機械式継手 杭頭の処理 (4.4.6) ・処理しない ・処理する 処理方法（切断を伴う補強方法含む） ・図示による ・ 工法 (4.5.1)(4.5.4～4.5.6) ・アースドリル工法 ・リバーシ工法 ・オールケーシング工法 ・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 鋼管の種類 ・SKK400 ・SKK490 ・ ・拡底杭工法 寸法等 (4.2.2)(4.5.4)	⑤ 鉄筋工事	① 鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類 <table><tr><th>種類の記号</th><th>呼び径 (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>○ SD295</td><td>・D16以下</td><td>・床版、底版、あばら筋、帯筋</td></tr><tr><td>○ SD345</td><td>・D19以上D25以下</td><td>・梁主筋、根巻き主筋</td></tr><tr><td>○ SD390</td><td>・D29以上</td><td>・梁主筋、免震材料基礎主筋</td></tr></table> 基礎梁下端筋・基礎梁あばら筋・底版主筋・基礎鉄筋は、溶融亜鉛めっき鉄筋とする。（HDZ177） 加工 (5.3.2) ・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の折曲げ内法直径(D)（ ）以上 ・溶融亜鉛めっき鉄筋については、めっき後に常温にて曲げ加工を施すものとする。 (5.2.2) 鉄線の形状等 <table><tr><th>種 類</th><th>種類の記号</th><th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th><th>使用部位</th></tr><tr><td>・溶接金網</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・鉄筋格子</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 鉄筋の継手の方法等 (5.3.4) <table><tr><th>部 位</th><th>継手の方法</th><th>呼び径 (mm)</th></tr><tr><td>柱及び梁主筋 *1</td><td>○ガス圧接 ○機械式継手 ・溶接継手 ○重ね継手</td><td>○ 図示による。</td></tr><tr><td>耐力壁の鉄筋</td><td>・重ね継手</td><td>・</td></tr><tr><td>基礎、耐圧スラブ、土圧壁</td><td>○重ね継手 ・ガス圧接</td><td>○ 図示による。</td></tr><tr><td>上記以外（ ）</td><td>・重ね継手</td><td>・</td></tr></table> *1 溶融亜鉛めッキ鉄筋の継手は、重ね継手とする。その他は圧接を基本とする。 継手位置 (5.3.4) ○ 図示による ・ 柱及び梁主筋の重ね継手の長さ (5.3.4) ※標準仕様書 表5.3.2による ・図示による ・ 耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4) ※標準仕様書 5.3.4(3)(7)による ・図示による ・ ・先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同箇所に設ける場合 ・図示による ・ 鉄筋の定着長さ (5.3.4) ※標準仕様書表5.3.4による ・図示による ・ 標準仕様書5.3.4(5)(4)の場合の折り曲げ定着の方法 ※標準仕様書 図5.3.3により5.3.4(5)(4)を全て満足する ・ 機械式定着工法 (5.3.4) ・適用する 適用箇所 ・図示による ・ 種類 ・図示による ・ ガス圧接は（公社）日本鉄筋継手協会認定による「優良圧接会社」が行うものとする。 日本鉄筋継手協会が認定した「A級継手圧接施工会社」が実施する場合は、A級継手を採用してもよい。 継手位置は日本鉄筋継手協会が定める位置を原則とする。 (5.3.5) 最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う） ※標準仕様書 表5.3.6による 柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○あり 適用箇所（免震材料基礎・1階大梁） 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 軽量コンクリートの適用の有無 ・あり 適用箇所（ ） ・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm 耐久性上不利な箇所の有無（塩害等を受けるおそれのある部分等） ・あり 適用箇所（ ） ・最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm ・図示による ・ 各部配筋 (5.3.7) 各部配筋 ○ 図示による ・ ⑥ ガス圧接完了後の 試験 (5.4.10)(5.4.11) 抜取試験 ※超音波探傷試験 標準仕様書5.4.10(4)(a)による ・引張試験 試験方法等 ※標準仕様書5.4.10(4)(b)による	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考	○ SD295	・D16以下	・床版、底版、あばら筋、帯筋	○ SD345	・D19以上D25以下	・梁主筋、根巻き主筋	○ SD390	・D29以上	・梁主筋、免震材料基礎主筋	種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・溶接金網				・鉄筋格子				部 位	継手の方法	呼び径 (mm)	柱及び梁主筋 *1	○ガス圧接 ○機械式継手 ・溶接継手 ○重ね継手	○ 図示による。	耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・	基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接	○ 図示による。	上記以外（ ）	・重ね継手	・	⑥ コンクリート工事	① コンクリートの類別等 (6.2.1)(表6.2.1) ※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート） ・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート） (6.2.1～6.2.4)(表6.2.2) ・普通コンクリート <table><tr><th>設計基準強度 (N/mm²)</th><th>スランブ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>○33</td><td>※15又は18</td><td>1FL以下の躯体</td></tr><tr><td>○24</td><td>※18</td><td>スラブ、壁、車寄せ、バス停、優先駐車場 歩行者駐輪場、受水槽基礎</td></tr><tr><td>○33</td><td>○フロー60cm</td><td>免震装置下部フーチング</td></tr><tr><td>○24</td><td>○15</td><td>外構設備基礎</td></tr></table> ※スランブ値はコンクリート所定の性能を満足するように適切に判断すること (6.2.1)(6.2.10) ・軽量コンクリート （特記事項は、「9. 軽量コンクリート」に示す） (6.2.1) ○ 建築基準法第37 条第二号の規定に基づき認定を受けたコンクリート 適用箇所（○ 免震材料下部フーチング） (6.2.1) 構造体強度補正值 ※標準仕様書表6.3.2による ・ (6.3.2) 種類 (6.3.1) ※普通ボルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 適用箇所（※下記以外全て） ○高炉セメントB種 適用箇所（○ 免震下部躯体（マスコンクリート部分を除く）） ・フライアッシュセメントB種 適用箇所（ ） ・普通エコセメント 適用箇所（ ） ・再生骨材Hを使用する 適用箇所（ ） (6.3.1) (6.7.2) 湿潤養生の期間（ ）日以上 (6.8.4) 型枠の最小存置期間（ ） (6.3.1) フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ細骨材及び電気炉酸化スラグ骨材 ・使用する 適用箇所（ ） (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A ・B (6.3.1) ○混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(a)による ・ (6.3.1) ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書 6.3.1(4)(b)による ・ (6.3.2) 標準仕様書6.3.2(4)(f)の①～③以外の混和材料 ・混和剤（ ） ・混和材（ ） 使用方法 ・ 使用量 ・	設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所	○33	※15又は18	1FL以下の躯体	○24	※18	スラブ、壁、車寄せ、バス停、優先駐車場 歩行者駐輪場、受水槽基礎	○33	○フロー60cm	免震装置下部フーチング	○24	○15	外構設備基礎	⑦ 打増し厚さ （打放し仕上げ部） (6.8.1) 打増し厚さ ○打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ○20mm ・ ○打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ○10mm ・20mm ・ 打増し範囲 ○ 図示による ・ ⑧ 型枠 (6.8.2) せき板の材料 ※標準仕様書6.8.2(1)(7)、(4)による ・合板（厚さ ※12mm ・ ） ・ (6.8.2) ・断熱材を兼用した型枠 使用箇所 ・図示による ・ (6.8.2) ・MOR工法用シート 適用箇所 ・図示による ・ (6.8.2) スリーブの材質・規格等 ・図示による ・ (6.10.1) 適用箇所 ・図示による ・ (6.10.1)(表6.10.1) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積重量 ・（ ）t/m ³ スランブ ※21cm ・ (6.11.1) 適用期間 ・図示による ・ (6.11.2) 構造体強度補正值(S) ・標準仕様書6.11.2(3)(7)による ・積算温度を基に定める（ ） (6.12.2) ⑪ 暑中コンクリート 構造体強度補正值(S) ※6N/mm ² ・ (6.13.1) ⑫ マスコンクリート 適用箇所 ○ 図示による（基礎および免震層以下の基礎梁を適用） (6.13.2) セメントの種類 (6.13.2) ・普通ボルトランドセメント ○中低熱ボルトランドセメント ○低熱ボルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント ○マスコン検討を行い、最終仕様を確定するものとする。 (6.13.2) 混和材料 ○混和剤 (6.13.2) 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・ 混和剤の種類 ※標準仕様書6.13.2(2)(4)による ・ (6.13.2) スランブ ※15cm ・ (6.13.2) 構造体強度補正值（s） ※標準仕様書 表6.13.1による ・
	種類の記号	呼び径 (mm)	備 考																																																										
	○ SD295	・D16以下	・床版、底版、あばら筋、帯筋																																																										
	○ SD345	・D19以上D25以下	・梁主筋、根巻き主筋																																																										
	○ SD390	・D29以上	・梁主筋、免震材料基礎主筋																																																										
	種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																									
	・溶接金網																																																												
	・鉄筋格子																																																												
	部 位	継手の方法	呼び径 (mm)																																																										
柱及び梁主筋 *1	○ガス圧接 ○機械式継手 ・溶接継手 ○重ね継手	○ 図示による。																																																											
耐力壁の鉄筋	・重ね継手	・																																																											
基礎、耐圧スラブ、土圧壁	○重ね継手 ・ガス圧接	○ 図示による。																																																											
上記以外（ ）	・重ね継手	・																																																											
設計基準強度 (N/mm ²)	スランブ (cm)	適用箇所																																																											
○33	※15又は18	1FL以下の躯体																																																											
○24	※18	スラブ、壁、車寄せ、バス停、優先駐車場 歩行者駐輪場、受水槽基礎																																																											
○33	○フロー60cm	免震装置下部フーチング																																																											
○24	○15	外構設備基礎																																																											

	明石市政政局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事	
	<代表設計者> 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南 浦 琢 磨	GEN	総合	最終版 2024.03.25
		13	建築工事特記仕様書（2）	見積版 2024.03.25
			安井建築設計事務所	最終契約版

⑬ 無筋コンクリート

コンクリートの種類
※普通コンクリート

設計基準強度
※18 (N/mm²)

スランプ
※15cm又は18cm

適用箇所
・標準仕様書 6. 14. 1 (4) による
・図示による

・標準仕様書 表6. 2. 1以外のコンクリートを用いる場合
()

適用箇所
・図示による

14 流動化コンクリート

適用箇所
・図示による

⑮ コンクリートの単位水量測定

○行う
・行わない
実施要領
(1) 単位水量の測定は、150m³に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。
(2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6. 3. 2 (イ) (ロ) による。
(3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。
1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値（以下、「設計値」という。）±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工する。
2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
3) 設計値±20kg/m³を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m³以内であることを確認する。さらに、設計値±15kg/m³以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。
4) 3) の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。
(4) 単位水量管理についての記録を書面（計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等）と写真により提出する。
(5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法（電子レンジ法）、エアメータ法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。
○対象は、免震材料下部フーチングのコンクリートとする。

⑦ 鉄骨工事

① 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力
○国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
(H) グレード以上
○監督職員の承諾する工場（鉄骨階段、目隠し受け鉄骨）

※適用する

材質等
種類の記号 適用箇所（主要な部分） 規格
SS400 SN400AIに規格のない2次部材 ○JIS規格による
SN400A 2次部材 ○JIS規格による
SN400B、SN490B 大梁、剛接部材 ○JIS規格による
SN490C ダイアフラム ○JIS規格による
BCP325B、C 柱 ・JIS規格による ○大臣認定品
STKM400B 柱 ○JIS規格による
SSC400 剛継等 ○JIS規格による
・t≧40mmを超える部材は、TMCP鋼（大臣認定品）とする。

形状及び寸法
○図示による
板厚方向に引張力を受ける鋼材の試験
・行う（適用箇所： ） ○行わない

④ 高力ボルト

高力ボルトの種類
○トルシア形高力ボルト
○JIS形高力ボルト
○溶融亜鉛めっき高力ボルト
・建築基準法に基づき認定を受けた高力ボルト
○原則、トルシア形高力ボルトとする。
○雨がかりとなる範囲は、溶融亜鉛アルミ合金めっき高力ボルトとする。

ボルトの寸法
ねじの呼び ○図示による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

摩擦面の性能及び処理
・すべり試験
試験の方法等
・図示による
○溶融亜鉛めっき面の摩擦面の処理方法
※標準仕様書7. 12. 5 (1) (イ) による

JIS 形高力ボルトの締付け（本締め）
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・図示による

⑮ 普通ポルト

ポルト及びナットの材料
※標準仕様書 表7. 2. 3による
ポルトの形状及び寸法
ねじの呼び ○図示による

ポルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

母屋又は剛継の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1. 0mm

⑮ アンカーポルト

種類
○構造用アンカーポルト
○ABR400 ○ABR490 ○SNR400B
・建方用アンカーポルト
SS400
アンカーポルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書表7. 2. 3による

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
○図示による

⑦ 溶接材料

溶接材料
○標準仕様書 7. 2. 5 (1) (2) による
・図示による

⑧ ターンバックル

種類
建築用ターンバックルポルト
※羽子板ポルト
建築用ターンバックル胴
※肘棒式
ねじの呼び等
○図示による

⑨ 床構造用デッキプレート

適用箇所 材質・形状・寸法 備 考
・デッキプレート単独の構造
○デッキプレートとコンクリート2F以上の床 SDP1TG (t±1. 2～1. 6)
との合成スラブとする構造
○特定用鋼製デッキプレート 2F以上の床 SGCC-Z12 (t≧0. 8～1. 2)

鉄骨部材への溶接方法
○図示による

⑩ スタッド

呼び名 呼び長さ (mm) 適用箇所
○I6 100、120 梁
○I9 100、120 梁
・22

⑪ 柱底均しモルタル

○無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、割合等
※標準仕様書7. 2. 9 (2) による
・標準仕様書7. 2. 9 (1) によるモルタル

※行う
仮組を行う範囲
・図示による

⑬ 溶接技能者の技量付加試験

○図示による ○「AW検定」に準じた技量付加試験を実施する。
ただし、「AW検定」の有資格者については技量付加試験を免除する。

⑭ 溶接接合

開先の形状
○図示による

鋼製エンドタブを切断する箇所及び切断範囲
○図示による ○全ての箇所
切断面の仕上げ
※標準仕様書7. 6. 7 (1) (a) (b) ②による
スクラップの形状
・図示による ○ノンスクラップ工法（S造部分）
○改良型スクラップ工法（SRC造部分）

低応力高サイクル疲労を受ける部位
・図示による

⑮ 溶接部の試験

溶接部の外観試験
平成12年建設省告示第1464号第二号に関する試験
試験の方法
○「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル（鉄骨製作管理技術者登録機構）」3. 5. 2 受入検査による。
・抜き取り検査① ※抜き取り検査②
JASS6付則6の付表3「溶接」に関する試験
試験の方法
○JASS 6 10. 4 [受入検査] e. 溶接部の外観検査(1) から(5) までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜き取り箇所は、超音波探傷試験の試験箇所と同一とする。
・完全溶込み部の超音波探傷試験
○工場溶接の場合
AQL (%) ※4. 0 ・2. 5
節 ○右記以外 ○0～1節
検査水準 ※第6水準 ○第4水準

⑮ 錆止め塗装

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
○標準仕様書7. 8. 2 (1) による
・図示による
下記以外の塗料の種別は、18 章による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止めの塗料の種別
※A種 ・B種
・耐火被覆が接着する面の塗料の種別
・

種類、材料、工法等 (7. 9. 2～7. 9. 8)

種 類 材料・工法 耐火性能（時間） 適用箇所（部位・部分）
・乾式吹付けロックウール
○半乾式吹付けロックウール 1時間 2時間 仕上内の柱・梁・小梁間柱・耐風梁等
・湿式ロックウール
・
・
・繊維混入けい酸カルシウム板
・
○耐火材吹付け
○高断熱ロックウール 1時間 5F電気室発電機室 梁
・
・ラス張り
モルタル塗り
○耐火塗料 ○エスケー化研 SKタイカコート同等品

⑮ 構造用アンカーボルトの形状及び寸法
○図示による

構造用アンカーフレームの形状及び寸法
○図示による

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種類 ○A種 ・B種

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7. 10. 3) (表7. 10. 2)
厚さ ○30 mm
種別 ※A種 ・

ボルト接合方法 (7. 11. 2)
・普通ボルト接合

⑮ 溶融亜鉛アルミ合金メッキ工法
○許容荷重の屋外露出となる鉄骨は、全て、溶融亜鉛アルミ合金メッキとする。
○その他の構の本体鉄骨の屋外露出部はすべて溶融亜鉛アルミ合金メッキとし、雑鉄骨はすべて溶融亜鉛メッキとする。
○規格はJIS H 8643の1種に基づくものとする。

① 設備等の構造関係規定に関する法適合確認チェック
○建築設備（昇降機を除く。）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐食のおそれがないものとする。
○屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
○煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支持を設けたものを除き、90cm以下とすること。
○煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
○建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
○風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
○建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
○管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
○管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他震動及び衝撃の緩和のために措置を講ずること。
○法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにおいては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
○構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状、ならびに手すり等は、風圧、土圧及び水圧ならびに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
○給湯設備は風圧、土圧および水圧並びに地震その他の振動および衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造とし、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。

② エスカレータの脱落防止に関する事項
○H25国交省告示1046号に基づき、エスカレータの非固定部には適切な脱落防止措置を講ずるものとする。
○エスカレータ支持材の建築物に対する取付位置および耐力は、（設置階高×1/100≧20mm）以上とする。

⑧ コンクリートブロック・ALCパネル及び押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

材料 (8. 2. 2)
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考
※空洞ブロックC(16) ・無・有
・無・有
・無・有

モルタルの割合（容積比） (8. 2. 3)
ブロックの区分が A(08)、B(12)、C(16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8. 2. 1による
上記以外の場合

各部の配筋 ・図示による (8. 2. 5)

目地仕上げ ・押し目地仕上げ ・化粧目地仕上げ (8. 2. 7)

まぐさを受ける開口部側のブロックにおいて、モルタル又はコンクリートで充填するブロックの範囲
・図示による (8. 2. 8)

材料 (8. 3. 2) (表8. 3. 1)
断面形状及び圧縮強さによる区分 正味厚さ (mm) 呼び寸法 (mm) 化粧の有無 適用箇所 備考
※空洞ブロックC(16) ・120
・150 ・無・有 ※壁
・無・有

モルタルの割合（容積比） (8. 3. 3)
ブロックの区分がA(08)、B(12)、C(16) の場合で、目地巾が10mm程度の場合
※標準仕様書 表8. 2. 1による
上記以外

鉄筋の継手、定着及び末端部の折り曲げ形状
・図示による (8. 3. 4)

各部の配筋 ・図示による (8. 3. 4)

③ ALCパネル

材料、構造 (8. 4. 2～8. 4. 5) (表8. 4. 2～表8. 4. 4)
パネルの区分 単位荷重 (N/m²) 厚さ (mm) 幅及び長さ (mm) 耐火性能 (時間) 構造の種別
用途 形状 表面加工
○外壁用 ○一般 ○平 ○凹
・コーナー 意匠 1960 ○I100 ○I50 ○図示 ○有(1) ○A種 ・B種
○間仕切壁用 ○一般 ○平 ○凹
・コーナー 意匠 ○I100 ○I20 ○図示 ○有(1) ・無 ○C種 ・D種
・屋根版用 — — ・100 ・図示 ○有(0. 5)
○床版用 — — ○100 ○I20 ○図示 ○有(2) ・無

※ALC t 150は1F機械設備置場内に使用
パネル相互の接合部に挿入する耐火目地材
○図示による (8. 4. 2)
○外壁パネル構造、屋根及び床パネル構造 (8. 4. 3) (8. 4. 5)
外壁パネル構造における建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ○適用する
※出隅部はフラットパネル突付とする
○間仕切壁パネル構造 (8. 4. 4)
パネル幅の最小限度 (mm) (8. 4. 3) (8. 4. 4) (8. 4. 5)
○300未満 (・図示)
パネルの短辺小口相互の接合部、出隅及び入隅のパネル接合部並びにパネルと他部材との取り合い部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8. 4. 3) (8. 4. 4)
※310～20mm ・図示による
伸縮目地への耐火目地材の充填 ○適用する ・適用しない (8. 4. 3) (8. 4. 4)
特記なき限り、ALC板取付金物及び建具開口補強は、ALC工事に含む。

④ 押出成形セメント板 (ECP)

材料、工法 (8. 5. 2～8. 5. 4) (表8. 5. 1) (表8. 5. 2)
パネルの種類 形状 厚さ (mm) 幅 (mm) 工法の種別 備考
○外壁パネル ○F（フラットパネル） ・50 ○60 ・○600 ○A種
パネル ○D（デザインパネル） ・50 ○60 ○800 ・B種
・T（タイルベースパネル） 60
・間仕切壁パネル ○F（フラットパネル） ・50 ・60 ・B種
パネル ○D（デザインパネル） ・50 ・60 ○C種
・T（タイルベースパネル） 60
○ルーバーパネル ○F（フラットパネル） ・50 ○60 ○600 ○縦張り
○壁掛け工法（はね出し部）

○外壁パネル工法
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ○適用する
※取付方法は二次排水工法（ニューセーフティール工法）とすること（ただし、受水槽廻りは除く）
・間仕切壁パネル工法 (8. 5. 4)
○コーナーパネル
出隅部は45° コーナーパネルを使用し、入隅部はフラットパネル突付とする
耐火構造以外の目地及び隙間の処理
※パネルの製造所の仕様による (8. 5. 3) (8. 5. 4)
パネル幅の最小限度 (mm) (8. 5. 3) (8. 5. 4)
・300未満 (・図示)
パネルの相互の目地幅 (mm) (8. 5. 3) (8. 5. 4)
長辺の目地幅 ○8以上 ・図示による
短辺の目地幅 ○15以上 ・図示による
出隅及び入隅のパネル接合部の伸縮目地の目地幅 (mm) (8. 5. 3) (8. 5. 4)
※15 程度（シーリング材を充填） ・図示による
溝埋及び開口部の措置 (8. 5. 5)
やむを得ず設備開口等設ける場合のパネルの開口寸法等の限度
・図示による ・無し ○パネル幅の半分以下
※取付金物には半乾式ロックウール吹付を行うこと

開発3工区（別途工事）範囲

明石市政政局 企画・調整室

明石市役所新庁舎建設工事

GEN 総合 最終版 2024. 03. 25

14 建築工事特記仕様書（3） 見積版 2024. 03. 25

安井建築設計事務所 最終契約版

＜代表設計者＞
一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号
南浦 琢磨

⑨ 防水工事	① アスファルト防水	(9. 2. 2) (9. 2. 3) (表9. 2. 3～表9. 2. 6)	2 改質アスファルトシート防水	防水層の種類	(9. 3. 2) (9. 3. 3) (表9. 3. 1) (表9. 3. 3)	⑤ ケイ酸質系塗布膜防水	ケイ酸質系塗布防水材の適用部位 ○ オイルタンク ※表9. 6. 1による (9. 6. 1) (表9. 6. 1) 防水層の種類 ○ G-U1 ・ G-UP (9. 6. 3) (表9. 6. 2) 壁及び天井部の防水層下地の仕上げ ☉ ユーリット打放し仕上げ (B種) ・ 図示 (9. 6. 4) ユーリットの打継ぎ箇所の処理 ☉ 形にはつり、水洗い清掃後、指定材料を充填 ・ 図示 (9. 6. 4) 標仕の規定以外の下地処理 ※ 図示 (9. 6. 4)	5 外壁乾式工法	目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ (10. 4. 3) シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※6m程度ごと ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・ 図示による				
	改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9. 2. 2) ※標準仕様書 表9. 2. 3及び表9. 2. 4による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9. 2. 2) ※標準仕様書 表9. 2. 5及び表9. 2. 6による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ R種 ・ N種 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9. 2. 2) ※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度 ・ 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 (表9. 2. 4) (表9. 2. 6) ・ 適用する ○ 適用しない 屋根露出防水 (9. 2. 2) (9. 2. 3) (表9. 2. 7) (表9. 2. 8) 防水層の種類 種類 施工箇所 断熱材 仕上塗料 種類 使用量 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 ・ D-4 (種類) ・ D1-1 (厚さ) ・ D1-2 (25mm) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9. 2. 2) ※標準仕様書 表9. 2. 8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ ・ mm以上 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ (9. 2. 2) ※標準仕様書 表9. 2. 7及び表9. 2. 8による ・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ 用途による区分 ・ 材料構成による区分 ・ R種 ・ N種 厚さ ・ mm以上 押え金物の材質及び形状寸法 (9. 2. 2) ※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度 絶縁工法及び断熱絶縁工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9. 2. 3) 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 ・ 個 屋内防水 (9. 2. 2) (9. 2. 3) (表9. 2. 9) 防水層の種類 種類 施工箇所 種類 施工箇所 ・ E-1 ・ E-2 保護層 ・ 設ける (※図示 ・) ・ 設けない E-1 の工程3を行う場合の部位 (表9. 2. 9) ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部位 ・ ○施工 (9. 2. 4) 防水層の下地のモルタル塗り (9. 2. 4) ・ 適用する (施工範囲 ・ 図示 ・) ○適用しない (9. 2. 4) 防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ (9. 2. 4) ※標準仕様書 表6. 2. 4のB種 ・ 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9. 2. 4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・ ○保護層等の施工 (9. 2. 5) 平場の保護コンクリートの厚さ (9. 2. 5) こて仕上げ ☉水下 80mm以上 ・ 床タイル張り ☉水下 60mm以上 ・ 立上り部の保護工法 (9. 2. 5) ○乾式保護材 (9. 2. 2) 乾式保護材の材料 ○乾式保護材 ・ コンクリート押え ・ モルタル押え (屋内等) ・ れんがが押え (・ 図示 ・) れんがの材料 ・ JIS R 1250 (普通れんが及び化粧れんが) (9. 2. 2) 屋上排水溝の設置 (9. 2. 5) ○図示による ・	改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9. 3. 2) ※標準仕様書表9. 3. 1から表9. 3. 3による ・ 粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9. 3. 2) ※標準仕様書表9. 3. 2及び表9. 3. 3による ・ 部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ (9. 3. 2) ※標準仕様書表9. 3. 2及び表9. 3. 3による ・ 押え金物の材質及び形状寸法 (9. 3. 2) ※アルミニウム製 L-30×15×2. 0mm程度 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 (9. 3. 3) 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 ・ 個 防水層の種類 (9. 4. 2～9. 4. 4) (表9. 4. 1～表9. 4. 2) 種類 施工箇所 可塑剤移行防止シートの材質 断熱材 歩行の様 種類 使用量 ・ S-F1 ・ S-F2 ・ S-M1 ・ S-M2 ・ S1-F1 ・ S1-F2 ・ S1-M1 ・ S1-M2 屋内防水層の種類 (9. 4. 2～9. 4. 4) (表9. 4. 1～表9. 4. 2) 種類 施工箇所 保護層 平場のモルタル塗り 塗厚 (mm) 工法 立上り部の保護モルタル塗り厚さ ・ S-C1 ルーフィングシートの種類及び厚さ (9. 4. 2) ※標準仕様書表9. 4. 1から表9. 4. 3による ・ 固定金具の材質及び形状 (9. 4. 2) 材質 ※防錆処理した銅板、ステンレス銅板又はそれらの銅板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ (mm) ※0. 4以上 ・ 接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量 (9. 4. 3) 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 個 断熱工法 (S1-M1、S1-M2の場合) の防湿用フィルム (表9. 4. 2) ・ 設置する ・ 設置しない 接着工法の場合のP Cコンクリート部材防水下地の目地処理 (9. 4. 4) ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない P Cコンクリート下地の入隅部の増張り (9. 4. 4) (S-F1、S1-F1の場合) ・ 行う (・ 図示 ・) ・ 行わない (9. 4. 4) 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け (9. 4. 4) 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による ・ 防水層の種類 (9. 5. 3) (表9. 5. 1) (表9. 5. 2) 種類 施工箇所 仕上塗料 種類 使用量 保護層 ・ X-1 ・ X-2 (バルコニー ・ バラベット天端 ・ 設備取出口天端 ・ 屋内防水箇所 ・ 地下外壁防水 ・ 屋内防水) ○一般 (カラー) ☉製造所の仕様による ・ Y-1 ・ Y-2 ウレタンゴム系塗膜防水 X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類及び設置数量 (9. 5. 3) 種類 ☉主材料の製造所の仕様 ・ 設置数量 ☉主材料の製造所の仕様 ・ 個 ○ウレタン複合防水 メーカーリスト同等とする ○ポリマーセメント塗膜防水 メーカーリスト同等とする	⑥ シーリング	材料 種類及び施工箇所 ☉下表以外は、標準仕様書 表9. 7. 1による ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。 シーリング材の目地寸法 (9. 7. 3) ※標準仕様書9. 7. 3(1)による ・ 接着性試験 (9. 7. 5) ※簡易接着性試験 ○引張接着性試験 (外部金属パネル目地部) ・	⑩ ①施工 (10. 1. 3) ※現場にて見本張りを行い、監督員の承認を得ること。 ②石材等 (10. 2. 1) (表10. 2. 1) (表10. 2. 2) 天然石 (10. 2. 1) (表10. 2. 1) (表10. 2. 2) 施工箇所 岩石の種類 形状及び寸法 表面仕上げの種類 パブ仕上げの有無 備考 外構ベンチ ・ 青竜山石 ・ 図示による ・ 図示による テラゾブロック (10. 2. 1) (表10. 2. 1) (表10. 2. 2) 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 形状による区分 仕上げ面による区分 寸法 (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※大理石 ※1. 5～12 ・ 平もの ・ 片面 ・ 花こう岩 ・ 役もの ・ 両面 テラゾタイル 施工箇所 種石の種類 種石の大きさ (mm) 寸法による区分 (mm) 表面仕上げの種類 備考 ※大理石 ※1. 5～12 ・ 300×300 ・ 400×400 取り付用モルタル、既調合の目地用モルタル、浸透性吸水防止剤、石裏面処理材、裏打ち処理材、金物の固定に使用する充填材料 ※専門工事業者の指定する製品 (10. 2. 3) 受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・ 形状及び寸法 ※ L-75×75×6 (mm) (・ 長さ=100mm ・ 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 材質：※SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による ・ ドレンパイプの材質 (10. 2. 3) ・ 樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ ・ 石材の厚さ (mm) ・ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ 流し防工法 ・ あと施工アンカー工法 目地 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 表11. 1. 1による ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・ 図示による 受金物 材質 ※ステンレス (SUS304) 製 ・ 形状及び寸法 ※ L-75×75×6 (mm) (・ 長さ=100mm ・ 長さ=150mm) アンカーの材質及び寸法 材質：※SS400 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による ・ 石材の厚さ (mm) ・ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 下地ごしらえ ※あと施工アンカー・横筋流し工法 ・ あと施工アンカー工法 (10. 4. 2) (10. 4. 3)	6 床及び階段の石張り (10. 6. 2) (10. 6. 3) (10. 6. 2) 石材の厚さ (mm) 床 (・)、階段 (・) 床石張り 浸透性吸水防止剤 ・ 適用する ・ 適用しない 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 裏打ち処理 ・ 適用する ・ 適用しない 階段張り 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 目地 一般目地 目地幅 (mm) (・) ・ 図示による ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6㎡程度ごと及び他部材との取り合い部 ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・ 図示による 7 笠木、甲板等の石張り (10. 7. 2) (10. 2. 2) 取付け工法 ・ 湿式工法 ・ 乾式工法 湿式工法の取付け金物 ・ 標準仕様書10. 2. 2(1)による ・ 図示による 乾式工法の取付け金物 ・ 標準仕様書10. 2. 2(2)による ・ 図示による 方式・スライド方式 ・ ロッキング方式 特殊部位用金物 ・ 標準仕様書10. 2. 2(3)による ・ 図示による ファスターン アンカーの材質及び寸法 湿式工法の材質：※ステンレス (SUS304) 製 ・ 寸法： 乾式工法の材質：※SS400 ・ 寸法： あと施工アンカーの種類、材質及び寸法 種類： 材質： 寸法： 上記以外の金物の材質、形状及び寸法 ・ 図示による ・ 石材の厚さ (mm) ・ 石裏面処理 ・ 適用する ・ 適用しない 乾式工法の場合の取付け代 ※標準仕様書10. 5. 3(2)による ・ 石裏の補強用モルタル ・ 適用する ・ 適用しない 目地 湿式工法の場合 一般目地 目地幅 (mm) ※6以上 ・ シーリング材 ・ 適用する ・ 適用しない 伸縮調整目地 位置 ※標準仕様書 表11. 1. 1による ・ 図示による シーリング材の目地寸法 ※幅・深さとも10mm以上 ・ 図示による 乾式工法の場合 目地幅 (mm) ※8以上 ・ シーリング材 ・ 適用する (※標準仕様書9. 7による ・ 図示) ・ 適用しない 8 隅て板 (10. 7. 3) 石材の厚さ (mm) ※40 ・							
開発3工区 (別途工事) 範囲		明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事		＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨		GEN	総合	最終版	2024. 03. 25		
								15	建築工事特記仕様書 (4)	見積版	2024. 03. 25		
								安井建築設計事務所					
								最終契約版					

[illegible]

⑬

建具工事<続き>

性能値等（建具符号は建具表による）
簡易気密型ドアセットの気密性等級
・A-3 ○建具表による
・耐震ドラアとする場合 面内変形追随性の等級（○建具表による）
・防音ドラ、防音サッシとする場合 遮音性の等級（○建具表による）
・断熱ドラ、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（○建具表による）

鋼板の種類
○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板
召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板
鋼板の厚さ（mm） ※標準仕様書 表16.5.1による ・図示による
ステンレス製くつづりの仕上げ ※H.L. ・
標準型鋼製軽量建具の有効内寸法 （表16.4.5）による
・適用する（建具符号、形式及び寸法は建具表による）

性能値等（建具符号は建具表による）
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級
○建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.11による）
・S-4 ・S-5 ・S-6 ・アルミニウム製建具による
・耐震ドラアとする場合 面内変形追随性の等級（○建具表による）
・防音ドラ、防音サッシとする場合 遮音性の等級（○建具表による）
・断熱ドラ、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（○建具表による）

ステンレス鋼板の種類
※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
表面仕上げ ※H.L. ・鏡面仕上げ ○建具表による
ステンレス鋼板のくつづりの仕上げ ※H.L. ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ（補強あり）

建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種
接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
枠、くつずりの材料 ・建具表による
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備 考
・普通合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）	
・天然木化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）	
・特殊加工化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）	
・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(f) (a)による
表面板の厚さ ※表16.7.6による
引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいろうう付きとする
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鋸歯樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型
上張り ・鳥の子
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクレーヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

⑭ ステンレス製建具
性能値等（建具符号は建具表による）
耐風圧性等級、気密性等級、水密性等級
○建具表による
外部に面する建具の耐風圧性（表16.2.11による）
・S-4 ・S-5 ・S-6 ・アルミニウム製建具による
・耐震ドラアとする場合 面内変形追随性の等級（○建具表による）
・防音ドラ、防音サッシとする場合 遮音性の等級（○建具表による）
・断熱ドラ、断熱サッシとする場合 断熱性の等級（○建具表による）
ステンレス鋼板の種類
※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
表面仕上げ ※H.L. ・鏡面仕上げ ○建具表による
ステンレス鋼板のくつづりの仕上げ ※H.L. ・
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ○角出し曲げ（補強あり）
建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種
接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
枠、くつずりの材料 ・建具表による
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備 考
・普通合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）	
・天然木化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）	
・特殊加工化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）	
・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(f) (a)による
表面板の厚さ ※表16.7.6による
引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいろうう付きとする
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鋸歯樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型
上張り ・鳥の子
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクレーヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

⑮ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率 ※A種 ・B種
接着材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
枠、くつずりの材料 ・建具表による
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	表面材の品質等	備 考
・普通合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ 板面の品質 ※広葉樹1等 ・（ ）	
・天然木化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・ ・（ ）	
・特殊加工化粧合板	接合の程度 ※水掛り箇所1類、その他2類以上 ・（ ）	
・ミディアムデンシティ ファイバーボード （MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ） ・（ ）	

表面材の材料のホルムアルデヒド放散量
※標準仕様書16.7.2(f) (a)による
表面板の厚さ ※表16.7.6による
引戸の定規縁 ・召し合せかまちをいろうう付きとする
・かまち戸
かまち樹種（ ） 鋸歯樹種（ ）
見込み寸法 ※36mm ・建具表による
・ふすま
種別、工法 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型
上張り ・鳥の子
縁仕上 ・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクレーヤー塗装）
見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による
・戸ぶすま
表面材の種類、品質等（ ）
見込み寸法 ※30mm ・建具表による
・紙張り障子
見込み寸法 ※30mm ・建具表による

車椅子使用者用便所出入口の引き戸用駆動装置の性能
※標準仕様書 表16.9.2Iによる
防錆の適用 ○適用する ・適用しない
検出装置の性能
※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書 表16.9.3Iによる
防錆の適用 ○適用する ・適用しない
引き戸用検出装置の種類は標準仕様書 表16.9.4Iによる
種類 ○光線（反射）センサー ・熱線センサー ・音波センサー
・光電センサー ・電波センサー
・タッチスイッチ
（ ・無線式タッチスイッチ ・光電式タッチスイッチ）
・押しボタンスイッチ
・車椅子使用者便房スイッチ
（ ・大形（開・閉）押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ）
凍結防止措置
○適用する ・適用しない
性能
※標準仕様書表16.10.1Iによる ・図示による
○ステンレス鋼板（S U S 3 〇 4）
シャッターの種類 ○管理用シャッター
・外壁用火シャッター
○屋内用火シャッター
○防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度（1800）N/m²
開閉方式の種類（標準仕様書 表16.11.1）
○電動式（手動併用） ・手動式
安全装置の設置箇所
急降下制御装置又は急降下停止装置の設置箇所
・図示による ○シャッターに設置
障害物感知装置の設置箇所 ○図示による
危害防止機構の設置箇所 ○図示による
管理用シャッターのシャッターケース（車庫様のみ）
○設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
○JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※Z12又はF12
ステンレス鋼板の種類
※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1
開閉形式 ※手動式 ・電動式（手動併用）
耐風圧強度（ ）Pa
電動式の場合の安全装置
障害物感知装置の設置箇所 ・図示による
スラットの材質の種類
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※Z06又はF06
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっき付着量 ※AZ90
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
区分、材料

セクション材料 による区分	耐風圧 区分(Pa)	開閉方式 による区分	収納形式 による区分	ガイドレールの材質
※ステールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバークラス タイプ	・125 ・100 ・75 ・50	・バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パチカル形	※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板

電動式の場合の障害物感知装置の設置箇所 ・図示（ ）
適用は以下によるほか、ガラスの種類、厚さの組合せは建具表及び図示による。
○フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類
○図示（※建具表 ）による
○型板ガラスの厚さによる種類
○図示（※建具表 ）による
○納入板ガラス及び納入板ガラス
網又は線の形状、板の表面の状態、厚さの呼びによる種類
○図示（※建具表 ）による
○合わせガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、合わせガラスの合計厚さ、特性による種類
○図示（※建具表 ）による
○強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称（呼び厚を含む）、特性による種類
○図示（※建具表 ）による
○熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類、性能による種類
○図示（※建具表 ）による
○複層ガラス
材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラスの厚さ、断熱性による区分、日射取得性及び日射遮蔽性による区分、乾燥気体の種類
○図示（※建具表 ）による
○熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類、日射熱遮へい性及び耐久性による区分
○図示（※建具表 ）による
○倍強度ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類
○図示（※建具表 ）による
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	○シーリング材 ・建築用ガスケット ※グレイジングチャンネル ・	※建具の製造所の仕様による ・
樹脂製	・建築用ガスケット ・グレイジングビード ・	※建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	○シーリング材 ・	※建具の製造所の仕様による

内装工事

⑬ 接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆○規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の
ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分
・図示による

下地の施工
標準仕様書J9.2.3(1)～(7)から(9)以外の下地の工法
・図示による

材料

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
◎FS（複層ビニル床シート）	○柄あり	◎2.0	

接合部の処理 ◎熱溶接工法

材料

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
◎KT（コンポジションビニル床タイル） ・TT（単層ビニル床タイル） ○FT（複層ビニル床タイル） ・FOA（直置きビニル床タイル） ・FOB（薄型直置きビニル床タイル）	・無地 ○柄あり	・300×300 ・450×450 ○600×500	◎2.0（FT） ◎2.0（KT）	

材料

シート・タイル種別	種 類	性能	厚さ、寸法、形状（mm）
・帯電防止床シート			厚さ：寸法：500×500厚さ：2.0
○帯電防止床タイル	KT	帯電防止	形状：—
・視覚障害者用床タイル		—	厚さ：—
・耐動荷重性床シート		—	厚さ：—
・防滑性床シート		—	厚さ：—
・防滑性床タイル		—	寸法：— 厚さ：—

材質 ○軟質 ・硬質
高さ（mm）◎80 ・70 ・100
厚さ（mm）◎1.5以上

種類 ・単層品 ・複層品
色柄（ ）
厚さ（mm）・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0
寸法（mm）（ ）

・織じゅうたん

織り方	バイル形状	帯電性	備 考
・ウィルトンカーベット ・ダブルフーズカーベット ・アキスミンスターカーベット	・カットバイル ・ループバイル ・カット・ループ併用	・適用する ・適用しない	

色柄、バイル系の種類等
※色柄は模様のない無地のもの 種別 ・A種 ・B種 ・C種

下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号 呼び厚さ8mm
見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等・図示 ）
・適用しない

織じゅうたんの接合法 ※ヒートボンド工法

・タフテッドカーベット

バイル形状	バイル長（mm）	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・	・グリッパー工法	・適用する	
・ループバイル	・	・全面接着工法	・適用しない	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※JIS L 3204（反毛フェルト）の第2種1号 呼び厚さ8mm
見切り、押え金物
・適用する（材質、形状等・図示 ）
・適用しない

○タイルカーベット

種類	バイル形状	寸法（mm）	総厚さ（mm）	施工箇所	備考
◎第一種 ・第二種	◎レープバイル	◎500×500	◎0.0 ○0.0	○執務室 ○上長室、議場	
○第二種 ・第二種	◎レープバイル	◎500×500	◎0.5 ○0.5	○サーバー室、MDF室	帯電防止
・第一種 ・第二種	・カット、ループ併用	※500×500	※6.5		

耐電性 ○人体帯電圧 ◎50kV以下
取付け用付属品 見切り、押え金物 材質・種類・形状（ ）
見切り、押え金物 ・適用する（材質、形状等・図示 ）
・適用しない

タイルカーベットの敷き方 平場 ◎市松敷き ○模様流し
階段部分 ◎模様流し・市松敷き

下敷き材 ※反毛フェルト（JISL3204）の第2種2号 呼び厚さ8mm
タイルカーベットの点字版はSUS製の誘導ブロックとすること。| ⑭ 合成樹脂塗床 | 合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆○規制対象外 種類 | 種 類 | 工 法 | 仕上の種類 | 施工箇所 | |------------------------|-----------------------------------|------------------------------|---------------------------------| | ○厚膜型塗床材
（弾性外樹脂系塗床材） | / | ◎平滑仕上げ
・防滑仕上げ
・つや消し仕上げ | 機械室、ポンプ室
発電機室、電気室
EPS、OPS | | ○厚膜型塗床材
（エポキシ樹脂塗床材） | ・薄膜流しのペ工法
○厚膜流しのペ工法
・樹脂砂紙工法 | ・平滑仕上げ
○防滑仕上げ | 車庫棟
（洗車スペース）
厨房 | | ・薄膜型塗床材
（エポキシ樹脂塗床材） | / | ◎平滑仕上げ | | 床コンクリートが十分に乾燥していない状況でエポキシ樹脂塗床を施工する場合は、剥離若齢コンクリート用塗下地工法を採用する。 |
| ⑮ フローリング張り | フローリングのホルムアルデヒド放散量 ※標準仕様書J9.5.2(2)による ・単層フローリング | 種 別 | 工 法 | 樹種 | 厚さ（mm） | 大きさ | 仕上塗装 | 間伐材等の適用 | 備 考 | |---------------------------|--------------------------------------|----------|--|--|--------------------------------|---------|-----| | ・フローリングボード | ・釘留め工法（据大張り）
・釘留め工法（直張り）
・接着工法 | ※なら
・ | ※15・18
※12・14
※15・18
※12・14
・15・18 | 板幅
・75・90
・100・110
板長さ
（ ） | ・塗装品
・無塗装品 | ・あり | | | ・フローリングブロック
・モザイクパーケット | ・接着工法
・接着工法 | ※なら
・ | ※10・12
・15・18 | ※303×303 | ・塗装品
・無塗装品
・塗装品
・無塗装品 | ・あり | | 天然木化粧板複フローリング | 種 別 | 工 法 | 樹種 | 厚さ（mm） | 大きさ | 種別 | 防湿処理 | 仕上塗装 | 間伐材等の適用 | 備考 | |-----|-----------------------------|----|--------|-----|----------------|----------------|---------------------------|---------|----| | / | ・釘留め工法（据大張り）
○釘留め工法（直張り） | ・ | / | / | A種
B種
C種 | あり
なし
なし | 塗装品
（珪ケレタン塗膜）
・無塗装品 | ・あり | | ○混合フローリング | 種 別 | 工 法 | 樹種 | 厚さ（mm） | 大きさ | 種別 | 防湿処理 | 仕上塗装 | 間伐材等の適用 | 備考 | |-----|-------|-----|--------|------------|----|------|------|---------|-----| | / | ・接着工法 | ※なら | (12.0) | (125 × 乱尺) | / | / | / | / | ・あり | 接着工法の裏面継衝剤 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 第三種 | 種別 | 厚さ（mm） | 大きさ（mm） | 備考 | |---|--------|---------|----| | ・A種 ・B種 ・C種 ・D種（豊床：・KT-I ・KT-II ・KT-III ・KT-K・KT-N） | | | | | ・衝撃緩和型畳 | | | | 畳表（JIS A 5902） ・C1 ・C2 ※A種ノフロンのもの 畳下地 厚さ（mm）※40 ・65 ・80 （不燃） フローリング類 厚さ（mm）※70 ・95 （不燃） （19.7.2）（表19.7.1） | 種 類 | JISの記号 | 厚さ（mm）、規格等 | |---------------------|--------|---| | ・硬質木毛セメント板 | HW | ・15 ・20 ・25 ・ | | ・普通木毛セメント板 | NW | ・15 ・20 ・25 ・ | | ・硬質木片セメント板 | HF | ・12 ・15 ・18 ・21 ・ | | ・普通木片セメント板 | NF | ・30 ・50 ・80 ・ | | ○けい酸カルシウム板 | 0.8FK | タイプ2（無糸綯）◎6 ◎8 ◎25 ） | | ○化粧けい酸カルシウム板 | 0.8FK | タイプ2（無糸綯）◎6 ・8 ・ | | ○ロックウール化粧吸音板 | DR | ◎フラットタイプ（※9（不燃）◎12 ・）
・凹凸タイプ（※12（不燃）・15 ・19 ・） | | ○せっこうボード | GB-R | ・15.0（不燃）◎12.5（不燃）
・9.5（準不燃） | | ○不燃積層せっこうボード | GB-HC | 9.5（準不燃）化粧無（下地張り用）
化粧有（トラバーチン模様） | | ○シーキングせっこうボード | GB-S | ・9.5（準不燃）・12.5（準不燃）
◎12.5（不燃） | | ○強化せっこうボード | GB-F | 12.5（不燃）15.0（不燃）21.0（不燃） | | ・せっこうラダーボード | GB-L | 9.5 | | ・化粧せっこうボード（木目） | GB-D | 12.5（不燃）幅440mm程度 | | ・普通化粧（難燃処理） | | 根柢（※柱目・板目）専用下地材付き
・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度）
・不透明塗料塗り（しな合板程度）
・難燃処理 ・防虫処理 ・防火処理 | | ○メラミン樹脂化粧板 | | JIS K 6903による 厚さ1.2 | | ・メディアムデンシティファイバーボード | MDF | ・素地MD F（RS）
・化粧MD F（・DV ・DO ・PC）
・3 ・7 ・9 ・12 ・ | |

植栽及び屋上緑化工事

② 植栽基盤の整備

③ 植込み用土

④ 土壌改良材

⑤ 樹木

⑥ 支柱

7 幹巻き用材料

⑧ 芝

⑨ 吹付けは種

10 地被類

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯保証

⑫ 屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ○行わない

電気伝導度（EC）の試験 ・行う ○行わない

整備内容 (23. 2. 2) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

植栽基盤の排水設備（暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等）
○設ける（ ） ・設けない

・現場発生の良質土 ○寄土

種類、指定量 (23. 2. 3) (23. 2. 4)

○バーク堆肥
施工箇所 ○植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ○以下数値を満たす量 ）
有機物の含有量（乾物）： 70％以上
炭素窒素比（C/N比）： 35以下
陽イオン交換容量（乾物）： 70meq/100g以上
pH： 5. 5～7. 5
水分： 55～65％
幼植物試験の結果
窒素全量（現物）： 0. 5％以上
りん酸全量（現物）： 0. 2％以下
加里全量（現物）： 0. 1％以上
・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ・ ）

樹種、寸法、株立数 ・ 図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない

支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・真竹 ○図示
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ○図示

形式
・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形
・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ○地下埋設形

材料 ※幹巻き用テープ ・ わら ・ こも

種類 ※コウライシバ ・ ノシバ
芝張りの工法
平地 ※目地張り ・ べた張り
法面 ・ 目地張り ※べた張り

種類等 (23. 4. 2)

種子の種類 種子の量（g/㎡） 備 考
※洋芝類 ○25g/㎡
・

種類等 (23. 4. 2)

植物の種類 芽立数 径 単位面積当たりの株数
・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・

新植樹木の枯補償の期間（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む） (23. 3. 4) (23. 4. 7)
※引渡しの日から1年 ・ ・ 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23. 3. 6)
・ 引渡しの日から1年 ・ ・ 無し

植栽基盤及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3)

・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示による ・
排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・ 人口軽量土

○屋上緑化軽量システム (23. 5. 3)

樹木、芝及び地被類
樹種、寸法、株立数 ○図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ○適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
○図示による ・

工法 (23. 5. 4)

平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・ 図示による ・
支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ）
かん水装置 ○設置する（種類 ○図示 ・ ）

① 植栽地の確認等

② 植栽基盤の整備

③ 植込み用土

④ 土壌改良材

⑤ 樹木

⑥ 支柱

7 幹巻き用材料

⑧ 芝

⑨ 吹付けは種

10 地被類

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯保証

⑫ 屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ○行わない

電気伝導度（EC）の試験 ・行う ○行わない

整備内容 (23. 2. 2) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

植栽基盤の排水設備（暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等）
○設ける（ ） ・設けない

・現場発生の良質土 ○寄土

種類、指定量 (23. 2. 3) (23. 2. 4)

○バーク堆肥
施工箇所 ○植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ○以下数値を満たす量 ）
有機物の含有量（乾物）： 70％以上
炭素窒素比（C/N比）： 35以下
陽イオン交換容量（乾物）： 70meq/100g以上
pH： 5. 5～7. 5
水分： 55～65％
幼植物試験の結果
窒素全量（現物）： 0. 5％以上
りん酸全量（現物）： 0. 2％以下
加里全量（現物）： 0. 1％以上
・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ・ ）

樹種、寸法、株立数 ・ 図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない

支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・真竹 ○図示
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ○図示

形式
・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形
・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ○地下埋設形

材料 ※幹巻き用テープ ・ わら ・ こも

種類 ※コウライシバ ・ ノシバ
芝張りの工法
平地 ※目地張り ・ べた張り
法面 ・ 目地張り ※べた張り

種類等 (23. 4. 2)

種子の種類 種子の量（g/㎡） 備 考
※洋芝類 ○25g/㎡
・

種類等 (23. 4. 2)

植物の種類 芽立数 径 単位面積当たりの株数
・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・

新植樹木の枯補償の期間（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む） (23. 3. 4) (23. 4. 7)
※引渡しの日から1年 ・ ・ 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23. 3. 6)
・ 引渡しの日から1年 ・ ・ 無し

植栽基盤及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3)

・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示による ・
排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・ 人口軽量土

○屋上緑化軽量システム (23. 5. 3)

樹木、芝及び地被類
樹種、寸法、株立数 ○図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ○適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
○図示による ・

工法 (23. 5. 4)

平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・ 図示による ・
支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ）
かん水装置 ○設置する（種類 ○図示 ・ ）

① 植栽地の確認等

② 植栽基盤の整備

③ 植込み用土

④ 土壌改良材

⑤ 樹木

⑥ 支柱

7 幹巻き用材料

⑧ 芝

⑨ 吹付けは種

10 地被類

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯保証

⑫ 屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ○行わない

電気伝導度（EC）の試験 ・行う ○行わない

整備内容 (23. 2. 2) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

植栽基盤の排水設備（暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等）
○設ける（ ） ・設けない

・現場発生の良質土 ○寄土

種類、指定量 (23. 2. 3) (23. 2. 4)

○バーク堆肥
施工箇所 ○植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ○以下数値を満たす量 ）
有機物の含有量（乾物）： 70％以上
炭素窒素比（C/N比）： 35以下
陽イオン交換容量（乾物）： 70meq/100g以上
pH： 5. 5～7. 5
水分： 55～65％
幼植物試験の結果
窒素全量（現物）： 0. 5％以上
りん酸全量（現物）： 0. 2％以下
加里全量（現物）： 0. 1％以上
・ 汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所 ・ 植栽範囲 ・ 図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ・ ）

樹種、寸法、株立数 ・ 図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ・適用しない

支柱材の種類 ※丸太（間伐材） ・真竹 ○図示
防腐処理方法 ※加圧式防腐処理丸太材 ○図示

形式
・ 添え柱形 ・ 鳥居形 ・ ハツ掛け形
・ 布掛け形 ・ ワイヤ掛け形 ○地下埋設形

材料 ※幹巻き用テープ ・ わら ・ こも

種類 ※コウライシバ ・ ノシバ
芝張りの工法
平地 ※目地張り ・ べた張り
法面 ・ 目地張り ※べた張り

種類等 (23. 4. 2)

種子の種類 種子の量（g/㎡） 備 考
※洋芝類 ○25g/㎡
・

種類等 (23. 4. 2)

植物の種類 芽立数 径 単位面積当たりの株数
・ ・ ・ ・
・ ・ ・ ・

新植樹木の枯補償の期間（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む） (23. 3. 4) (23. 4. 7)
※引渡しの日から1年 ・ ・ 無し
移植樹木の枯損処置を行う期間 (23. 3. 6)
・ 引渡しの日から1年 ・ ・ 無し

植栽基盤及び材料 (23. 5. 2) (23. 5. 3)

・ 屋上緑化システム
土壌層の厚さ ・ 図示による ・
排水層 ・ 軽量骨材（層の厚さ： ） ・ 板状成形品
植込み用土 ※改良土 ・ 人口軽量土

○屋上緑化軽量システム (23. 5. 3)

樹木、芝及び地被類
樹種、寸法、株立数 ○図示による ・
刈込みものの適用 ・適用する（数量： ） ○適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等
○図示による ・

工法 (23. 5. 4)

平成12年建設省告示第1458号に基づく風圧力に対応した工法
・ 図示による ・
支柱 ・ 設置する（形式 ・ 図示 ・ ）
かん水装置 ○設置する（種類 ○図示 ・ ）

① 植栽地の確認等

② 植栽基盤の整備

③ 植込み用土

④ 土壌改良材

⑤ 樹木

⑥ 支柱

7 幹巻き用材料

⑧ 芝

⑨ 吹付けは種

10 地被類

⑪ 新植、移植樹木、芝等の枯保証

⑫ 屋上緑化

土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験 ・行う ○行わない

電気伝導度（EC）の試験 ・行う ○行わない

整備内容 (23. 2. 2) (表23. 2. 1) (表23. 2. 2)

植栽基盤の排水設備（暗きよ、開きよ、排水層縦穴排水等）
○設ける（ ） ・設けない

・現場発生の良質土 ○寄土

種類、指定量 (23. 2. 3) (23. 2. 4)

○バーク堆肥
施工箇所 ○植栽範囲 ・図示による
指定量 植栽基盤面積1㎡あたり（ ・ L ○以下数値を満たす量 ）
有機物の含有量（乾物）： 70％以上
炭素窒素比（C/N比）： 35以下
陽イオン交換容量（乾物）： 70meq/100g以上
pH： 5. 5～7. 5
水分： 55～65％
幼植物試験の結果
窒素全量（現物）： 0. 5％以上
りん酸全量（現物）： 0. 2％以下
加里全量（現物

J I S規格等認定、認証品目		
	種別	規格
配管材料	・冷温水及び冷却水管	標準仕様書 表2. 2. 1による
	・同上用継手	標準仕様書 表2. 2. 2による
	・蒸気、高温水、油管及び継手	標準仕様書 表2. 2. 3による
	・ブライン管及び継手	標準仕様書 表2. 2. 4による
	・冷媒管及び継手	標準仕様書 表2. 2. 5による
	・給水・給湯及び消火管	標準仕様書 表2. 2. 6による
	・同上用継手	標準仕様書 表2. 2. 7による
	・排水及び通気管	標準仕様書 表2. 2. 8による
配管付属品	・一般用弁及び栓	標準仕様書 表2. 2. 10による
衛生器具	・衛生陶器	J I S A 5 2 0 7
	・大便器洗浄弁	J I S B 2 0 6 1
	・給水栓	J I S B 2 0 6 1
備考	・規格は、公共建築協会発行「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）」による	
	・但し、衛生陶器及び付属品の組合せは、営繕課便所設計標準図による	

製造業者指定		
分類	機材名	製造業者名
管類	上記以外の管及び継手	※J I S・S H A S EーS・J W W A規格品
弁類	上記以外の弁及び栓	※J I S・S H A S EーS・J W W A規格品
●継手	ペローズ式伸縮継手	大阪ラセン管工業(株) (株)ベン 日本ペローズ工業(株) (株)本山製作所 三吉バルブ(株) (株)ヨシタケ トーフレ(株)
空調機器	チリングユニット	荏原冷熱システム(株) ダイキン工業(株) 東芝キヤリア(株) 日本熱源システム(株) 日立グループ・ソリューションズ(株) 三菱重工冷熱(株) 三菱電機(株)
	吸収冷温水機	荏原冷熱システム(株) 川重冷熱工業(株)
	●冷却塔一体型吸収冷温水機（バック型）	パナソニック産機システム(株) 日立ジョンソンコントロールズ空調(株) 矢崎エナジーシステム(株)
	冷却塔	(株)荏原冷熱システム 空研工業(株) 東芝キヤリア(株) 日立グループ・ソリューションズ(株) 三菱ケミカルインフラテック(株) 矢崎エナジーシステム(株)

製造業者指定		
分類	機材名	製造業者名
空調機器	空調機（ユニット形）	木村工機(株) クボタ空調(株) 昭和鉄工(株) 新晃工業(株) ダイキン工業(株) 暖冷工業(株) 東芝キヤリア(株) 三菱重工冷熱(株)
	ファンコイル	木村工機(株) 昭和鉄工(株) 新晃工業(株) ダイキン工業(株) 暖冷工業(株) 東芝キヤリア(株) 三菱重工冷熱(株) 三菱電機冷熱応用システム(株)
	ヒートポンプエアコン（汎用） パッケージ形空調機 マルチパッケージ形空調機	ダイキン工業(株) 東芝キヤリア(株) パナソニック(株) 日立グループ・ソリューションズ(株) 三菱重工冷熱(株) 三菱電機(株) ゼネラルヒートポンプ工業(株)
	ガスエンジンヒートポンプエアコン	(株)アイシン ダイキン工業(株) パナソニック産機システム(株) 三菱重工冷熱(株) ヤンマーエネルギーシステム(株)
	吹出口・吸込口	(株)有馬工業所 協同工業(株) 協立エアテック(株) 空研工業(株) ニッケイ(株) 檜工業(株) (株)フカガワ 丸光産業(株)
●防振材		昭和電線ホールディングス(株) 三井化学産資(株) 特許機器(株)
自動制御機器		アーチバック(株) アズビル(株) ジョンソンコントロールズ(株) パナソニック E W エンジニアリング(株) 三菱電機(株)
●ダンパー類（防火ダンパー含む）		協立エアテック(株) 空研工業(株) クリフ(株) 西邦工業(株) (株)メルコエアテック 三菱電機(株) パナソニックエコシステムズ(株) (株)ユニックス
送風機	送風機	(株)荏原製作所 (株)タニヤマ テラル(株) (株)鎌倉製作所 パナソニックエコシステムズ(株) 三菱電機(株) ミツヤ送風機(株)
●排煙口	排煙口	協立エアテック(株) 空研工業(株) 檜工業(株) クリフ(株)
●換気扇	標準換気扇 天井換気扇 空調換気扇	テラル(株) ダイキン工業(株) 東芝キヤリア(株) 三菱電機(株) パナソニックエコシステムズ(株)

製造業者指定		
分類	機材名	製造業者名
ポンプ	渦巻・多段ポンプ	(株)荏原製作所 (株)川本製作所 (株)相互ポンプ製作所 テラル(株) (株)日立産機システム (株)鶴見製作所
	水中汚水ポンプ	(株)荏原製作所 エレポン(株) (株)川本製作所 新明和工業(株) (株)相互ポンプ製作所 (株)鶴見製作所 テラル(株) (株)日立産機システム
水槽	水槽類（ステンレス製 溶接組立形）	(株)小笠原工業所 (株)ベルテクノ 森松工業(株)
	水槽類（ステンレス製 ボルト組立形）	積水アクアシステム(株) 三菱ケミカルインフラテック(株)
●水槽類（ステンレス製 一体型）		(株)ベルテクノ 森松工業(株) ホーコス(株)
膨張タンク（密閉形隔膜式）		日立金属(株) ホーコス(株) (株)ベルテクノ 森松工業(株)
FRP製水槽		積水アクアシステム(株) H I T A N K(株) 三菱ケミカルインフラテック(株)
●消火器具	屋内消火栓	ホーチキ(株) (株)北浦製作所
	屋外消火栓	ニッタン(株) (株)初田製作所
	ホース・ノズル等	日本ドライケミカル(株) (株)立売堀製作所
	連結送水管(送水口・放水口)	ヤマトプロテック(株) (株)横井製作所
消火装置	スプリンクラー消火システム	ニッタン(株) 能美防災(株) ヤマトプロテック(株) ホーチキ(株) モリタ宮田工業(株) (株)初田製作所
衛生器具	衛生陶器及び付属器具等	T O T O(株) (株)L I X I L
●排水金具	排水金具	カネソウ(株) (株)小島製作所 ダイドレ(株) (株)長谷川鋳工所 福西鋳物(株)
鋳鉄製ふた 弁柵ふた	マンホールふた 弁柵ふた	カネソウ(株) (株)小島製作所 ダイドレ(株) (株)長谷川鋳工所 福西鋳物(株)
●阻集器	グリーストラップ	カネソウ(株) ダイドレ(株) 福西鋳物(株) ホーコス(株) 下田エコテック(株) プレバィ工業(株) コンドーFRP工業(株)

製造業者指定			
分類	機材名	製造業者名	
●湯沸器等	ガス湯沸器	大阪ガス(株)	(株)ノーリツ
		(株)パロマ	リンナイ(株)
		(株)長府製作所	パーパス(株)
	貯湯式電気温水器 ヒートポンプ給湯器	東芝キヤリア(株)	(株)長府製作所
		ダイキン工業(株)	(株)前川製作所
		パナソニック(株)	三菱電機(株)
		三菱重工工業(株)	昭和鉄工(株)
		日立グループソリューションズ (株)	
		(株)日本サーモエナー	
		タカスタンダード(株)	
		TOTO(株)	(株)LIXIL
		(株)日本イトミック	
●昇降機	エレベーター	東芝エレベータ(株)	フジテック(株)
	小荷物専用昇降機	(株)日立ビルシステム	三菱電機(株)
		日本エレベーター製造(株)	クマリフト(株)
●濾過装置	プール用濾過機	オルガノ(株)	栗田工業(株)
	浴室用濾過機	(株)アクアプロダクト	ローレル(株)
		ミウラ化学装置(株)	理水化学(株)
		東西化学産業(株)	(株)ノーリツ
		ゼオライト(株)	
その他	フィルターユニット (パネル形、折込み形)	日本バイリーン(株)	ニッタ(株)
		(株)忍足研究所	日本エアフィルター(株)
	●免震装置	(株)TOZEN	ゼンシン(株)
		倉敷化工(株)	(株)テクノフレックス
	●ベントキャップ	ユニックス(株)	西邦工業(株)
		三菱電機住環境システムズ(株)	
	●フード	ホーコス(株)	下田エコテック(株)
		(株)クラコ	サンベック(株)
	●消音装置	日本ノイズコントロール(株)	
		(株)日本消音研究所	アライ実業(株)
	●地中熱利用設備工事	ミサワ環境技術(株)	東邦地水(株)
		(株)森川鑿泉工業所	
●冷媒配管ラック	因幡電機産業(株)	ネグロス電工(株)	
	オーケー器材(株)		
●配管、免振装置架台	(株)ベルテクノ	森松工業(株)	
	ホーコス(株)		
●印は設備機材等評価名簿に記載のない機材等を示す。			
※明石市都市局住宅・建築室営繕課発注工事は、当該作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とする。メーカーリストに記載がない品名については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。 双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。			

2023年4月改定

明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事			
〈代表設計者〉	一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版	2024. 03. 25
		23	メーカーリスト（機械設備）	見積版	2024. 03. 25
〈設備設計者〉	一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	安井建築設計事務所			最終契約版

明石市役所新庁舎建設

工事設計図

令和 5年 3月 (全193枚)

特記仕様書

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所 兵庫県明石市新嶋1丁目5番1号

2. 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	建築基準法による延べ面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	施設の分類	備 考
新庁舎棟・優先駐車場	鉄骨造	地上 7 階	21,170.85	16項イ	特定施設	
付属棟 (車庫棟)	鉄骨造	地上 1 階	295.78	13項イ	一般施設	
ゴミ庫	鉄骨造	地上 1 階	37.95	15項	一般施設	

(注) 延べ面積は建築基準法による表記

3. 工事種目 (●印の付いたものが対象工事種目)

建物別及び屋外工事種目	工 事 種 別				
●電灯設備	新庁舎棟	付属棟 (車庫棟)	ゴミ庫	明石市民会館	屋 外
●動力設備	新設 一式	新設 一式	新設 一式	改設 一式	
●電気自動車用充電設備	新設 一式				
○電熱設備	新設 一式				
●雷保護設備	新設 一式				
●受変電設備	新設 一式				
●電力貯蔵設備	新設 一式				
●発電設備	新設 一式	新設 一式			
●構内情報通信網設備	新設 一式				
●構内交換設備	新設 一式				
●情報表示設備	新設 一式				
●映像・音響設備	新設 一式				
●拡声設備	新設 一式				
●誘導支援設備	新設 一式				
●テレビ共同受信設備	新設 一式				
●監視カメラ設備	新設 一式				
●駐車場管理設備	新設 一式				
●防犯・入退室管理設備	新設 一式				
●火災報知設備	新設 一式				
●中央監視制御設備	新設 一式				
●構内配電線路					一式
●構内通信線路					一式
○テレビ電波障害防除設備					
○					
○					
●撤去工事					一式

4. 指定部分 ○ 無 ● 有 (対象部分 新庁舎指定部分仮使用期間 2027年 3月 ～ 2028年 3月)

5. 改修内容

仮設ポンプへの電源供給工事

市民会館熱源新設工事

その他、図面参照

Ⅱ. 工事仕様

1. 共通仕様

1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。

- 「公共建築工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)」 (以下「標準仕様書」という。)
- 「公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工事編) (令和4年版)」 (以下「改修標準仕様書」という。)(改修標準仕様書の中でいう標準仕様書は、令和4年度版 (電気設備工事編) とする。)
- 「公共建築設備工事標準図 (電気設備工事編) (令和4年版)」 (以下「標準図」という。)

2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は (/) 図、建築工事の特記仕様書は (GEN1～10) 図による。

2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印の付いたものを適用する。

項 目

特 記 事 項

●適用区分

(1) 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。

- 風圧力
風速 (Vo= 34 m/s)
地表面粗度区分 (○Ⅰ ●Ⅱ ○Ⅲ ○Ⅳ)
○ 積雪荷重
建設省告示第1455号における区域 別表 ()

(2) 塩害地域
○ 一般地域 ● 重耐塩地域 ○ 耐塩地域

●環境への配慮

(1) 本工事に於いて、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律 (平成12年法律第100号)」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針 (令和4年2月閣議決定)」に定める特定調達品目「公共工事」の品目を調達する場合は、判断の基準等を満たすものとする。

(2) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。

- ① 合板、木質系フローリング、構造パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
- ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
- ③ 接着剤は、可塑性 (フタル酸ジ n -ブチル及びフタル酸ジ n -エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く。) が添加されていない材料を使用する。
- ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

項 目

特 記 事 項

●機材の品質等

(3) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。

- ① 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
- ② 建築基準法施行令第20条の7 第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
- ③ 建築基準法施行令第20条の7 第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
- ④ 建築基準法施行令第20条の7 第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。

(2) 下表に機材名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価されたことを示す外部機関が発行する書面を提出し、監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。

- ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
- ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
- ③ 安定的な供給が可能であること。
- ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
- ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。

●電源周波数

○ 50Hz ● 60Hz

●電気工事士

最大電力が500 [kW] 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

●工事用仮設物

すべて受注者の負担とする。
構内につくことが ●できる ○できない

●足場その他

●建設発生土の処理

●耐震施工

(1) 設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種別、重要度及び設置箇所に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。

- ①設計用水平地震力
機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合は、設計用標準水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

機 器 種 別		● 特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上 及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・1 階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3層、13階以上の場合は上層4階とする。

・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの

・水槽類には燃料小出タンクを含む。

・重要機器は次のものを示す。

- 配電盤 ●発電装置 (防災電源用) ●直流電源装置
- 交流無停電電源装置 ●交換装置 ●自動火災報知受信機
- 中央監視装置 ●通信総合盤 ○

②設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

(2) 横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。

●配管本数、管路等

分電盤、制御盤及び端子盤等の2次側以降の配管配線経路、配線太さ、配線本数及び管径等は、図面と相違しても差し支えない。ただし、相違する場合は監督職員の承諾を受ける。

項 目

特 記 事 項

●金属製電線管の仕上げ

露出配管の仕上げは次による。
屋外
● 厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/㎡以上のものとする。
○ 塗装あり (場所:)
屋内
● 塗装なし
○ 塗装あり (場所:)

●非常用照明装置の照度測定箇所数

測定数 500箇所以上 測定し監督職員に報告する。

●電流値等の計測

下記の電流値等を計測し、報告書を監督職員に提出する。
計測箇所 (○ 図示による。)
計測項目 (●電流値 (記録間隔1分毎 ● 照度)
計測回数 (通常使用状態の電流値: 改修着手前 5日間、改修後 5日間)
照度測定箇所数 (改修前及び改修後の照度測定 600箇所以上)
備 考
(1) 計測機器及び計測装置等の詳細は監督職員との協議による。
(2) 報告書には、測定装置 (もしくはソフトウェア) の換算機能により算出された電力 (瞬時値) 及び電力量 (積算値30分単位) も記録すること。
(3) 照度測定は作業面照度 (床±0.8m) とし、測定方法はJIS C 7612による。

●盤類等の色彩計画

事務室等に設ける○A盤、分電盤、端子盤の銅板製キャビネット等及び意匠上配慮する必要がある機器の色彩計画を監督職員に提出するものとする。

●プレートの材質

フラッシュプレート
○ 金属製 (ステンレス、新金属を含む) ● 樹脂製

●天井仕上区分

() 書きの室名は直天井の室を示し、それ以外は二重天井の室を示す。

●インバータ装置の規約効率

三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。

電動機出力[kW]	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	11	15	18.5	22	30
規約効率[%]	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 200[V]	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.5	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5
	定格電圧 400[V]	87.0	90.5	93.5	94.0	94.5	94.5	95.0	95.0	95.0	96.0	96.5

【備考】(1)規約効率は、JEM-TR 245 「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2)0.4kWの規約効率は、JIS C 4212 「高効率低圧三相かご形誘導電動機」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
(3)0.75kWの規約効率は、JIS C 4213 「低圧三相かご形誘導電動機－低圧トランパンモータ」のIP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

●機器取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載がない場合は、表－1「機器標準取付高さ」による。

●接地極

図面に記載がない場合は、表－2「接地極一覧表」による。

●他工事又は他工種との取り合い

図面に記載がない場合は、工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。

●施工調査

事前調査 (● 本工事 ○ 別途)
調査項目 (○ 既存資料調査 ●現地調査)
調査範囲 (● 図示 ○)
調査方法 (○ 図示 ○)
●はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行うこと。

●既存躯体への穿孔

穿孔機械を使用し既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる附属装置等を用いて施工する。

●ケーブルの種類

E1M－高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS 4395 「6600V 架橋ポリエチレンケーブル (3層押出型)」によるものとする。

呼称 (図示記号)	種 類	
6kV EM-CE	6600V 架橋ポリエチレン絶縁耐燃性* リエチレンシース* ♯ (6600V CE/F(EE))	
6kV EM-CET	6600V トリプルラック架橋ポリエチレン絶縁耐燃性* リエチレンシース* ♯ (6600V CET/F(EE))	

表－1 機器標準取付高さ

名称	測点	取付高 [mm]	名称	測点	取付高 [mm]
積算計器	地上～窓中心	1,800～2,000	時計	壁掛形観時計	床±0中心 1,500
引込開閉器 (低圧)	地上～中心	1,800～2,200	時計	時計	〃 (天井高)×0.9
分電盤	床±0中心	1,500	拡声	壁掛形スピーカ	〃 (天井高)×0.9
			拡声	壁付アッテネータ	〃 1,300
スイッチ	床±0中心	1,300			
〃 (多機能トイレ)	〃	1,100	情報表示盤	床±0中心	(天井高)×0.9
コンセント (一般)	〃	300	壁付発信機	〃	1,300
〃 (和室)	〃	150	ベル、ブザー、チャイム	〃	2,300
〃 (台上)	台±0中心	150～200	壁付押しボタン (一般)	〃	1,300
〃 (車椅子用)	床±0中心	900			
ブラケット (一般)	〃	2,100～2,300			
〃 (読書)	〃	2,000～2,500			
〃 (鏡上)	鏡±0端～中心	150			
			読書支援	外部受付用インターホン (子機)	「標準図」による。
			読書支援	壁付インターホン (上記以外)	床±0中心 1,300
			読書支援	壁付呼出ボタン (多機能トイレ)	〃 900 (400)
壁掛形制御盤	床±0中心	1,500			
開閉器箱	〃	1,500 (上端) 900以下	機器収容箱 (室内)	天井下～上端	200
制御用スイッチ	〃	1,300	テレビ端子 (一般)	床±0中心	300
			〃 (和室)	〃	150
端子盤 (室内)	床±0～下端	300			
集合保安器箱	天井下～上端	200			
壁付電話機 (一般)	床±0中心	1,300	受信機・副受信機	床±0～操作部	800～1,500
			機器収容箱	〃	800～1,500
			発信機	床±0中心	800～1,500
			警報ベル	〃	(天井高)×0.9
			表示灯	〃	(天井高)×0.8
			液化石油ガス検知器	床±0～上端	300

(備考) (天井高)×0.9及び(天井高)×0.8は天井高が2,500～3,000mmの場合に適用する。
注) 天井高3,000mm以上の場合及び上記取付高さでは機器の使用に支障がある場合は、監督職員と協議する。
呼出ボタン (多機能トイレ) の取付け高さ (400) は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

表－2 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格・数量
○ 共用接地	E _{A・D}	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● 共用接地	E _{A・C・D}	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● A種	E _A	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● B種	E _B	Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● C種	E _C	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● D種	E _D	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
○ D種	E _D	Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● 高圧避雷器用	E _{LH}	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● 交換装置用	E _L	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
○ 通信用 (10Ω)	E _{A1}	10Ω以下	EB (D=14, L=1,500 又は W=40, L=1,200) ×3連→ 1組
● 通信用 (100Ω)	E _{D1}	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
● 電話引込口の保安器	E _{L1}	100Ω以下	EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×1
● 測定用	E ₀		EB (D=10, L=1,000 又は W=30, L=900) ×2

明石市政策局 企画・調整室

明石市役所新庁舎建設工事

＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢瑛

＜設備設計＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一

GEN 総合

24 電気設備工事特記仕様書 A1 N.S

最終版 2024.03.25

見直し版 2024.03.25

最終契約版

安井建築設計事務所

(2023年版)

20230220

類別	会社名
照明器具・LED器具	パナソニック(株) (株)因幡電機製作所 東芝ライテック(株) 三菱電機照明(株) 山田照明(株) 岩崎電気(株)
●照明器具・特殊製作照明器具 (例：舞台照明・ 特殊シャンデリヤ等)	岩崎電気(株) 大光電機(株) 三菱電機照明(株) 東芝ライテック(株) パナソニック(株) コイズミ照明(株) (株)因幡電機製作所 山田照明(株) (株)YAMAGIWA (株)松村電機製作所 丸茂電機(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株)
●避雷設備	(株)四興 大阪避雷針工業(株)
盤類・住宅用分電盤	河村電器産業(株) 内外電機(株) テンパール工業(株) パナソニック(株) 日東工業(株) 一光電機(株)
盤類・端子盤 分電盤 制御盤	パナソニック(株) 河村電器産業(株) 奥井電機(株) (株)新愛知電機製作所 (株)大日製作所 (株)戸上電機製作所 寺崎電気産業(株) (株)下平電機製作所 日東工業(株) テンパール工業(株) (株)因幡電機製作所 ハビネスデンキ(株) 内外電機(株) 一光電機(株)
盤類・キュービクル式配電盤	(株)新愛知電機製作所 (株)戸上電機製作所 (株)因幡電機製作所 一光電機(株) (株)大日製作所 (株)ダイヘン 内外電機(株) 日新電機(株) 日東工業(株) 日本電機(株) 愛知電機(株) ハビネスデンキ(株) (株)日立産機システム 富士電機(株) (株)下平電機製作所 奥井電機(株)
●器具類・配電用遮断器 漏電遮断器	テンパール工業(株) 河村電器産業(株) 富士電機機器制御(株) 寺崎電気産業(株) 三菱電機(株) 東芝インフラシステムズ(株) (株)日立産機システム 日東工業(株) パナソニック(株)
●高圧機器・断路器	(株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株) 日新電機(株) 東芝インフラシステムズ(株)
高圧機器・限流ヒューズ	(株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株) 東芝インフラシステムズ(株)
高圧機器・高圧負荷開閉器 ●引外し型高圧交流負荷 開閉器	大垣電機(株) (株)日立産機システム 富士電機機器制御(株) 三菱電機(株) 東芝インフラシステムズ(株) 日本高圧電気(株) (株)新愛知電機製作所 エナジーサポート(株) (株)戸上電機製作所
●高圧機器・高圧電磁接触器	(株)日立製作所 東芝インフラシステムズ(株) 三菱電機(株) (株)新愛知電機製作所 日新電機(株) 富士電機機器制御(株)
高圧機器・交流遮断器	三菱電機(株) 東芝インフラシステムズ(株) 日新電機(株) 富士電機(株) (株)日立産機システム (株)明電舎 富士電機機器制御(株)
高圧機器・変圧器	(株)日立産機システム (株)ダイヘン 三菱電機(株) 富士電機(株) 日新電機(株) 東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株) (株)明電舎 (株)東光高岳
高圧機器・モールド変圧器	(株)日立産機システム (株)ダイヘン 三菱電機(株) 富士電機(株) 日新電機(株) 東芝インフラシステムズ(株) 愛知電機(株) (株)明電舎 (株)東光高岳
高圧機器・進相コンデンサー	(株)指月電機製作所 東芝インフラシステムズ(株) ニチコン(株) 日新電機(株) 三菱電機(株)
●高圧機器・直列リアクトル	(株)指月電機製作所 東芝インフラシステムズ(株) ニチコン(株) 日新電機(株) 三菱電機(株)
高圧機器・避雷器	音羽電機工業(株) 日本高圧電気(株)
●ディーゼル発電機	ダイハツディーゼル(株) ヤンマーエネルギーシステム(株) 三菱重工業(株) 富士電機(株) 三菱電機(株) (株)日立製作所 西芝電機(株)
太陽光発電設備	京セラ(株) パナソニック(株) (株)GSユアサ 東芝エネルギーシステムズ
静止型電源装置・交流無停電電源 装置(UPS)	(株)日立製作所 富士電機(株) 古河電池(株) 日立化成(株) 三菱電機(株) (株)明電舎 (株)GSユアサ 東芝インフラシステムズ(株)

類別	会社名
●静止型電源装置・直流電源装置	(株)日立製作所 富士電機(株) 古河電池(株) 日立化成(株) 三菱電機(株) (株)明電舎 (株)GSユアサ (株)東芝
中央監視装置・監視制御装置 (CPU処理)	三菱電機(株) 富士電機(株) 日新電機(株) (株)日立製作所 富士通(株) アズビル(株) 東芝インフラシステムズ(株) ハビネスデンキ(株) (株)明電舎 日本電気(株) ジョンソンコントロールズ(株) パナソニック(株)
●通信情報機器・電気時計装置	シチズン・ティ・アイ・シイ(株) パナソニック(株) セイコータイムシステム(株)
●通信情報機器・拡声装置 (舞台、非常放送は除く)	(株)JVCケンウッド・公共産業システム TOA(株) 日本無線(株) ユニベックス(株) パナソニックコネクト(株)
●通信情報機器・インターホン装置	アイホン(株) TOA(株) 岩崎通信機(株) (株)ケアコム
●通信情報機器・構内交換装置	沖電気工業(株) 日本電気(株) 富士通(株) (株)日立製作所 NECプラットフォームズ(株) 岩崎通信機(株) 日本電信電話(株) パナソニックコネクト(株)
通信情報機器・監視カメラ装置	パナソニックコネクト(株) TOA(株) (株)日立国際電気 三菱電機(株) (株)JVCケンウッド・公共産業システム
●通信情報機器・テレビ共同 受信装置	DXアンテナ(株) ホーチキ(株) マスプロ電工(株) (株)日立国際八木ソリューションズ 日本アンテナ(株)
●通信情報機器・火災報知器	ニッタン(株) 能美防災(株) ホーチキ(株) パナソニック(株)
●通信情報機器・自動閉鎖装置	ニッタン(株) 能美防災(株) ホーチキ(株) パナソニック(株)
●通信情報機器・入退出管理	三菱電機(株) パナソニック(株)
●印は評価名簿に記載のない 機材等を示す。	

1. 順不同。

2. 電線及びケーブル類・がいし類・電線管類等は設計図書に指定するJIS等の規格並びに公共建築協会発行の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」及び「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」による。

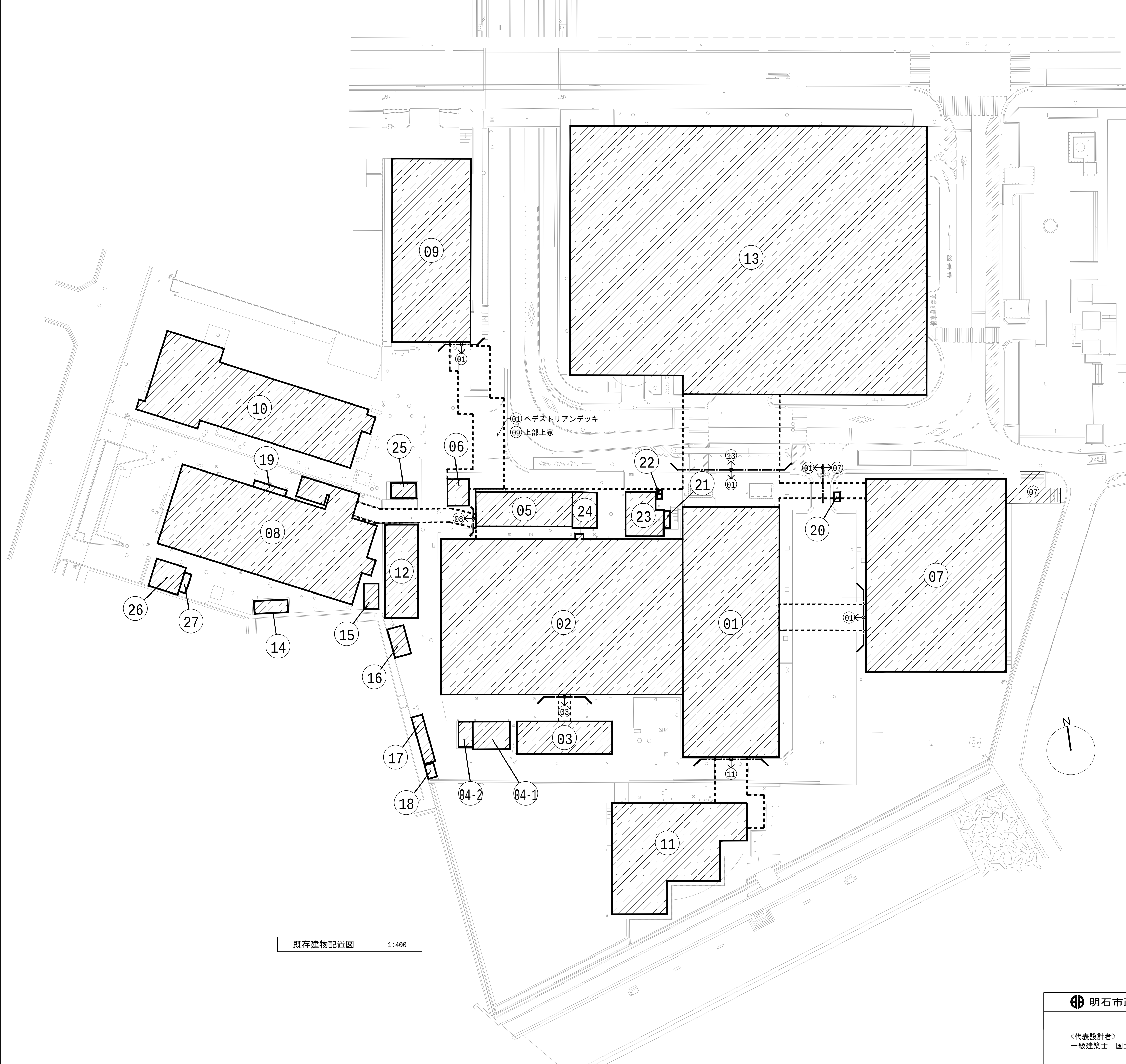
3. 明石市都市局住宅・建築室営繕課発注工事は、当課作成のメーカーリストの中より選択しメーカーを決定することを原則とし、メーカーリストに記載がない類別については、一般社団法人「公共建築協会」発行の、設備機材等評価名簿より選択する。双方の場合とも、監督員の承諾を得るものとする。

2023年4月改定

明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事			
＜代表設計者＞	一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版	2024.03.25
＜設備設計者＞	一級建築士 国土交通大臣登録 第195886号 設備設計一級建築士 国土交通大臣登録 第2339号 小林 陽一	25	メーカーリスト（電気設備） A1 N.S	見積版	2024.03.25
			安井建築設計事務所		最終契約版

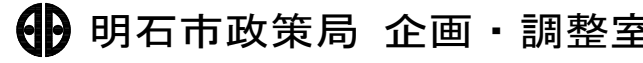
⑥ 石綿含有成形板の除去	⑦ 石綿含有仕上塗材の除去	⑧ 除去した石綿含有吹付け材等の保管、運搬、処分等	作業場の区画 (6.5.1) 建物内部で除去を行う場合、除去作業場所と他の場所を隔てるため、開閉部位（出入口、換気口、窓等）は閉とし、ガラスの破損箇所等で開となっている部位を養生シート等で塞ぐ。 石綿含有成形板の種類 ※「令和4年3月明石市新庁舎建設設計業務における石綿事前調査 調査報告書」による ※上記以外に石綿含有が疑われる建材があった場合は、速やかに監督員と協議すること。 除去工法 (6.6.1) ○集じん装置付き超高压水洗工法 ・剥離剤併用手工具ケレン工法 ○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 石綿則及び大気汚染防止法に基づき除去を行い、定められた工法による除去が困難な場合は、監督職員と協議すること。	⑧ 追加特記	① 一般事項 受注者は、解体工事に先立ち近隣住民に対して十分な説明を行うと共に、苦情等が発生した場合には、誠意をもって対応すること。 受注者は、誤って工事現場内に第三者が立ち入らないよう十分に注意すること。 解体工事に係る重機及び仮設材の搬出入については、監督職員と事前に打合せを行うこと。 作業時間は原則として午前8時30分から午後5時までとし、土曜・日曜・祝日は作業しないこととするが、詳細については関係各所と打合せの上、決定すること。 解体工事に先立ち、工事範囲外の建物（近隣も含む）及び監督職員が指示するものについては、着工前に現況写真撮影等による事前調査を行い、工事施工に起因して破損、汚染等が生じた場合は、原則として受注者の責任において速やかに原状復旧を行うこと。 地中埋設物（埋設管等を含む）の事前調査を行い、必要な諸手続きを延滞なく行うとともに安全管理に万全の処置を講ずること。なお、不審な点があれば監督職員に報告の上、監督職員の指示に従うこと。 設計図に記載の寸法と現地測量との間に大幅な差異がある場合は、監督職員にその旨を報告の上、協議すること。					
			② 共通事項 解体工事に伴い発生する建設副産物の処分は、「建築工事に係る資材の再資源化等に関する法律」のほか、関連法規に従い適正に搬出処分を行うこと。 建設副産物は中間処理を行い、再生利用、減量化等を図るよう努めること。 塵埃防止として、場内に加圧ポンプ付散水栓を設置し、適宜散水すること。なお、上階散水が必要な場合は、揚水ポンプの使用も併せて考慮すること。 枠組足場による防音パネル（鋼製、アルミ製）又は防音シートを設置する場合は、設計図書で定められた位置及び高さまで設置すること。 原則として、足場控えは建築物の柱・梁に堅固に緊結し、強風時の転倒防止を図るとともに随時取り外しが可能になるよう配慮すること。 全ての建設副産物は、処分地が指定する寸法以下に破砕し、受注者の責任において所定の手続きの上、速やかに搬出処分すること。 埋戻し及び整地の状態は、監督職員の指示に従うこと。また、埋戻しには良質土を使用し、ランマー類で十分締め固めを行うこと。なお、転圧はその土質、使用機器等に応じ、締め固めに適した含水状態で行うこと。 建設副産物の搬出走行中は、積載物が落下しないよう十分な養生・保護をするとともに、安全運転に留意すること。 門、塀、池等の撤去に当たっては、個々にその規模、構造等を確認すること。また、これらの撤去については、基礎部分を含めて完全に撤去すること。なお、これらを撤去することにより、隣接地に影響を及ぼす可能性がある場合は、監督職員と協議すること。 建設副産物の処分については、建設廃棄物等(変更)処理計画書により速やかに場外搬出処分すること。ただし、特定建設資材については、再資源化施設に搬出すること。 建設副産物は現場において分別し、処理・再生利用に応じた搬出処分を基本とすること。なお、コンクリート躯体解体前に、内部造作、既存備品、ガラス、アルミサッシ枠等を解体、分別、収集すること。 地上部（上屋）の解体完了後、順次掘削しながら地中梁、基礎の解体撤去を行うこと。なお、近隣への振動等の影響を考慮の上、解体部分の順序を計画すること。 鉄筋コンクリート造の建築物の解体用重機は、油圧式圧搾機の性能を有するものとし、解体は安全で能率的な作業方法により順次解体すること。なお、圧搾機の使用不可能な場所については、監督職員と打合せの上、適切な機械（道具）を用いること。 鉄骨、鉄筋の切断については、切断方法を含め監督職員と事前に十分協議すること。 解体撤去用の外部足場により発生する可能性がある電波障害について十分配慮すること。 排水施設の撤去については、経路等を調査の上、既存法面、周辺隣接地に影響を及ぼさないよう撤去計画を立てること。 会所及び排水管は全て掘り起こし、完全に撤去すること。なお、既存排水施設等との取合いがある場合は、適切に補修すること。また、既存のまま存置する会所、排水管、雨水側溝等は潰損し、排水機能を確保すること。 原則として、樹木等の撤去は根株を含めて掘り起こし、場外搬出処分とすること。また、移植する場合は、監督職員の指示する位置に移植すること。 除却工事の施工者は、「建築物除却届（建築基準法第15条第1項）」を兵庫県知事に届け出ること（明石市の所管課へ提出）。 特別管理産業廃棄物については、関係法令、都道府県の条例の厳守、関係官公署への手続を速やかに行うとともに、適正に処理すること。							
			③ 公共事業業務費調査への協力		※協力する					
⑦ 追加特記	② 工事監理方式	共同監理 ・ 有り ○ 無し								
	3 適用基準等	・ 営繕工事電子納品要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課施設評価室監修） ・ ・								
	4 工事成績評定	※受注者は、工事成績評定の対象となる工事施工において、自ら立案し実施した創意工夫や工事特性に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができ。（様式等は、工事運行マニュアルによる。）								
⑤ 工事機械 (機械の選定)	(組立及び解体)	※機械の選定に当たっては、地域の安全及び環境対策上、転倒、騒音、振動等について十分注意して行なわなければならない。また工事規模、施工方法等に見合った、安全な作業ができる能力をもった機械を選定しなければならない。 機械の能力を十分に把握・検討し、その能力を超えて使用してはならない。	※機械の組立及び解体に当たっては、機械に精通した者の直接の指導により、定められた手順を厳守しなければならない。							
		(使用及び移動)		※建設機械を使用し又は移動させる場合は、機械類に関する関係法令を厳守し、架線その他の構造物に接触し、若しくは定められた範囲以上に近接し、又は道路等に損害を与えることがないようにしなければならない。 ※建設機械を作動させる範囲は、原則として工事現場内としなければならない。やむを得ず工事現場外で使用する場合には、作業範囲内へ立ち入りを制限する等措置を講じなければならない。 ※架線、構造物又は工事現場の境界に近接して建設機械を使用する場合には、車止めの措置、ブームの回転に対するストッパーの使用、近接電線に対する絶縁材の装着、見張り員の配置等の措置を講じなければならない。						
		⑤ 工事機械 (移動式クレーン)		※移動式クレーンの選定に当たっては、自立できるもので、施工条件、近隣環境等と施工計画との関連を検討して、安全な作業ができる能力を持った機械を選定しなければならない。 ※移動式クレーンを使用する場合には、作業範囲、作業条件を考慮して、安定度、接地圧、アウトリガーの反力等の検討・確認を行い、適切な作業地盤上で使用しなければならない。 ※移動式クレーンを使用する場合には、高所及び敷地周辺から、吊荷、吊具等の落下、飛散等に十分注意すると共に、これらによる危害を防止するための措置を講じなければならない。						
⑥ アスベスト含有材料除去工法	※アスベスト除去は以下のメーカーから選定すること ・ダイオーテック(株)（バキュームブラスト） ・(株)マルボウ（ウォータースクリーン） ・(株)アシレ（バキュームウォータージェット） ・ニテアス(株)									

	明石市政政局 企画・調整室	明石市役所新庁舎建設工事			
		＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南 浦 琢 磨	GEN	総合	最終版 2024.03.25
			27	解体工事特記仕様書（2）	見積版 2024.03.25
				安井建築設計事務所	最終契約版



				歩掛採用箇所		
番号	棟 名	建築面積	延床面積	捨コン撤去 (t/延面)	鉄筋スクラップ 撤去 (t/m)	鉄骨撤去 (t/延面)
01	事務棟	1073.00㎡	8085.96㎡		0.102	0.065
02	窓口棟	1890.00㎡	3430.74㎡		0.102	
03	窓口南会議室	195.69㎡	319.57㎡	0.070	0.070	0.065
04	公用車管理事務室	77.64㎡	56.04㎡		0.102	
05	帳票庫	139.92㎡	139.92㎡		0.102	
06	新聞受け	10.97㎡	10.97㎡		0.102	
07	議会棟	1249.12㎡	3586.90㎡		0.102	0.065
08	西庁舎	838.96㎡	2017.98㎡		0.102	
09	分庁舎	895.35㎡	3354.91㎡		0.102	
10	中崎分署棟	895.35㎡	3354.91㎡		0.102	
11	南会議室棟	652.78㎡	915.60㎡		0.102	
12	国保レセプト	149.09㎡	137.51㎡		0.102	
13	駐車場	4124.91㎡	4124.91㎡		0.102	
14	西庁舎西プレハブ倉庫	18.25㎡	18.25㎡		0.102	
15	西庁舎西プレハブ倉庫	16.07㎡	16.07㎡		0.102	
16	封筒倉庫	21.22㎡	21.22㎡		0.102	
17	ゴミ置場	22.30㎡	22.30㎡		0.102	
18	プレハブ倉庫1	5.43㎡	5.43㎡		0.102	
19	駐輪場1	4.14㎡	4.14㎡		0.102	
20	プレハブ警備員ボックス	3.18㎡	3.18㎡		0.102	
21	階段下倉庫	5.93㎡	5.93㎡		0.102	
22	電話ボックス	1.76㎡	1.76㎡		0.102	
23	駐輪場2	56.44㎡	56.44㎡		0.102	0.029
24	駐輪場3	32.40㎡	32.40㎡		0.102	
25	プレハブ倉庫2	16.27㎡	16.27㎡		0.102	
26	車庫・倉庫	33.60㎡	33.60㎡		0.102	
27	駐輪場4	6.09㎡	6.09㎡		0.102	

明石市政政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事		
〈代表設計者〉 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版	2024.03.25
	28	既存建物配置図 1:400	見積版	2024.03.25
		安井建築設計事務所	最終契約版	

K解体工事													
01:事務棟					02:窓口棟			07:議会棟		08:西庁舎			
01-01	1階平面図※	01-48	展開図 1	01-95	架構配筋詳細図	02-01	1階平面図	07-01	1階平面図※	08-01	1階平面図※		
01-02	2階平面図※	01-49	展開図 2	01-96	1階柱リスト	02-02	2階平面図	07-02	2階平面図※	08-02	2階平面図※		
01-03	3階平面図※	01-50	建具表	01-97	2・3階柱リスト	02-03	屋上平面図	07-03	3階平面図※	08-03	3階平面図※		
01-04	4階平面図※	01-51	1階ロビー廻り改修図	01-98	4・5階柱リスト	02-04	立面図 1	07-04	4階平面図※	08-04	4階平面図※		
01-05	5階平面図※	01-52	サイン改修図	01-99	6・7階柱リスト	02-05	立面図 2	07-05	立面図※	08-05	立面図 1 ※		
01-06	6階平面図※	01-53	仕上表 1	01-100	8・PH階柱リスト	02-06	断面図	07-06	断面図※	08-06	立面図 2 ※		
01-07	7階平面図※	01-54	仕上表 2	01-101	大梁リスト 1	02-07	断面展開図	07-07	議場断面展開図	08-07	断面図※		
01-08	8階平面図※	01-55	1階平面詳細図 1	01-102	大梁リスト 2	02-08	機械室平面詳細図	07-08	議場断面詳細図・展開図	08-08	仕上表		
01-09	9階平面図※	01-56	1階平面詳細図 2	01-103	大梁リスト 3	02-09	アスベスト調査報告書	07-09	議場詳細図	08-09	平面図・建具配置図		
01-10	立面図 1 ※	01-57	1階平面詳細図 3	01-104	軸組図 1	02-10	アスベスト調査報告書	07-10	仕上表 1	08-10	立面図		
01-11	立面図 2 ※	01-58	1階平面詳細図 4	01-105	鉄骨工作図 1	02-11	アスベスト調査報告書	07-11	仕上表 2	08-11	建具表		
01-12	断面図 1 ※	01-59	断面詳細図 1	01-106	鉄骨工作図 2			07-12	建具配置図	08-12	矩計図		
01-13	断面図 2 ※	01-60	断面詳細図 2	01-107	鉄骨工作図 3			07-13	建具表	08-13	階段・宿直室詳細図		
01-14	仕上表 1（窓口棟）	01-61	断面詳細図 3	01-108	鉄骨工作図 4			07-14	1階平面詳細図 1	08-14	便所・機械室・更衣室詳細図		
01-15	仕上表 2（事務棟）	01-62	壁詳細図 1	01-109	鉄骨工作図 5			07-15	1階平面詳細図 2	08-15	電話交換室・署長室詳細図		
01-16	仕上表 3（事務棟）	01-63	壁詳細図 2	01-110	架構配筋詳細図 1			07-16	1階展開図 1	08-16	仕上表		
01-17	仕上表 4（事務棟）	01-64	部分詳細図 1	01-111	架構配筋詳細図 2			07-17	1階展開図 2	08-17	平面図・断面図		
01-18	仕上表 5（事務棟）	01-65	部分詳細図 2	01-112	1階柱リスト			07-18	断面詳細図 1	08-18	立面図		
01-19	仕上表 6（事務棟）	01-66	部分詳細図 3	01-113	2・3階柱リスト			07-19	断面詳細図 2	08-19	断面詳細図		
01-20	仕上表 7（事務棟）	01-67	部分詳細図 4	01-114	梁リスト			07-20	3階平面詳細図・展開図	08-20	1・2階平面詳細図		
01-21	仕上表 8（議会棟）	01-68	湯沸室流し詳細図	01-115	架構配筋詳細図			07-21	構造 塀基礎伏図・詳細図	08-21	3・4階平面詳細図		
01-22	仕上表 9（議会棟）	01-69	保育ルーム流し詳細図	01-116	架構鉄骨詳細図			07-22	構造 鉄骨加伏図	08-22	1・2階展開図		
01-23	建具表 1（窓口棟）	01-70	作業所流し詳細図	01-117	鉄骨トラス梁詳細図			07-23	構造 鉄骨軸組図	08-23	2階展開図・部分詳細図		
01-24	建具表 2（窓口棟）	01-71	展開図 1	01-118	ﾊﾞﾃﾞｽﾄﾘｱﾝﾃﾞﾝｸﾞ配筋図 1			07-24	便所改修図	08-24	3・4階展開図		
01-25	建具表 3（事務棟）	01-72	展開図 2	01-119	ﾊﾞﾃﾞｽﾄﾘｱﾝﾃﾞﾝｸﾞ配筋図 2			07-25	アスベスト調査報告書	08-25	天井伏図		
01-26	建具表 4（事務棟）	01-73	展開図 3	01-120	アスベスト調査報告書			07-26	アスベスト調査報告書	08-26	建具表		
01-27	建具表 5（事務棟）	01-74	展開図 4	01-121	アスベスト調査報告書			07-27	アスベスト調査報告書	08-27	仕上表 1		
01-28	建具表 6（事務棟）	01-75	展開図 5	01-122	アスベスト調査報告書			07-28	アスベスト調査報告書	08-28	仕上表 2		
01-29	建具表 7（議会棟）	01-76	1階天井伏図 1	01-123	アスベスト調査報告書			07-29	アスベスト調査報告書	08-29	仕上表 3		
01-30	建具表 8（議会棟）	01-77	1階天井伏図 2	01-124	アスベスト調査報告書					08-30	仕上表 4		
01-31	建具表 9（議会棟）	01-78	建具表 1	01-125	アスベスト調査報告書					08-31	仕上表 5		
01-32	矩計図	01-79	建具表 2	01-126	アスベスト調査報告書					08-32	増築断面詳細図		
01-33	矩計図	01-80	南出入口改修図	01-127	アスベスト調査報告書					08-33	部分詳細図 1		
01-34	1階平面詳細図	01-81	杭伏図	01-128	アスベスト調査報告書					08-34	部分詳細図 2		
01-35	1階平面詳細図・展開図	01-82	基礎伏図	01-129	アスベスト調査報告書					08-35	部分詳細図 3		
01-36	1階平面詳細図・展開図	01-83	1階梁床伏図	01-130	アスベスト調査報告書					08-36	便所詳細図		
01-37	1階平面詳細図・展開図	01-84	2階梁床伏図							08-37	展開図 1		
01-38	3階平面詳細図・展開図	01-85	3・4階梁床伏図							08-38	展開図 2		
01-39	3階渡り廊下詳細図	01-86	5階梁床伏図							08-39	展開図 3		
01-40	4～7階平面詳細図	01-87	6～R階梁床伏図							08-40	展開図 4		
01-41	展開図	01-88	基礎リスト							08-41	展開図 5		
01-42	8・R階平面詳細図	01-89	梁リスト・床版リスト							08-42	展開図 6		
01-43	仕上表	01-90	壁伏図							08-43	展開図 7		
01-44	3階改修後平面図	01-91	雑配筋図							08-44	展開図 8		
01-45	3階改修後平面詳細図 1	01-92	1階柱リスト										
01-46	3階改修後平面詳細図 2・展開図	01-93	2階柱リスト										
01-47	3階改修後平面詳細図 3	01-94	梁リスト										
異なる部分は※のある図面参照のこと										明石市役所新庁舎建設工事			
										GEN	総合	最終版2024.03.25	
								＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨		29	解体工事図面表（1）	1: NS	見積版2024.03.25
											安井建築設計事務所		最終契約版

K解体工事											
08:西庁舎				09:分庁舎				10:中崎分署棟			
08-45	展開図 9	08-92	断面図	09-01	1階平面図※	09-48	1階柱断面リスト	10-01	1階平面図	10-48	展開図2
08-46	展開図 1 0	08-93	エンタンスホール矩計図	09-02	2階平面図※	09-49	2階柱断面リスト	10-02	2階平面図	10-49	展開図3
08-47	展開図 1 1	08-94	矩計図	09-03	3階平面図※	09-50	3階柱断面リスト	10-03	3階平面図	10-50	天井伏図
08-48	展開図 1 2	08-95	取合い部詳細図	09-04	4階平面図※	09-51	4階柱断面リスト	10-04	4階平面図	10-51	建具配置図
08-49	展開図 1 3	08-96	EXP. J詳細図	09-05	5階平面図※	09-52	5階・P階柱断面リスト	10-05	5階平面図	10-52	建具表
08-50	展開図 1 4	08-97	1階平面詳細図	09-06	6階平面図※	09-53	梁断面リスト 1	10-06	6階平面図	10-53	中2階浴室改修詳細図
08-51	展開図 1 5	08-98	1階展開図	09-07	立面図※	09-54	梁断面リスト 2	10-07	7階平面図	10-54	中2階浴室改修断面詳細図
08-52	展開図 1 6	08-99	建具配置図・建具表	09-08	断面図 1 ※	09-55	梁断面リスト 3	10-08	立面図	10-55	浴室天井伏図・部分詳細図
08-53	建具配置図	08-100	1階天井伏図	09-09	断面図 2 ※	09-56	梁断面リスト 4	10-09	断面図 1	10-56	建具配置図・建具表
08-54	建具表 1	08-101	2階天井伏図	09-10	仕上表	09-57	配筋図 1	10-10	断面図 2	10-57	仕上表・建具表・家具その他
08-55	建具表 2	08-102	屋根伏図	09-11	1階建具配置図	09-58	配筋図 2	10-11	仕上表 1	10-58	既存1階平面図
08-56	建具表 3	08-103	基礎伏図	09-12	2階建具配置図	09-59	X2通架構配筋図	10-12	仕上表 2	10-59	1階改修平面詳細図
08-57	1階天井伏図	08-104	基礎詳細図・梁リスト	09-13	3階建具配置図	09-60	ベデストリアデック構造図	10-13	1階建具配置	10-60	1階改修立面・断面詳細図
08-58	2階天井伏図	08-105	2階梁伏図	09-14	4階建具配置図	09-61	ベデストリアデック基礎図	10-14	M2階・2階建具配置図	10-61	1階改修展開図
08-59	3・4階天井伏図	08-106	3階梁伏図	09-15	5階建具配置図	09-62	アスベスト調査報告書	10-15	3階・4階建具配置図	10-62	各詳細図
08-60	仕上表	08-107	軸組図	09-16	PH階建具配置図	09-63	アスベスト調査報告書	10-16	5階建具配置図	10-63	鉄骨軸組図・詳細図
08-61	断面詳細図 1	08-108	構造図 1	09-17	建具表 1	09-64	アスベスト調査報告書	10-17	建具表 1	10-64	仕上表
08-62	断面詳細図 2	08-109	構造図 2	09-18	建具表 2	09-65	アスベスト調査報告書	10-18	建具表 2	10-65	消毒室廻り平面詳細図
08-63	断面詳細図 3	08-110	アスベスト調査報告書	09-19	天井伏図	09-66	アスベスト調査報告書	10-19	矩計図1	10-66	消毒室廻り立面・断面詳細図
08-64	断面詳細図 4	08-111	アスベスト調査報告書	09-20	矩計図			10-20	矩計図2	10-67	展開図・消毒室部分詳細図
08-65	手摺詳細図	08-112	アスベスト調査報告書	09-21	階段詳細図 1			10-21	階段詳細図	10-68	鉄骨階段詳細図
08-66	EXP. J詳細図 1	08-113	アスベスト調査報告書	09-22	階段詳細図 2			10-22	宿直室詳細図	10-69	消毒室配筋詳細図
08-67	EXP. J詳細図 2			09-23	ポーチ周り詳細図			10-23	屋外階段詳細図	10-70	浴室・便所改修詳細図
08-68	EXP. J詳細図 3			09-24	空調機回り詳細図			10-24	受付・ポンプ室詳細図	10-71	仮眠室平面詳細図
08-69	EXP. J詳細図 4			09-25	1・2階平面詳細図			10-25	便所詳細図	10-72	仮眠室・便所廻り断面詳細図
08-70	EXP. J詳細図 5			09-26	3～R階平面詳細図			10-26	ホース掛け詳細図	10-73	展開図1
08-71	1階平面詳細図			09-27	ELV詳細図			10-27	基準詳細図1	10-74	展開図2
08-72	2階平面詳細図			09-28	2階展開図			10-28	基準詳細図2	10-75	展開図3・雑詳細図
08-73	3階平面詳細図			09-29	2・3階展開図			10-29	部分詳細図	10-76	天井伏図
08-74	4階平面詳細図			09-30	4・5階展開図			10-30	部分平面図	10-77	建具配置図
08-75	R階平面詳細図			09-31	2階新設間仕切り展開図			10-31	展開図	10-78	建具表1
08-76	展開図 1			09-32	3階新設間仕切り展開図			10-32	建具詳細図	10-79	建具表2
08-77	展開図 2			09-33	4階新設間仕切り展開図			10-33	天井伏図1	10-80	仕上表1
08-78	天井伏図			09-34	5階新設間仕切り展開図 1			10-34	天井伏図2	10-81	仕上表2
08-79	建具配置図			09-35	5階新設間仕切り展開図 2			10-35	天井伏図3	10-82	1階仮眠室廻り平面詳細図
08-80	建具表			09-36	屋外付帯工事詳細図 1			10-36	天井伏図4	10-83	立面図・鉄骨軸組図
08-81	伏図、柱・梁リスト			09-37	屋外付帯工事詳細図 2			10-37	部分詳細図	10-84	断面詳細図
08-82	基礎・床版リスト、架構配筋詳細図			09-38	屋外付帯工事詳細図 3			10-38	仕上表	10-85	各部断面詳細図
08-83	床梁伏図			09-39	ベデストリアデック平面詳細図			10-39	2階平面図	10-86	展開図1
08-84	梁リスト			09-40	ベデストリアデック断面詳細図			10-40	3階平面図	10-87	展開図2
08-85	基礎リスト・架構配筋図			09-41	基礎伏図			10-41	4階平面図	10-88	展開図3
08-86	柱リスト・雑配筋図			09-42	2階床伏図			10-42	2階改修室詳細図	10-89	展開図4
08-87	仕上表			09-43	3階床伏図			10-43	3階改修室平面詳細図1	10-90	1階増築部床伏図
08-88	配筋図			09-44	4階床伏図			10-44	3階改修室平面詳細図2	10-91	天井伏図・建具配置図
08-89	1階平面図			09-45	5階床伏図			10-45	通信指令室断面詳細図	10-92	建具表1
08-90	2階平面図			09-46	屋根・P階床伏図			10-46	4階湯沸室詳細図	10-93	建具表2
08-91	立面図			09-47	基礎詳細図			10-47	展開図1	10-94	浴室廻り改修詳細図
異なる部分は※のある図面参照のこと								明石市政政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事	
								＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨	GEN	総合	最終版 2024.03.25
									30	解体工事図面表（2）1: NS	見積版 2024.03.25
									安井建築設計事務所		最終契約版

K解体工事																	
		11:南会議室棟		13:駐車場				その他			KM機械設備解体工事						
10-95	2階平面図	11-01	1階平面図	13-01	1階平面図※	13-48	PC梁部分詳細図2	03	窓口南会議室棟	仕上表・一般図	01	機器表（撤去）					
10-96	宿直室2 平面・展開・詳細図	11-02	2階平面図	13-02	2階平面図※	13-49	PC梁部分詳細図3	03-02	窓口南会議室棟	アスベスト調査報告書	02	本庁舎事務棟 1～4階平面図					
10-97	厨房・食堂展開図	11-03	立面図	13-03	立面図※	13-50	PC梁部分詳細図4	04	公用車管理事務所	仕上表・一般図	03	本庁舎事務棟 5～8階平面図					
10-98	消防署事務室展開図	11-04	断面図	13-04	断面図※	13-51	PC梁配筋詳細図1	05	帳票室	仕上表・一般図	04	本庁舎事務棟 屋上階平面図					
10-99	基礎柱地中梁伏図	11-05	矩計図1	13-05	仕上表	13-52	PC梁配筋詳細図2	06 21	新聞受け・階段下倉庫	仕上表・一般図	05	本庁舎窓口棟 1・2・R階平面図					
10-100	中2階・2階床梁伏図	11-06	矩計図2	13-06	建具配置図			12	国保レセプト	仕上表・一般図	06	本庁舎議会棟 1～4階平面図					
10-101	3・4階床梁伏図	11-07	階段詳細図1	13-07	建具表			14,15 16,18	プレハブ倉庫	一般図	07	窓口南会議室棟 1・2階平面図					
10-102	5階・屋根床梁伏図	11-08	階段詳細図2	13-08	断面詳細図			17	既存ゴミ置場	一般図	08	西庁舎事務棟 1～4・R階平面図					
10-103	柱断面表	11-09	1階平面詳細図1	13-09	デッキ平面詳細図1			19 22	駐輪場1・電話ボックス	一般図	09	分庁舎事務棟 1～4階平面図					
10-104	梁断面表・基礎・階段構造図	11-10	1階平面詳細図2	13-10	デッキ平面詳細図2			20 25	プレハブ倉庫2・警備員ボックス	一般図	10	分庁舎事務棟 5・屋上階平面図					
10-105	梁断面表	11-11	2階平面詳細図1	13-11	デッキ断面詳細図			23	駐輪場2	一般図	11	中崎分署本館 1～3階平面図					
10-106	架構図1	11-12	2階平面詳細図2	13-12	監視室平面詳細図			26	車庫・倉庫	仕上表・一般図	12	中崎分署本館 4・屋上階平面図					
10-107	架構図2	11-13	内部仕上表1	13-13	監視室展開図			24 27	駐輪場3・喫煙所2	一般図	13	庁舎南会議室棟・国保レセプト・公用車管理事務所 平面図					
10-108	床版配筋図	11-14	内部仕上表2	13-14	駐車場平面詳細図			28	その他	アスベスト調査報告書							
10-109	アスベスト調査報告書	11-15	展開図1	13-15	スロープ断面詳細図1												
10-110	アスベスト調査報告書	11-16	展開図2	13-16	スロープ断面詳細図2							KE電気設備解体工事					
10-111	アスベスト調査報告書	11-17	展開図3	13-17	駐車場平面詳細図2						01	撤去図(1)					
10-112	アスベスト調査報告書	11-18	展開図4	13-18	駐車場平面詳細図3						02	撤去図(2)					
		11-19	展開図5	13-19	駐車場平面詳細図4						03	撤去図(3)					
		11-20	展開図6	13-20	階段断面詳細図						04	撤去図(4)					
		11-21	1階天井伏図	13-21	階段3・便所詳細図1						05	撤去図(5)					
		11-22	2階天井伏図	13-22	階段3・便所詳細図2						06	撤去図(6)					
		11-23	建具仕様書	13-23	駐車場展開図						07	撤去図(7)					
		11-24	1階建具伏図	13-24	スロープ詳細図												
		11-25	2階建具伏図	13-25	部分詳細図1												
		11-26	建具リスト1	13-26	部分詳細図2												
		11-27	建具リスト2	13-27	部分詳細図3												
		11-28	外構図	13-28	部分詳細図4												
		11-29	雑詳細図	13-29	外構平面図												
		11-30	小荷物占用昇降機詳細図1	13-30	排水図												
		11-31	小荷物占用昇降機詳細図2	13-31	外構詳細図												
		11-32	渡り廊下部分詳細図	13-32	案内・安全施設平面図1												
		11-33	基礎伏図	13-33	案内・安全施設平面図2												
		11-34	基礎リスト・基礎梁リスト	13-34	案内・安全施設平面図3												
		11-35	各階伏図	13-35	杭伏図												
		11-36	各通軸組図	13-36	基礎伏図												
		11-37	柱リスト	13-37	1階柱・R階梁床伏図												
		11-38	梁リスト	13-38	軸組図1												
		11-39	③通架構図	13-39	軸組図2												
		11-40	アスベスト調査報告書	13-40	軸組図3												
		11-41	アスベスト調査報告書	13-41	基礎リスト												
				13-42	1階柱リスト												
				13-43	大梁リスト												
				13-44	小梁・床版・壁リスト												
				13-45	架構配筋詳細図												
				13-46	雑配筋リスト												
				13-47	PC梁部分詳細図1												
異なる部分は※のある図面参照のこと								 明石市政策局 企画・調整室		明石市役所新庁舎建設工事							
										GEN		総合		最終版 2024.03.25			
								＜代表設計者＞ 一級建築士 国土交通大臣登録 第270990号 南浦 琢磨		31		解体工事図面表（3）		1: NS		見積版 2024.03.25	
												安井建築設計事務所		最終契約版			